

令和2年度

幸田町教育概要



幸田町教育委員会

【表紙】

表紙の写真は、夏休み子ども教室「クップ体験教室」の様子です。初挑戦のスポーツに戸惑いながらも、笑顔の絶えない教室になりました。

幸田町民憲章



わたくしたちは、心ゆたかな住みよいまちづくりをめざし、ここに町民憲章を定めます。

- 1 緑豊かに、水清らかに、みんなで美しいまちをつくりましょう。
- 1 ありがとう、いつも笑顔で親切の輪を広げましょう。
- 1 活気と希望と夢にみちた、若い力を育てましょう。
- 1 スポーツに親しみ、心身を鍛え、健康なまちをつくりましょう。
- 1 豊かな知識と教養を高め、文化の向上に努めましょう。

はじめに

世界中で新型コロナウイルスが猛威を振るうなど、近年目まぐるしく社会情勢が変化していく中、これからの私たちの生活環境や人々の価値観も大きく変化していくことが予想されます。未来を担う子どもたちには、これからの社会がどんなに変化して予測困難な時代になったとしても、自ら課題を見つけ、考え、そして行動し、それぞれが思い描く理想の姿を追い求めてもらいたいと思います。新学習指導要領では、そうした子どもたちの「生きる力」を育む願いが込められています。「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力」、「学びに向かう力、人間性」の3つの柱からなる「資質、能力」を総合的にバランスよく育てていくことを目指すのと同時に、そうした心身ともに健やかな子どもたちを育成できる良い環境づくりに努めてまいります。

また、国際化、情報化、科学技術の急速な進展のほか、少子高齢化などで多様化する社会では人々の学習需要が高まり、人々が生涯のいつでも自由に学習機会を選択して学ぶことができる「生涯学習社会」を実現することの必要性が増大しています。そうした生涯学習の基盤を整備することは、学習者の自己実現のみならず、地域社会の活性化や、高齢者の社会参加、青少年の健全育成など、社会全体にとってとても有意義なものになると考えています。

多様な能力を育む学校教育、人生を豊かにする生涯学習の推進など、学校、家庭、地域、そして行政が一体となって、豊かな人間性を育むための施策の推進に努めてまいります。

最後になりましたが、本書は、幸田町における学校教育、生涯学習についての概要をまとめたものです。多くの皆様に御活用いただければ幸いです。

令和2年6月

幸田町教育委員会
教育長 小野 伸之

目 次

幸田町の現況	1
幸田町行政組織図	2
教育予算の状況	3
教育委員会	
1 教育委員会名簿	4
2 教育委員会施策評価	4
学 校 教 育	
学校教育推進機構	6
学校教育展開の指針	7
令和2年度児童・生徒数	8
坂崎小学校	9
幸田小学校	12
中央小学校	15
荻谷小学校	18
深溝小学校	21
豊坂小学校	24
幸田中学校	27
南部中学校	30
北部中学校	33
幸田町教育相談室・適応指導教室	36
地域に根ざした学校づくり事業	37
幸田町奨学金制度	41
令和元年度就学援助受給者内訳表	42
学校給食	43
生 涯 学 習	
生涯学習推進機構	47
生涯学習推進事業計画	
1 重点目標	48
生涯学習事業計画	49
2 生涯学習事業の概要	
(1) 生涯学習の推進	50
(2) 生涯学習の観点に立った学習の推進	50
(3) ライフサークル事業の推進	50
(4) 公民館活動	51
(5) 視聴覚教育活動	51

(6) 文化振興、文化財保護活動	51
(7) 幸田町郷土資料館	54
(8) 幸田文化広場・さくら会館	55
(9) 公民館	55
3 幸田町指定文化財一覧表	56
4 令和元年度利用実績	
(1) 視聴覚ライブラリー備品等貸出件数	58
(2) 郷土資料館利用状況	59
(3) さくら会館利用状況	60
(4) 中央公民館利用状況	61
(5) 地区公民館利用状況	62
(6) ライフサークル事業実績	62
各種委員名簿	
(1) 生涯学習推進本部委員	63
(2) 社会教育委員	64
(3) ライフサークル事業推進委員	65
(4) 視聴覚ライブラリー運営委員	65
(5) 青少年問題協議会委員	66
(6) 青少年健全育成地域推進員	66
(7) 文化財保護委員、幸田町郷土資料館運営委員	67
(8) 子ども読書活動推進計画推進委員	67
(9) 島原藩主深溝松平家墓所保存整備委員	68
社会体育推進事業計画	
1 重点目標	69
2 社会体育組織図	69
3 社会体育事業の概要	70
令和2年度社会体育事業計画	71
4 令和元年度社会体育事業実績	
(1) スポーツ協会の育成	72
(2) スポーツ教室の開設	72
(3) 各種スポーツ大会等の開催	72
(4) 国、県等が開催する大会への参加	73
(5) スポーツ協会表彰	74
(6) 学校体育施設一般開放の現況	75
(7) スポーツクラブの現況	75
(8) 社会体育施設の状況	75
令和元年度社会体育施設利用状況	79
令和元年度学校体育施設スポーツ開放利用状況	80

各種委員名簿	
(1) スポーツ協会役員	82
(2) スポーツ推進委員	82
(3) 地区スポーツリーダー	83
施設管理運営事業計画	
1 重点目標	84
2 令和2年度事業計画	84
3 ハッピネス・ヒル・幸田 施設の概要	
(1) 町民会館	84
(2) 図書館	85
(3) 町民プール	86
(4) 思索の森、センタープラザ及びその他の屋外施設	87
(5) その他	87
(6) 指定管理者の変遷	87
4 令和元年度までの実績	
(1) ハッピネス・ヒル・幸田全体	88
(2) 町民会館	90
(3) 図書館	92
(4) 町民プール	94
(5) 文化振興協会	95

参考資料

幸田町いじめ防止基本方針	1
幸田町子ども読書活動推進計画(第二次)の概要	12
幸田町子どもの権利に関する条例(抜粋)	13

幸 田 町 の 現 況

幸田町は、中部圏の中核である名古屋市から 45 km 圏内にあり、南北 10.55 km、東西 10.25 km、面積 56.72 km²、人口 42,430 人（令和 2 年 4 月 1 日現在）のまちです。

本町は、中央部を南東から北西にかけて J R 東海道新幹線が通過し、南北には J R 東海道本線と国道 248 号が縦貫し、さらに東西に名豊バイパスが横断し、蒲郡の臨海工業地帯と岡崎・豊田の内陸工業地帯を結ぶ交通の要衝となっており、J R 3 駅（幸田・三ヶ根・相見）周辺市街地に、ハッピーネス・ヒル・幸田を中心とした地域交流拠点を加えた 4 極を都市の骨格を形成する都市核と位置づけています。

本町では、目指す将来像を「みんなでつくる元気な幸田」として掲げ、各種事業を展開し、学校教育面においては、各学校が創意工夫を生かし、特色ある教育・学校づくりを進め、「生きる力」を育む新しい学校教育を、また生涯学習の面では、国際化や高齢化の進展に伴い、生涯に及ぶ学習要求に対応する機会を提供しながら、町民の人間性を育む環境づくりに努めています。



中央小学校「三河万歳クラブ」

こうた凧揚げまつり



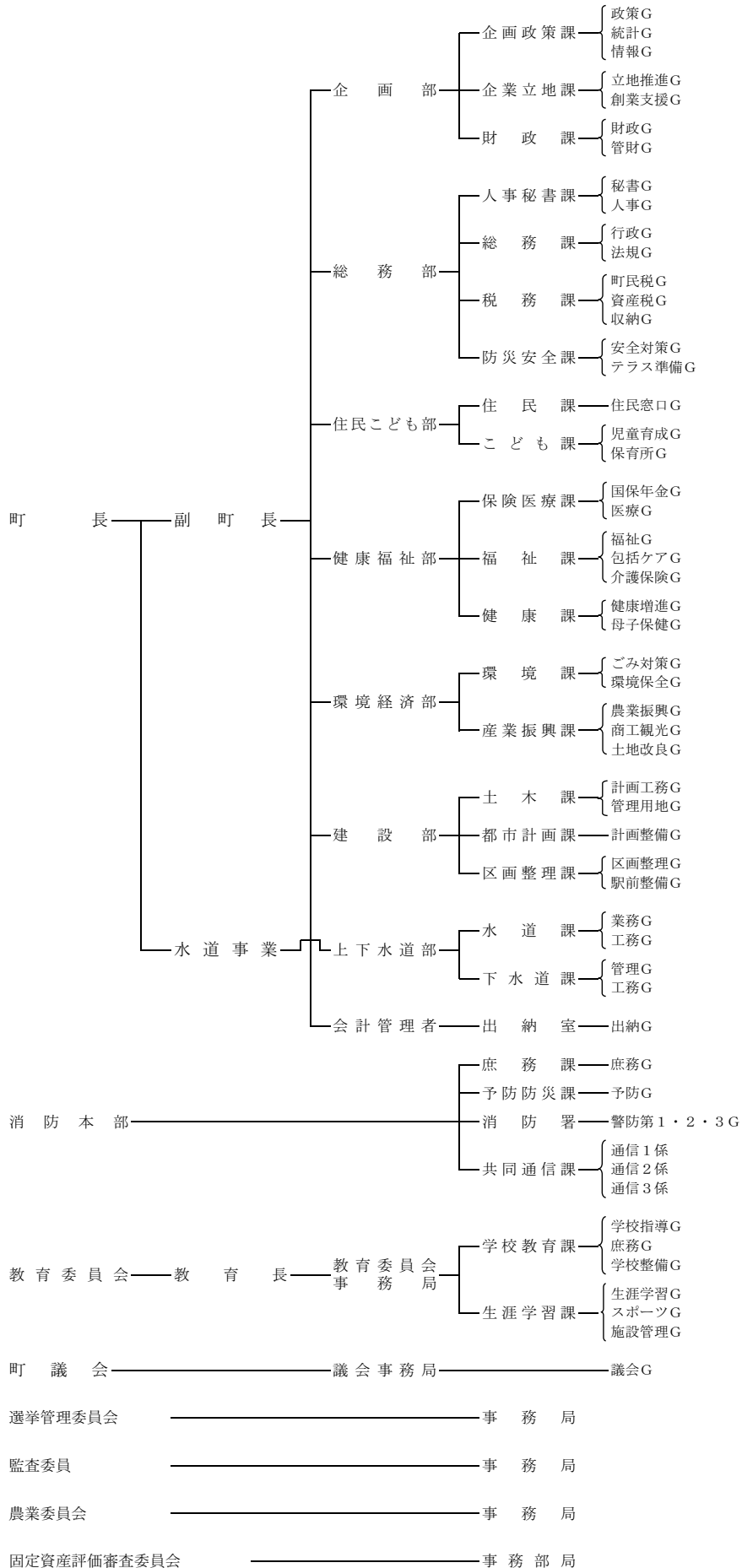
愛知万博メモリアル駅伝



深溝小学校「たて割り活動～ふこうずっ子
タイムの水でっぼう大会～」

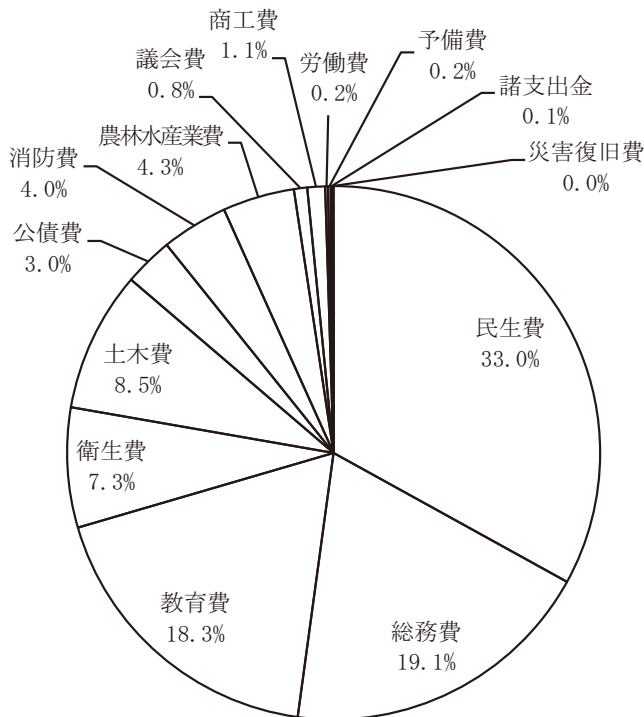
幸田町行政組織図

(令和2年4月1日現在)

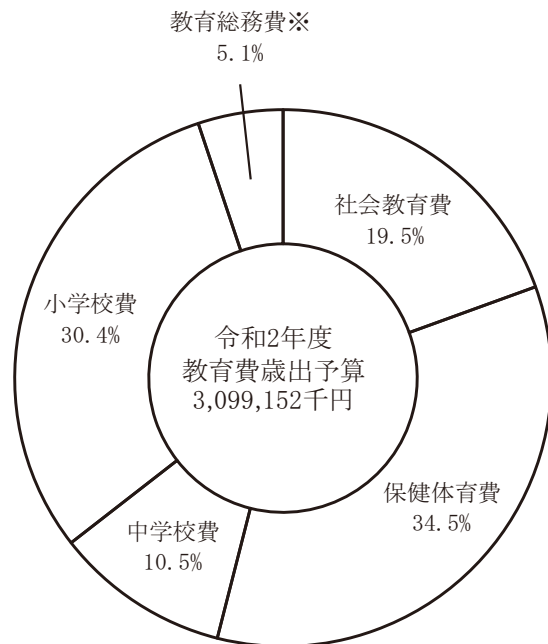


教育予算の状況

幸田町一般会計予算歳出款別構成比



教育費歳出予算項別構成比



教育費予算前年度との比較

(単位:千円)

項目	令和2年度	令和元年度	比較増減	伸率(%)
1 教育総務費※	158,611	153,076	5,535	3.6%
1 教育委員会費	1,919	1,759	160	9.1%
2 事務局費	156,692	151,317	5,375	3.6%
2 小学校費	942,229	486,725	455,504	93.6%
1 学校管理費	398,271	270,576	127,695	47.2%
2 教育振興費	16,065	15,813	252	1.6%
3 学校建設費	527,893	200,336	327,557	163.5%
3 中学校費	326,636	554,193	-227,557	-41.1%
1 学校管理費	308,819	220,231	88,588	40.2%
2 教育振興費	17,817	17,662	155	0.9%
3 学校建設費	0	316,300	-316,300	-100.0%
4 社会教育費	603,685	538,692	64,993	12.1%
1 社会教育総務費	92,961	77,374	15,587	20.1%
2 公民館費	62,135	24,938	37,197	149.2%
3 町民会館費	256,723	297,411	-40,688	-13.7%
4 図書館費	119,970	97,104	22,866	23.5%
5 文化振興費	33,578	20,460	13,118	64.1%
6 ライフサークル運動推進費	21,051	11,315	9,736	86.0%
7 文化広場費	17,267	10,090	7,177	71.1%
5 保健体育費	1,067,991	884,463	183,528	20.8%
1 保健体育総務費	47,236	42,859	4,377	10.2%
2 保健体育施設費	547,738	296,805	250,933	84.5%
3 給食センター費	473,017	544,799	-71,782	-13.2%
合計	3,099,152	2,617,149	482,003	18.4%

※教育総務費に幼児教育奨励費は含めていません。

教 育 委 員 会

1 教育委員会名簿

令和2年4月1日現在

職 名	氏 名	任 期 始
教 育 長	小 野 伸 之	(旧)H25.10.5 (旧) H29.4.1 (新)R2.4.1
委 員	長 谷 禎 子	H30.10.1
委 員	山 下 英 雄	H30.4.1
委 員	立 花 千 加 子	H31.4.1
委 員	伊 藤 秀 雄	R 2.4.1

2 教育委員会施策評価

教育委員会の職務権限などを規定した「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正され、平成20年4月から、すべての教育委員会は、毎年、事務の管理と執行の状況について点検評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出・公表しなければならないこととされました。これを受け、幸田町教育委員会では、町民の視点や中立的、公平的な観点から評価するため、教育に関し学識経験を有する委員で構成された、幸田町教育委員会施策外部評価委員会に諮問し、令和2年度～令和4年度の活動内容について評価を行います。平成29年度～令和元年度の活動内容については、点検・評価を行い、次のような報告を議会へ提出しました。

幸田町教育委員会施策外部評価委員会委員名

任 期	令和2年4月1日 ～ 令和5年3月31日		
職 名		氏 名	備 考
委 員 長	名古屋大学大学院教育 発達科学研究科准教授	石 井 拓 児	
副委員長	愛知教育大学付属 岡崎中学校副校長	増 岡 潤 一 郎	
委 員	こうた女性の会会長	塩 谷 恵 美 子	
委 員	前幸田町スポーツ推進委 員 会 委 員 長	大 久 保 勝 彦	
委 員	児童生徒保護者代表	今 井 勝 利	
合 計		5名	

教育委員会施策評価一覧表

(平成29年度実施)

対象事業名	事業の概要	総合評価	外部評価委員会評価
学校整備事業	児童・生徒に対し安全で機能的な学習環境を提供するために、学校施設の建築・整備を行う。	A	学校運営に必要な施設整備、改修がなされており、今後も適時、必要な対応に心掛けられたい。学校教育施設は、災害発生時における地域住民の避難所としての機能を備えておくことが必要であるため、体育館天井等耐震化工事が完了したことは評価できる。 トイレの洋式化についても、早急に整備を進めるとともに、学校間の差が生じないような整備方法を検討されたい。
少人数指導事業	町内の全小中学校の児童生徒に、基礎基本を始めとした学習内容の定着を図り、一人一人が学ぶ楽しさや分かる喜びを味わえるように、T・Tや均等に分けた小集団、習熟度別的小集団による指導など、様々な授業の形態を工夫して取り入れて少人数指導を行い、きめ細やかな指導の充実を図る。	A	各学校の特徴や実情に合わせて柔軟に対応するという自由度の高い取り組み方は、幸田町の特徴である。少人数指導に携わる教員同士の情報交換が密になされており、町嘱託教員の報酬が授業時間だけでなく、情報交換の時間に対しても支払われていること、また、研修費も支払われていることは、評価できる。 この事業の評価を学力調査の結果のみで判断することは、難しい。教員や保護者の意識調査も取り入れ、取組の過程も評価されたい。 今後、学習指導要領が大きく変わっていくため、中長期的に研究していく必要のあるテーマである。中学年の国語指導に特化した取組や小中学校の接続についても、検討されたい。
生涯学習推進事業	全年齢層の町民に対して、生涯を通じていつでも自由に学習機会を選択して学習できる環境を整えるために、親子ふれあい広場、シルバースクールを始め各種講座、教室を開催する。	A	参加者が確実に集まる各種人気講座を多く開催しており、大変優れた事業である。ぜひ、継続されたい。 近年、「人生100年」といわれ、自分のために学ぶことが重要となっている。今後は、学んだことを地域に役立てたり、その後の生きがいづくりや仲間づくりにも発展させたりできるような場の提供など、更に講座内容の充実を図られたい。 また、情報を得られない人にどうやって知らせるか周知方法を工夫されたい。

(平成30年度実施)

対象事業名	事業の概要	総合評価	外部評価委員会評価
特別支援教育事業	町内全小中学校の特別な支援を必要とする児童生徒に対して、将来、就労自立及び社会参加できるように、障がい程度に応じた適切な教育的支援を行う。 また、日本語教育の必要な児童生徒に対しては、学校生活に必要な日本語を習得し、生き生きと学ぶことができるようにするために、取り出し指導などきめ細やかな個別指導や集団指導を行う。	A	日本語指導教員や母国語支援員を配置して、日本語教育が必要な児童生徒に対して、取り出し指導などきめ細やかな個別指導が行われていることは大変好ましい。ポルトガル語に加えて、フィリピン語の母国語支援員を配置したことも評価できる。今後は、その他の言語を母国語とする児童生徒への対応や、義務教育卒業後の進学支援や就労支援等、所管課を越えた町全体でのサポート体制ができることよい。 特別な支援の必要な児童生徒に対して、適切な教育支援を行う体制が、今後もさらに充実することを期待する。
社会体育推進事業	全年齢層の町内在住、在勤者に対し、スポーツの振興と心身の健全な発達、相互の親睦を図り、明るく住みよいまちづくりに寄与する。 主に町民大運動会、新春駅伝・ファミリージョギング大会、スポーツ教室、町民スポーツ大会、各種講習会の開催や愛知駅伝への参加など。	A	町民大運動会が、全区の参加により開催できていることは大変素晴らしい。選手集め等の地元役員の負担軽減に配慮されているが、今後も町民大運動会が続くように努められたい。 定員の設けられているスポーツ教室においては、参加できなかった分も含め希望者人数を把握することが望ましい。
文化財保護事業	町民だけでなくすべての人に対して、歴史文化資料を調査し公開することにより、地方文化の発展と歴史教育の充実を図る。 郷土の歴史研究、民具の収集・展示・保管および資料の調査研究をする。	B	大変興味深い講座、展示などを多く企画していることはすばらしい。ただ「文化財ウォーキングマップやウォーキングイベントなどの存在を知らなかった。」という声もあるので、周知方法を工夫されたい。 現在の郷土資料館が貴重な資料を展示、保存する施設として適切か否か、新館建設を視野に入れ引き続き検討してほしい。

(令和元年度実施)

対象事業名	事業の概要	総合評価	外部評価委員会評価
就学援助事業	経済的な理由によって就学困難な児童又は生徒の保護者に対し、義務教育の円滑な教育の機会均等のため、学用品費、給食費、修学旅行費等の援助を行う。	A	支給時期の変更、支給単価の増額、費目の追加など、毎年少しずつ制度の改善が見られている。今後も、本委員会の意見を踏まえ、積極的な改善に努められたい。 また、国補助金の項目に追加された「卒業アルバム代」等、入学期だけではなく卒業期の援助も検討されたい。
教育相談事業	幸田町内の小中学生、保護者、教員等に対して、非行や悩みを解消し集団生活に適應できるよう、相談、助言及び不登校で悩む児童生徒等に対する個々の状態に応じた指導を行う。	A	より多くの方が相談しやすい環境づくりは重点的に進められたい。また、周知が十分にされているか、相談者が連絡しやすい環境となっているかを確認するためにも、相談のきっかけが分かるようなアンケートを取るとよい。
町民会館管理運営事業	町民だけでなく全ての人に対して、文化の拠点空間として、安全かつ利用しやすい施設を維持しながら、多様なニーズへの柔軟な対応や質の高いサービスを提供していく。	A	町民会館は町民のシンボル・誇りになっており、利用者も多く喜ばれていることがうかがえるが、その分、駐車場が十分でなく路上駐車が発生していること、また駅からのアクセスが悪いことといった問題が生じている。駐車場の整備だけではなく、イベント時におけるシャトルバスの配置、またその周知など、時間のかかる課題ではあるが改善を進められたい。

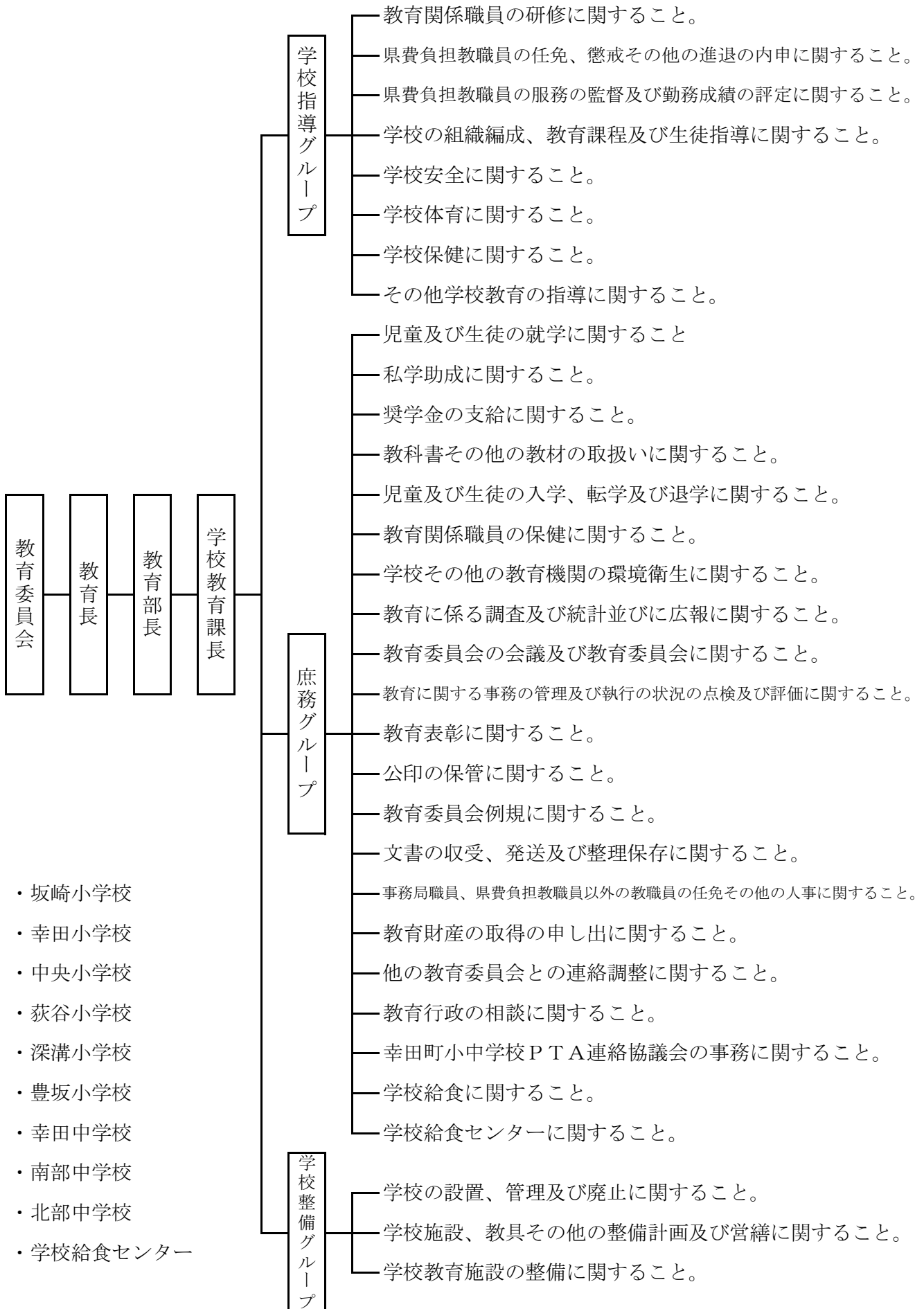
※評価基準（3段階） A：事業成果良好につき、継続が好ましい。 B：事業成果あるも、一部改善検討の上、継続 C：事業成果に課題あり、見直し又は廃止が適当

学校教育



北部中学校「かかわり合いを重視した授業」

学校教育推進機構



心身ともに健やかな子どもたちの育成をめざして

— 幸田の教育の推進 —

令和2年4月1日
幸田町教育委員会

西三河地方教育事務協議会の示す「学校教育の指導の重点」を踏まえ、幸田町教育委員会は、「心身ともに健やかな幸田の子どもたち」の育成を目指し、「令和2年度 学校教育展開の指針」を次のように示します。

各学校においては、この指針も参考にして教育活動を推進してください。

令和2年度 学校教育展開の指針

(1) 子ども、保護者、地域から信頼される学校経営を推進する。

- ① 子どもと教師、子ども同士、保護者と教師の信頼関係の確立に努める。
- ② 教師は常に研修を積み重ね、教師としての力量を高める。
- ③ 子どもたちは、保護者、地域に育てられ、地域のために活躍するという機運を高める。
- ④ 学校の働き方改革に対して、保護者、地域の理解を得られるように努める。
- ⑤ 学校評議員、PTA役員や保護者などの意見も参考にし、開かれた学校経営に努める。
- ⑥ 学校評価を適切に行い、学校経営の改善に努める。

(2) 確かな学力を育む。(知)

- ① 学習指導要領の内容を踏まえた学習指導に取り組む。
- ② 個に応じた指導の充実を図り、あらゆる学習の基盤となる言語活動を充実させ、基礎・基本をはじめとする学習内容の確実な定着を図るとともに、思考力・判断力・表現力等の育成に努める。
- ③ 体験的な学習や問題解決的な学習を重視し、子どもの思考に即した主体的な活動を保障する授業を展開することで、学習意欲を高め、学ぶことの楽しさと成就感を味わう活動を展開する。
- ④ キャリア教育を教育課程に明確に位置づけ、発達段階に合わせて小学校段階から系統的なキャリア教育を推進する。
- ⑤ 学力や学習状況を的確に把握分析し、授業改善に取り組む。

(3) 豊かな心を育む。(徳)

- ① 道徳科を要として、「いのちを大切に作る心」「思いやりの心」「他者を尊重する心」「美しいものを美しいと感じる心」「助け合う心」等、心を耕す教育を全教育活動において推進する。
- ② 様々な体験を通して、生きる構えを考える機会を充実させる。
- ③ いじめ、不登校、暴力行為等の未然防止、早期発見、早期対応に努める。
- ④ 情報化社会に対応するために情報活用能力を育成しつつ、保護者との連携・協力を図りながら情報モラル教育を推進する。
- ⑤ 読書指導の充実に努め、本に親しみ、読書を楽しむ子どもを育てる。

(4) たくましく健康な体をつくる。(体)

- ① 集団で遊んだり、仲間とともに運動する活動を奨励する。
- ② 学校給食を中心に食について総合的に考え、望ましい食習慣の形成に努めるなど、食育の充実を図る。
- ③ 保護者と連携・協力を図りながら、睡眠時間の確保等望ましい生活習慣の確立に努める。
- ④ 体力や運動能力の状況を的確に把握分析し、体力の向上を図る。

(5) 特別な支援が必要な子どもへの適切な対応に努める。

- ① 障がいのある子どもの特性に応じた指導や支援を全校体制で推進する。
- ② 通常の学級において特別な支援が必要な子ども（日本語指導が必要な子どもを含む）に対しては、個々の状態に応じたきめ細やかな指導を通級指導教室等で行い、困難の改善・克服をめざす。
- ③ 障がいのある子どもの、自立と共生に向けた主体的な取り組みを支援する。
- ④ 保護者、専門家、関係機関との連携により、より適切な指導を推進する。
- ⑤ 幼保小中高と途切れなく見守り、支援する体制づくりを推進する。

(6) 子どもの安全確保に努める。

- ① 各学校の実情に沿った安全教育、防災教育の推進を図る。
- ② 子どもたちの安全確保に努めるとともに、自らを守ろうとする意識と、周りの人の役に立とうという意識を高める。
- ③ 学校、保護者、地域、行政が一体となって、子どもの安全を確保する。

令和2年度 幸田町小中学校 児童・生徒数一覧表

※小1、小2、中1は35人学級。他は40人学級

(令和2年5月1日現在)

学 年 学校名	1年		2年		3年		4年		5年		6年		合計		総計	学校嘱託医					
	通常	特支	通常	特支	通常	特支	通常	特支	通常	特支	通常	特支	通常	特支		内科	歯科	眼科	耳鼻	薬剤	
坂崎小学校	男	23	1	20		30		34		30	2	27	2	164	5	169	小原央生	平野達也	鬼頭和裕	西山礼二	森直之
	女	24	1	26		26	1	33		28		30		167	2	169					
	合計	47	2	46	0	56	1	67	0	58	2	57	2	331	7	338					
学級	2		2		2		2		2		2		12	3	15						
幸田小学校	男	87	1	86	3	95	3	91	1	59	2	79		497	10	507	山崎泰爾	渡部真法	内藤賢吾	西山礼二	志賀明代
	女	70		74	1	87		84	2	59		67	1	441	4	445					
	合計	157	1	160	4	182	3	175	3	118	2	146	1	938	14	952					
学級	5		5		5		5		3		4		27	4	31						
中央小学校	男	43	1	34	2	50	1	46	2	45	2	54	4	272	12	284	牛田肇	藤江豪成	内藤賢吾	西山礼二	鈴木康司
	女	43		50		51	1	42		39	1	44		269	2	271					
	合計	86	1	84	2	101	2	88	2	84	3	98	4	541	14	555					
学級	3		3		3		3		3		3		18	3	21						
荻谷小学校	男	22	2	19	3	29		25	1	29		26		150	6	156	富田博	植田晃弘	鈴木裕之	西山礼二	鈴木康司
	女	28		22		27		16		21		27		141	0	141					
	合計	50	2	41	3	56	0	41	1	50	0	53	0	291	6	297					
学級	2		2		2		2		2		2		12	3	15						
深溝小学校	男	40	6	40	4	31		32	2	33	3	32	1	208	16	224	金子佳史	榊原泰二	鈴木裕之	西山礼二	鈴木康司
	女	22		31		27		37		30	1	18		165	1	166					
	合計	62	6	71	4	58	0	69	2	63	4	50	1	373	17	390					
学級	2		3		2		2		2		2		13	4	17						
豊坂小学校	男	39	3	29		28		37	3	27		32	2	192	8	200	野々村仁志	不破金好	鈴木裕之	石田正人	鈴木康司
	女	33		36	3	31	1	26	1	31	3	29	1	186	9	195					
	合計	72	3	65	3	59	1	63	4	58	3	61	3	378	17	395					
学級	3		2		2		2		2		2		13	5	18						
小学校計	男	254	14	228	12	263	4	265	9	223	9	250	9	1483	57	1540					
	女	220	1	239	4	249	3	238	3	208	5	215	2	1369	18	1387					
	合計	474	15	467	16	512	7	503	12	431	14	465	11	2852	75	2927					
学級	17		17		16		16		14		15		95	22	117						
幸田中学校	男	98	3	89	7	84	4							271	14	285	神谷文雅	田所克裕	内藤賢吾	石田正人	志賀明代
	女	85	1	95	2	98	2							278	5	283					
	合計	183	4	184	9	182	6							549	19	568					
学級	6		5		5								16	4	20						
南部中学校	男	31	2	26	2	42								99	4	103	金子佳史	市川善之	鈴木裕之	西山礼二	鈴木康司
	女	35		39		43								117	0	117					
	合計	66	2	65	2	85	0							216	4	220					
学級	2		2		3								7	2	9						
北部中学校	男	101	3	95	2	83								279	5	284	山崎泰爾	南鉉	鬼頭和裕	西山礼二	森直之
	女	94		96		74	1							264	1	265					
	合計	195	3	191	2	157	1							543	6	549					
学級	6		5		4								15	3	18						
中学校計	男	230	8	210	11	209	4							649	23	672					
	女	214	1	230	2	215	3							659	6	665					
	合計	444	9	440	13	424	7							1308	29	1337					
学級	14		12		12								38	9	47						
小中学校計	男													2132	80	2212					
	女													2028	24	2052					
	合計													4160	104	4264					
学級													133	31	164						

坂崎小学校

校長 都築 孝明

所在地 幸田町大字坂崎字揚り山 31 番地 電話 62-0115 FAX 62-0197
E-mail sakazaki@town.kota.aichi.jp

校訓

校章

よ い 子
つ よ い 子
か し こ い 子



業間活動「パワータイム」

1 教育方針

(1) 本校の教育目標

校 訓	め ざ す 子 ど も 像
よ い 子	礼節を重んじ、力を合わせて、心豊かに生活する子 (心)
つ よ い 子	命を尊び、心や体を鍛え、汗を流す子 (体)
か し こ い 子	学ぶ楽しさを求め、深く考え、自ら学ぶ子 (知)

豊かな心を持ち、目を輝かせて学び、たくましく生きる坂崎っ子の育成

『声が響きわたる坂崎小』

(2) 経営方針

- ア 心（徳）・体・知の調和のとれた子どもの育成を図り、教職員と子ども・家庭・地域が信頼し合える学校づくりを目指す。
- イ 「常に子どもに寄り添い、子どもとともにある」を合い言葉に、教育活動を推進する。
- ウ 「気づき」「つながり」「ふりかえり」を大切にした教育活動を展開する。
- エ 子どもの健やかで豊かな成長を支える環境づくりを進める。
- オ 自己研さんに励み、教師としての感性を磨きながら、情熱と人間力・指導力を備えた魅力ある教職員集団を目指す。

(3) 本年度の重点努力目標

ア 豊かな心をもつ子ども（心：よい子）

豊かに感じ、行動できる子どもの育成

- ・ あいさつと「はい」「ありがとう」「すみません」の言葉を大切にし、教育活動全体で道徳性を養う。
- ・ 子どもの心のひだをふるわす体験活動を意図的・計画的に展開し、感じる心とそれを素直に表現しようとする態度の育成を図る。
- ・ 読書活動や合唱など、文化的活動を充実させ、豊かな感性を育む。

イ たくましく生きる子ども（体：つよい子）

自ら進んで自分を鍛えるたくましい心と体の育成

- ・ 欠席0をめざすとともに、いじめ・不登校の早期発見とその対応に努める。
- ・ 業間活動（パワータイム）に、目標をもって主体的に取り組めるようにする。
- ・ 望ましい食習慣を形成するために、楽しい会食の時間となるよう工夫する。

ウ 目を輝かせて学ぶ子ども（知：かしこい子）

自分の思いが表現できる子どもの育成

- ・ 子どもの眼と心を引きつけ、夢中になって取り組めるような魅力ある授業づくりに努める。
- ・ 自分の考えを伝えたり、友達の意見を聞いたりして、仲間とかかわり合いながら、意欲的に授業に参加できるよう手だてを工夫する。
- ・ 子どものつぶやきや表情を鋭く感じ取り、指導にいかす教師の感性を磨く。

2 現職教育の研究課題・研究分野

(1) 研究の方針

- ア 「豊かな心をもち、目を輝かせて学び、たくましく生きる子」の育成をめざし、全教科全領域で魅力ある教材を発掘し、学級全員が楽しく学べるよう、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくりを心がけ、授業研究を推進する。
- イ 確かな学習習慣、生活習慣づくりを学校生活のあらゆる場面で意識させる。
- ウ 少人数指導や個別の教育支援をより一層充実させ、子どもが生き生きと楽しく学べる時間になるよう、授業形態や指導法の改善、教材・教具の工夫に努め、学力の向上と定着を図る。
- エ 専門職としてふさわしい力量を身につけるための校内研修の充実を図る。

(2) 研究課題

- 研究主題 「豊かな心をもち、目を輝かせて学び、たくましく生きる子の育成」
ーユニバーサルデザインの視点をいかした、子どもが夢中になる授業づくりー
- 研究の方法
 - ア 学級の中でもっとも気になる子どもを意識し、その子どもにとって有効な手立ては、他の多くの子どもにとっても有効であるという発想で授業づくりをする。
 - イ 授業に「焦点化」「視覚化」「共有化」を取り入れ、子どもたちが楽しく、夢中になって取り組める展開を考える。
 - ウ 子どもの思いをいかした単元構想を構築し、問題解決型授業の実践をする。
 - エ 一人一人の子どもが生きる指導・評価のあり方を追究する。

3 教職員構成

名称	校長	教頭	主幹教諭	教務主任	校務主任	教諭・講師	養護教諭	栄養教諭	事務職員(主任)	任期付任用	県費非常勤	町学校教員等	用務員	介助員	Sカウンセラー	図書館指導員	Sサポートスタッフ	教職員計
人数	1	1	0	1	1	15	1	0	1	1	3	2 (1)	1	1	(1)	1	1	31

4 学級編成状況

学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	計
学級数	2	2	2	2	2	2	3	15
人 数	47	46	56	67	58	57	7	338
実家庭数	28	12	39	52	58	56	4	249

5 教育課程・日課編成上の特色

- 少人数指導 確かな学力を定着させるために、全学年算数の授業において行う。
- 通級指導 生活上、学習上で個別の支援を必要とする児童に行う。
- 委員会 木曜日 第6時限（不定期）4～6年 常時活動を重視する。
- クラブ 木曜日 第6時限（不定期）4～6年
- 集会活動 月曜日 8時15分～8時35分（月1回）
- 読み聞かせ 水曜日 8時15分～8時25分
- 読書タイム 火・木・金曜日 8時15分～8時25分
- パワータイム 毎日 10時15分～10時35分
- 子どものゆとり 15分放課（午前1回） 20分放課（昼休み）

6 その他の特色ある活動

「あいさつ」「思いやり」「自分から」という姿が日常の子どもたちのなかに定着することを目標に、次のような活動を展開する。

(1) 豊かな道徳性の育成を図る体験活動

- ・ 学校田、畑における勤労体験学習
- ・ うさぎの飼育活動
- ・ 「あいさつ運動」「アルミ缶集め」などの児童活動
- ・ 縦割り班による清掃活動や集会活動（全校遊びの重視）
- ・ 地域のお年寄りの方々との交流活動
- ・ 病院の方々との交流活動

(2) 学校、家庭、地域が連携した体験活動

- ・ 地域の人を講師にして実践する学習活動
- ・ 家庭教育学級を中心とした親子活動
- ・ 郷土を見直す、親子ふれあい「学区ウォークラリー」
- ・ 保護者・ボランティアによる読み聞かせ
- ・ 地域の人と連携した里山保全活動

7 PTAの組織（役員・委員の名称及びその人数）

[PTA役員]

会 長	1名
副 会 長	3名
書 記	3名
会 計	2名
母 親 代 表	4名
会 計 監 査	2名
幹 事	4名

幸 田 小 学 校

校長 上 野 正 幸

所在地 幸田町大字大草字三ツ石 18 番地 電話 62-0118 Fax 62-0416
E-mail kotaes@town.kota.aichi.jp

校訓 「きたえ みがく」

健康で、けじめのある学校

(基本的生活習慣を育成する)

みんなで力を合わせることでできる学校

(共に生きる集団生活の高まりをめざす)

競い合い、励まし合える活気のある学校

(自らをきたえる意欲を高める)

校 章



授業の様子

1 教育方針

(1) 本校の教育目標

校訓「きたえ みがく」のもと、めざす子ども像として「**◎**ころの豊かな子・**⑤**ちこむ子・**㊦**すけあう子」を育成する。

(2) 経営方針

ア 体験的な活動を通して、豊かな感性及び自ら学ぶ態度を育成し、健やかでたくましい児童を育てる。

イ 温かい人間関係の中で学年・学級のよさと一人一人のよさを伸ばし、「生きる力」を育てる。

ウ 教師自身が「学ぶ」姿勢をもち、児童のよさを伸ばす指導・支援に努める。

(3) 本年度の重点努力目標

ア 学校・家庭・地域が一体となって子どもを育てる

・睡眠時間の確保等基本的生活習慣の育成に向けて、家庭と連携・協力した指導に努める。

イ 温かい人間関係や学習の基礎・基本を重視し、確かな学力を育てる (知)

・個に応じた指導の充実を図り、学ぶ楽しさと成就感を味わわせる。

ウ 道徳指導や体験的活動を通して、命を大切にすする心、思いやりの心を育てる (徳)

・いじめや不登校等、諸課題の未然防止・早期発見・組織的な対応に努める。

エ 日常の遊びや体育的活動を通して、健やかでたくましい体を育てる (体)

・体力や運動能力の状況を把握し、体力の向上に努める。

オ 学級活動や縦割り活動・集会活動等を通して、好ましい子どもの文化を創造する

・「歌声タイム」「ふれあい集会」「縦割り活動」等を通して、楽しい学校づくりに努める。

カ 特別な支援が必要な子どもへの支援を充実させる

・子どもの特性や状況を的確に把握し、自立と共生に向けた主体的な取組を支援する。

キ 災害や感染症、危険なことから身を守る知識・意識・態度を身につけさせる

・異変に気付く感性と対応力を磨く安全教育・防災教育・健康教育の充実を努める。

2 現職教育の研究課題・研究分野

研究主題 笑顔いっぱいの「学校って楽しいな！」

研究副主題 ～「ぐんぐんタイム」と「◎⑤㊦㊧グー」をつなぐ授業づくりを通して～

学校生活全般で、子どもの心を耕し、感性を磨く魅力ある教育活動を展開する。特に授業では、かかわり合う「ぐんぐんタイム」と振り返りの「◎⑤㊦㊧グー」を結びつけ、児童の主体的に学習に取り組む態度を引き出し、「学校って楽しいな！」という本質的な楽しさを感じさせたい。そして、相手を思いやり、助け合いながら努力し続ける子どもの育成をめざす。

<授業における楽しさ>

○主体的・対話的で深い学び

<確かな日常生活における楽しさ>

○心身の健康

<地域や異学年との交流における楽しさ>

○認め合う温かい人間関係づくり

3 教職員構成

名称	校長	教頭	主幹教諭	教務主任	校務主任	教諭・講師	養護教諭	栄養教諭	事務職員(主査) (主任)	任期付任用	県費非常勤	町学校教員等	用務員	介助員	Sカウンセラー	図書館指導員	Sサポートスタッフ	教職員計
人数	1	1	1	1	1	38	2	0	2	1	2	4 (1)	1	2	1	1	(1)	59

4 学級編成状況

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	計
学級数	5	5	5	5	3	4	4	31
人数	157	160	182	175	118	146	14	952
実家庭	73	102	134	138	115	145	9	716

5 教育課程・日課編成上の特色

(1) 教育課程の特色

ア 教科学習

話す・聞く力を育て、話し合いや人とのかかわり合うことを大切にした学習をする。

イ ほなみ学習

教科学習を生かし、総合的な学習の時間・生活科・生活単元学習を軸にした問題解決的な学習をする。

ウ 好ましい子ども文化の創造

児童委員会活動や縦割り活動、ふれあい集会、学芸会などの学校行事を軸にした、児童主体の活動をする。

エ 道徳

思いやりの心を核とした道徳指導、児童委員会の企画による全校活動をする。

(2) 日課の特色

	月	火	水	木	金	
いきいきタイム 8:20～ 8:45	特別日課 6限 朝の会 8:20～8:30	ランニング* (1・3・5年) 歌声タイム(2・4・6年) 朝の会	水曜朝会 歌声タイム 朝の会	ランニング* (2・4・6年) 歌声タイム(1・3・5年) 朝の会	読み聞かせ 読書タイム 朝の会	
1限 8:45～ 9:30	8:30 9:15		ふれあい集会 (年間3回)			
2限 9:35～10:20	9:20 10:05					
10:20～10:45	(10分)	のびのびタイム (25分)				
3限 10:45～11:30	10:15 11:00					
4限 11:35～12:20	11:05 11:50					
12:20～13:10	12:40	給食・はみがき				
13:15～13:30	12:45 簡易清掃	清 掃 (15分)				
13:30～13:50	帰りの会	放 課 (20分)				
5限 13:50～14:35	13:05 13:50					
14:35～14:45	6限 14:45～15:30	13:55 14:40	帰りの会 15:00 1～4年下校	帰りの会 15:00 1・2年下校	帰りの会 15:00 1・3年下校	帰りの会 15:00 1・2年下校
15:05～15:50		15:00 一斉下校	委員会(5・6年) クラブ(4～6年)	帰りの会 16:00 3～6年下校	帰りの会 16:00 2・4～6年下校	帰りの会 16:00 3～6年下校
	15:30～15:45	15:15～ 職員打合せ		職員打合せ		

6 P T Aの組織 (役員・委員の名称及びその人数)

会 長	1名	
副 会 長	3名	
会 計	2名	
庶 務	3名	
母 親 代 表	2名	
教養委員長	1名	教養委員会 15名
保健体育委員長	1名	保健体育委員会 15名
校外指導委員長	1名	校外指導委員会 15名

中央小学校

校長 藤井 敦

所在地 幸田町大字横落字北門1番地

電話 62-8050 Fax 62-8116

E-mail chuoes@town.kota.aichi.jp

校訓

なかよく

(徳) 力を合わせる子

つよく

(体) 体をつくる子

こんきよく

(知) よく考える子

校章



【4月 新学級スタート】

1 教育方針

(1) 教育目標

校訓「なかよく・つよく・こんきよく」のもと、自他の良さを認め合える教育活動を創造し、子ども一人一人の自己肯定感を醸成することによって、「人が好き、自分が好き、自分が住んでいる町が好きな子ども」を育てる。

(2) 経営方針

- ア 信頼を基盤とした学校づくり
- イ 家庭・地域とともに歩む学校づくり
- ウ 子どもの可能性（良さ）を引き出し伸ばす学校づくり

(3) 本年度の重点努力目標

- ア 豊かな人間性を育む教育活動の創造（力を合わせる子の育成）
 - ・子どもの主体的な活動の充実を図り、子どもの自己肯定感を高める。
 - ・道徳教育、地域の方々との交流や体験活動を通して、思いやりや感謝の心を育てる。
- イ 健やかな心身を育む教育活動の創造（体をつくる子の育成）
 - ・食育、健康教育および体育的活動を通して、健やかでたくましい体づくりに努める。
 - ・家庭との連携を深め、望ましい生活習慣の定着を図る。
- ウ 確かな学力を育む教育活動の創造（よく考える子の育成）
 - ・わかる、できる授業づくりに努め、基礎・基本の定着を図る。
 - ・かかわり合いを大切にし、仲間と共に学ぶ楽しさを体感させる。
- エ 特別な支援を要する子どもを大切にする教育活動の創造
 - ・家庭および関係諸機関との連携のもと、将来を見据え、個に応じた支援を行う。
 - ・不登校傾向をもつ子どもへの迅速な初期対応と継続的な粘り強い支援を行う。

2 現職教育の研究課題・研究分野

○ 主 題

「人が好き、自分が好き、自分が住んでいる町が好きな子どもの育成」

～自他の良さを認め合える教育活動の創造～

○ 研究の方針

- ・授業において、自他の良さを見つけられる場を設定する。
- ・地域とのつながりを生かした「ふるさと学習」（生活科・総合的な学習）、老人クラブや学校支援ボランティアとのかかわりを大切にする。
- ・問題解決的な学習を生かし、話す・聞く・書く力および問題解決力を高める工夫をする。

3 教職員構成

名称	校長	教頭	主幹教諭	教務主任	校務主任	教諭	養護教諭	栄養教諭	事務職員(主任)	任期付任用	臨時的任用	県費非常勤	町学校教員等	用務員	介助員	Sカウンセラー	図書館指導員	Sサポートスタッフ	教職員計
人数	1	1	0	1	1	18	1	0	1	3	4	2	3 (2)	1	1	(1)	1	1	40 (3)

4 学級編成状況

学 年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	特別支援	計
学級数	3	3	3	3	3	3	3	21
人 数	86	84	101	88	84	98	14	555
実家庭数	52	52	62	68	81	97	12	424

5 教育課程・日課編成上の特色

(1) 教育課程の特色

ア 少人数指導授業、特別支援教育、通級指導、日本語適応指導等の個に応じた教育の充実

- ・少人数指導授業は、第3学年～第6学年の算数で実施。第3・4学年の算数は学級を2分割した均等または習熟度別授業、第5・6学年の算数は学年体制による3コース5グループの習熟度別授業。
- ・通級指導は、通級指導教室(にこにこ教室)を設置して、個別・グループ別指導を実施。日本語指導は日本語能力や生活経験の差に応じた指導。

イ 確かな学力を育む学習の推進

- ・基礎・基本の定着を図るとともに、かかわり合うなかで考えを深め、わかる喜びや仲間と学ぶ楽しさを体感できる単元構想の工夫と追究意欲を高める問題解決的な学習の推進。

(2) 日課の特色

- ・たくましい体と心をつくる業間ランニングとにこにこ班(縦割り)でのなかよし遊び。
- ・下校時の安全に配慮した集団下校体制。
- ・心を育てる朝の読書、家庭教育学級生やボランティアによる読み聞かせ。
- ・よりよい人間関係づくりをめざして定期的に行うエンカウンター。

	月	火	水	木	金
朝会・集会・エンカウンター 読書・朝の会 8:15～8:40	朝会・集会・エンカウンター 朝の会	読書・朝の会	読書・朝の会	読書(読み聞かせ) 朝の会	読書・朝の会
第1限 8:45～9:30	9:00～9:45				
第2限 9:40～10:25	9:55～10:40				
	業 間(25分)火～木…ランニング、金…なかよし遊び				
第3限 10:50～11:35					
第4限 11:45～12:30					
	給 食(12:30～13:20) 清掃(13:20～13:35)				
第5限 14:00～14:45					
第6限 14:55～15:40	3～6年授業	2・4～6年授業	3～6年授業	クラブ・委員会 職員会議	3～6年授業
帰りの会 15:40～15:55					
集団下校	1便(15:05)・2便(16:00)・木曜日職員会議の日のみ15:05一斉下校 ※最終下校は、年間を通して16:00(9月の町体育大会練習時のみ延長)				

6 その他特色ある活動

- 子どもの主体的な活動による3つの宝(あいさつ、そうじ、ランニング)磨きを大切にし、望ましい生活習慣の定着を図っている。
- 地域連携協議会の開催や学校支援ボランティアの募集、「先輩に学ぶ会」等を通して、家庭・地域との連携を図っている。
- 避難訓練をはじめとする防災教育の充実を図り、地域の防災訓練にも積極的に参加することで学校・家庭・地域が一体となって防災に対する意識を高めている。
- 「三河万歳クラブ」「凧クラブ」「ゲートボールクラブ」「茶道クラブ」「和太鼓クラブ」等8つのクラブで、地域の人材を活用し、交流を図るとともに伝統・文化の継承をめざしている。また、地域の催しへの参加や福祉施設への訪問を通して、交流を深めている。
- 「にこにこ遊び」、「にこにこ集会(月曜集会)」等の「縦割り活動」を実施することで、高学年のリーダーとしての意識を高めるとともに、異学年交流を深めている。
- 社会福祉協力校として、家族や地域とのふれあいを大切にした福祉実践教室等の活動を行い、福祉への関心を高めている。
- 「読み聞かせ」「親子ふれあい作業」等の活動を行い、親子のふれあいを深め、奉仕の心を育んでいる。
- 全学年で「家庭教育学級」を学級生(保護者)が自主的に企画・運営することで、互いの交流と研修の充実に努めている。

7 PTAの組織(役員・委員の名称及び人数)

会 長	1名	委員会委員(代議員)	会 員 委 員 会	7名
副 会 長	2名		安 全 推 進 委 員 会	7名
書 記	3名		厚 生 委 員 会	6名
会 計	2名		教 養 委 員 会	7名
会 計 監 査	2名			
母 親 代 表	2名			
			学級委員	39名

荻谷小学校

校長 岡本 智

所在地 幸田町大字芦谷字東山1番地

電話 62-0117 FAX 62-0649

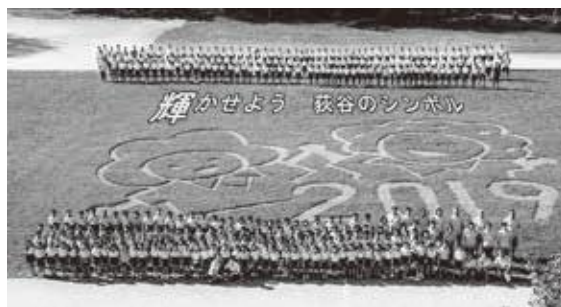
E-mail ogiyaes@town.kota.aichi.jp

校訓

きまりよく

かしこい子
あかるい子
げんきな子

校章



1 教育方針

(1) 教育目標

たくましく生きる力を身につけた「かしこい子 あかるい子 げんきな子」の育成を図る。

(2) 学校づくりスローガン

「みんなでそだてよう『**おぎやまもも**』」

・**お** おもいやり **ぎ** きょうりよく **や** やりぬく心
 ま まなびあい もっと もっと



芝生アート

(3) 本年度の重点努力目標

あかるい子(徳)

・明るく思いやりのある心
豊かな児童

集団づくり

○特別活動
⇒学級会の自治的な運営
⇒行事
(スローガン・実行委員会)

心の教育

○道徳教育を核として
⇒重点内容項目は

お・ぎ・や+ありがとう

○特別な教科 道徳
⇒荻谷スタンダード

<自己内対話>

個別の支援(特別支援教育)

○その子らしさを支える
⇒傾聴
⇒認知能力の向上

かしこい子(知)

・主体的に学びに向かい、共に学び合う
喜びを感じる児童

学び合い高め合う授業

○感性と問題意識を高める体験活動
・気づきの目 ・感動する心
・問いを生む
○直に関わり合う授業スタイル
・板書 ・共同制作
・ペア、グループ対話
・相互指名、自由発言
○ねらいと振り返り<メタ認知>
⇒子どもに寄り添った単元構想と授業展開
○結果より経過を評価
○国語力
⇒読書 音読・群読 αドリル
読みのアセスメント・支援
自立的な家庭学習
○自分で決めて自分で取り組む
⇒(計画・テスト・分析・練習)

げんきな子(体)

・よき生活習慣を身に付け
た、健康でたくましい児童

すこやかタイム

・自分のために

外遊び

・全校レク ・自由遊び

健康教育

・基本的な生活習慣
(歯磨き 質のよい睡眠)
・心身の健康(レジリエンスの向上)
・学校保健委員会の充実

食育

・食習慣の改善
(給食⇄家庭)

安全・防災教育

・より実践的な避難訓練

2 現職教育の研究課題・研究分野

(1) 研究主題

「協同して問題解決に向かい、学ぶ喜びを感じる子どもの育成」
 — つなぎ合い、高め合う「教室コミュニティ」を基盤として —

(2) 研究の重点

ア 「主体的・対話的で深い学び」となる授業づくり＝自立的な学び

- ① 5つのキーワード（あれ・ふうん・そうか・なるほど・もっと）をもとに、子どもに寄り添った単元構想を構築する。
- ② 子どもの追究を生み出し、学びに拍車をかける感性や問題意識を高める活動を取り入れる。
- ③ 子ども同士の多様な関わり合いを生み出す授業形態を工夫する。
- ④ 子どもの学びを焦点化する「深まりポイント」と振り返りを授業の中に位置付ける。
- ⑤ 「話し方・聞き方のあいうえお」や「話のつなぎ方」に基づき、基本姿勢を身に付けさせる。
- ⑥ アセスメントを通して個々の基本的な言語能力（語彙力・読みのつまずき等）を把握し、早期支援を行うことで、流暢な読みができるようにする。
- ⑦ 全校体制での音読・朗読活動を実施し、効果的な言語活動について研究する。

イ 「荻谷を知り、荻谷で共に生きるための学び＝『荻谷学』」の取り組み

- ① 総合的な学習（とぼね学習）を核として、地域教材の開発、活用方法を構築する。
- ② 子ども自身が課題を見つけ、解決していく学びの場（プロジェクト学習）の設定をする。

ウ 心の教育に向けた取り組み

- ① 「荻谷っ子タイム」で構成的エンカウンターを導入し、心の在り方や人間関係作りを学ぶ場の設定をする。
- ② 道徳の授業では、テーマ発問を工夫し、考え、議論する授業展開を目指す。
- ③ 道徳の授業での学びや振り返りをポートフォリオとして蓄積し、その活用、さらに評価の仕方について全体の共通認識を図る。
- ④ 特別な支援を必要とする子どもたちの行動を多角的に分析し、適切な支援のあり方を共通理解する。

エ 自立的な学びにつながる家庭学習

- ① 子どもの自立的な学びの力を高めるために、「自分で決めて自分で取り組む学習スタイル」を確立する。
- ② 子どもへの支援について保護者と共通理解を図り、達成感を味わわせるように連携をとる。

3 教職員構成

名称	校長	教頭	主幹教諭	教務主任	校務主任	教諭・講師	再任用教諭	養護教諭	栄養教諭	事務職員(主事)	県費非常勤	町学校教員等	用務員	介助員	Sカウンセラー	図書館指導員	Sサポートスタッフ	教職員計
人数	1	1	0	1	1	15	2	1	1	1	2	2	1	2	1	(1)	(1)	32

4 学級編成状況

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	計
学級数	2	2	2	2	2	2	3	15
人数	50	41	56	41	50	53	6	297
実家庭数	25	28	39	32	49	53	4	230

5 教育課程・日課編成上の特色

(1) 教育課程の特色

- ア すこやかタイム …… 調和のとれた心と体づくりを目指し、業間10:20～10:35（火・水・集会のない金）の7分間を「すこやかタイム」として、持久力をつけるマラソン（火・金）、敏捷性や平衡性などをつける多様な運動（水）を組み合わせ、実施する。
- イ 読書タイム …… 読書の習慣をつけるために8:20～8:30（火・水・集会のない金）を「読書タイム」とし、毎週水曜日は読み聞かせの日とする。
- ウ クラブ（つばき）の活動 …… 月曜日の第6時限（15:10～15:55）を、「つばき」の時間として、マーチングとチャレンジ（和太鼓）に分かれて実施。1学期は5・6年生を中心に、2学期以降は4・5年生を中心に活動する。保護者や地区の方々にもその成果を発表する場を設ける。
- エ とぼね学習 …… 各教科の学習などで身につけた力を生かし、自ら学び・考えながら、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる。また、授業を通して地域のひと、もの、こととのつながりを深め（『荻谷学』）、社会との関わり方について意識させる。
- オ 荻谷っ子タイム …… 各クラスで構成的エンカウンターを行い、子どもたちの温かい人間関係作りの場とする。

(2) 日 課

	月	火	水	金	木	
歌声タイム 8:15～8:20 読書タイム 8:20～8:30 朝の会 8:30～8:45	朝会 8:20 荻谷っ子タイム	歌声タイム 読書タイム 朝の会			集会 (月と同じ) 朝の会	朝の会
	朝の会 8:45～9:00					
第1時限 8:45～9:30	9:00～9:45				8:30～9:15	
第2時限 9:35～10:20	9:50～10:30				9:20～10:05	
すこやかタイム		すこやかタイム 10:20～10:35			業間	
業間 10:35～10:50	業 間					
第3時限 10:55～11:40					10:25～11:10	
第4時限 11:45～12:30					11:15～12:00	
給食・歯磨き	給食・歯みがき（12:30～13:25） 清掃（13:30～13:45）				12:00～12:55	
第5時限 14:05～14:50					13:15～14:00	
第6時限 14:55～15:40	帰りの会		とぼね		14:05～14:50	
帰りの会 15:45～15:55	つばき 15:10～15:55	委員会			14:50～15:00	

6 その他の特色ある活動

(1) みどりのチーム

全校縦割りのグループを編成し、学級・学年・教科の枠を越えた学習の場とする。

〈主な活動〉芝生の管理（芝生アート）、春の遠足、集会活動、サツマイモ栽培、収穫祭など

(2) 親子学級「わくわくワーク」

親子の絆を深め、地域の方との交流を図ることを目的に、半日の親子活動を行う。

7 PTAの組織（役員・委員の名称及びその人数）

＜役 員＞

会 長	1名	書 記	2名
副会長	3名	会計監査	2名
会 計	2名	母親代表	2名

＜理事＞＜代議員＞

・研修広報委員会	2名	7名
・生活文化委員会	2名	7名
・保健環境委員会	2名	7名

サツマイモ掘り

＜学級委員＞

・各学年で選出した委員6～12名

※理事会は、役員と理事の14名で組織

所在地 幸田町大字深溝字南道祖神 11 番地 電話 62-0119 FAX 62-0958

E-mail fukouzues@town.kota.aichi.jp

校訓

校章

みんな なかよく
進んで勉強
健康なからだ
よく考え よく働く



1 教育方針

(1) 本校の教育目標

【校訓】

みんな なかよく	進んで勉強	健康なからだ	よく考え よく働く
----------	-------	--------	-----------

【めざす子ども像】

<p><徳> 明るく、思いやりがあり、互いを高めあえる子</p>	<p><知> 自ら学ぶ意欲をもち、粘り強く学ぶ子</p>	<p><体> 自他の命を大切にし、心と体を鍛える子</p>
--	--	---

【本年度の教育目標】

未来を見つめ、しせいよく生きる子どもの育成

(2) 経営方針

- ア すべての教職員がめざす子ども像を共有し、それぞれのよさを生かしながら互いに高めあい、子ども、保護者、地域から信頼される教職員集団をめざす。
- イ 子ども同士が互いのよさを認め、支えあいながら自己実現できる集団づくりをめざすとともに、個々の様子をよく見ながら適切な個別支援を心がける。
- ウ 家庭や地域と連携を深め、安心・安全の中で地域全体が教育の場となるよう、開かれた学校づくりをめざす。

(3) 本年度の重点努力目標

- ア 「チーム深溝」の強化
 - ・「1+1+1+1+1」も「6」、「0.5+1.1+1.1+1.1+1.1+1.1」も「6」の精神で
 - ・「みんなちがってみんないい」を合言葉に
 - ・「ハウレンソウ」も大切だけれど、「ザッソウ」で風通しのよい職場に
- イ 「徳」「知」「体」の調和のとれた子の育成
 - ・級訓を核とした規律のある学級づくりの強化
 - ・体験活動、問題解決学習を重視して、思考力・判断力・表現力を育成

- ・「しっかり朝ごはん」「せなかピン」「いつもスマイル」「よく見てあいさつ」「くじけずラン」の継続

ウ 家庭・地域との連携の強化

- ・通信やHPを充実させ、子どものよさを積極的に発信
- ・地域の「ひと・もの・こと」を活用した教育活動の展開
- ・学校評価を活用した教育活動の見直し

2 現職教育の研究課題・研究分野

(1) 研究主題

未来を見つめ、しせいよく 生きる子どもの育成

- ・「しっかり 朝ごはん」「せなか ピン」「いつもスマイル」「よく見てあいさつ」「くじけずラン」を継続し、生活や学習の基礎となる心身の健康の維持・増進を図る。
- ・主体的・対話的で深い学びの視点により授業を改善し、授業の質を向上させることにより、学力の向上を図る。

(2) 研究の重点

- ・級訓を核とした、規律ある学級づくりの強化と、学習規律の定着を図る。
- ・問題意識をもち、見通しをもって学習に取り組むことができるようにするための授業における具体的な手だてや、共に認め合い、仲間と協働的に課題解決に取り組むことができる授業を展開するための具体的な手だてを追究する。
- ・体験活動、問題解決学習を重視して、思考力・判断力・表現力を育成する。
- ・「ふこうずっ子の家庭学習」の定着と、「ぐるぐるノート」の効果的な活用について研究する。

3 教職員構成

名称	校長	教頭	主幹教諭	教務主任	校務主任	教諭・講師	養護教諭	栄養教諭	事務職員(主事)	任期付任用	県費非常勤	町学校教員等	用務員	介助員	Sカウンセラー	図書館指導員	Sサポートスタッフ	教職員計
人数	1	1	0	1	1	18	1	0	2	0	1 (1)	3 (1)	1	2	(1)	(1)	1	33 (4)

4 学級編成状況

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	計
学級数	2	3	2	2	2	2	4	17
人数	62	71	58	69	63	50	17	390
実家庭数	35	32	41	59	57	50	11	285

5 教育課程・日課編成上の特色

- たて割り活動……1年生から6年生の異年齢グループをつくり、「ふこうずっ子タイム」として年5回、子どもの笑顔があふれるような活動を計画し、子ども同士の人間関係づくりと高学年児童のリーダー性を養う場としている。また、4年生のリーダー性を養うため、うさぎの当番をたて割り班の3・4年生で行っている。

○元気アップタイム……第2校時と第3校時の間を30分間とり、業間体育に取り組んでいる。リズムに乗って体を動かす「元気アップ体操」と、「走・跳・投」を鍛えるトレーニングを低・中・高学年のローテーションで行っている。

○読書タイム……毎朝10分間の読書タイムを設けて読書活動の充実を図り、読書好きな子どもを育てている。週末には「わくわく読書」として、全校児童が図書室の本を借りる機会を設け、家庭でも読書する習慣を育てている。

○読み聞かせ……家庭教育学級「ダンボの会」の協力で年間20回（木曜日）の読み聞かせタイムを設定している。1、2年生を対象に、図書委員による読み聞かせも行い、本に親しむ環境の充実を図っている

○ふれあい学習……身近な地域の自然や社会を教材とし、「ひと・もの・こと」を生かした体験的な学習活（総合的な学習の時間）動を工夫して、自ら学ぶ力の育成を図っている。

＜総合的な学習の時間（ふれあい学習）の指導計画＞

学年	活動内容	関 連	
3年	地域(地域探検、祭り、児童館など)	社会科、理科	・情報教育 ・キャリア教育 ・食育 ・防災教育 (深溝断層見学)
4年	自然・環境(ゴミ、水、川など) 防災記事まとめ 老人福祉センター訪問	社会科、理科	
5年	自然・環境(ナス作り) 福祉体験 産業 (自動車工場見学)	社会科、理科 家庭科	
6年	自然・環境 (ジャガイモ作り、環境学習) 歴史(島原藩主深溝松平家、・修学旅行の史跡見学) 防災(三河地震)	社会科、理科 道徳	

6 その他特色ある活動

○ビオトープ……自然体験や環境教育の場として環境整備を行うとともに、メダカや草花の観察を進めるなど、学習場面での活用に向けて日常活動を行っている。

○ナスの栽培……地元の方を講師として招き、5年生が苗植えから収穫に至るまでの栽培活動を学んでいる。

○福祉体験活動……ガイドヘルパー、手話講座、福祉施設訪問など、各学年の発達段階に応じて福祉について学ぶ機会を設け、福祉教育の充実を図っている。



ナスの栽培

7 PTAの組織(役員・委員の名称及びその人数)

会 長 ……	1名	副 会 長 ……	2名
書 記 ……	2名	会 計 ……	2名
会計監査 ……	2名	理 事 ……	4名
地区委員 ……	15名	学級委員 ……	26名

豊坂小学校

校長 本多 宣子

所在地 幸田町大字野場字鶏島 55 番地

電話 62-1048 Fax 62-1807

E-mail toyosaka@town.kota.aichi.jp

<校 訓>

さとく
正しく
すこやかに

<校 章>

豊坂

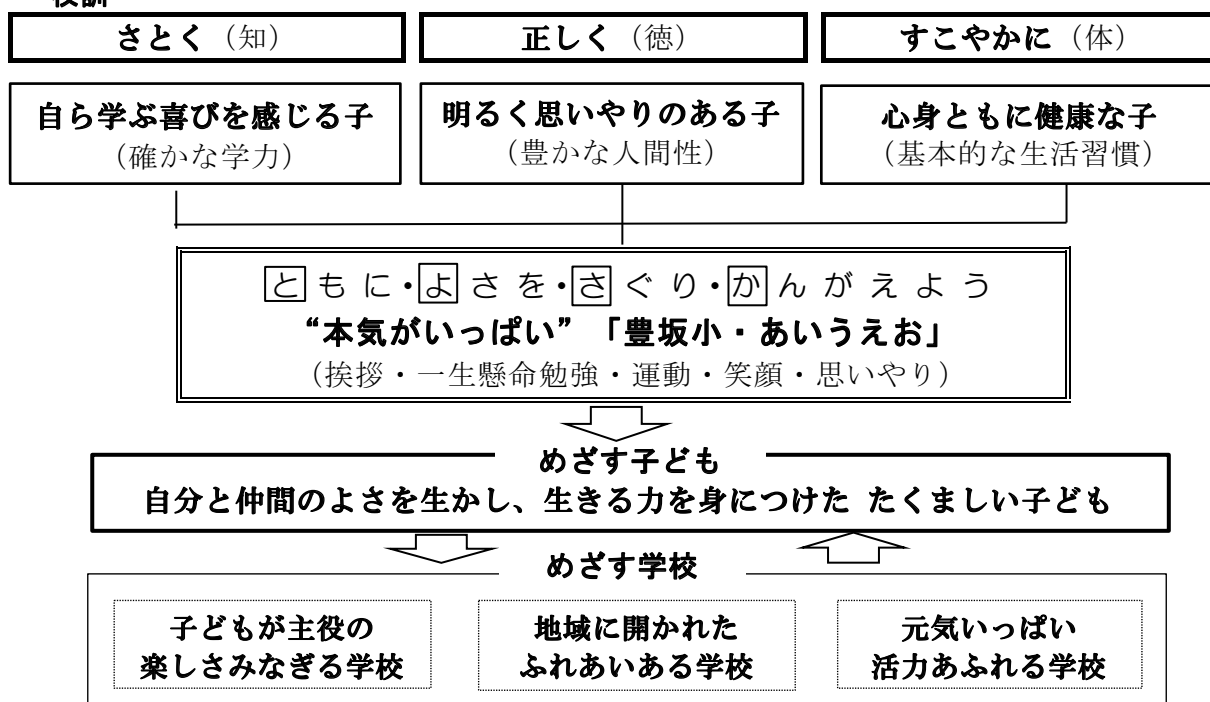


<ビオトープでの米作り>

1 教育方針

(1) 本校の教育目標

校訓



(2) 経営方針

- 子ども一人一人を伸ばす創意工夫した教育活動を展開することで、知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を育む。
- 子ども理解に努め、全校の子どもを全職員で育てる。特別な支援等の必要な子どもに対しては、保護者や関係機関と連携して共通理解を図り、適切な支援・指導にあたる。
- 教育活動を公開し、家庭・地域・学校が一体となって、子どもの健全育成や安心・安全を確保する学校経営を展開する。

(3) 本年度の重点努力目標

ア 知恵づくり (知)

- ・ 学区の「人・もの・こと」を生かした問題解決的な学習や体験活動等、子どもの思考に即した授業を展開し、学ぶことの楽しさや成就感を味わわせる。
- ・ 学習規律を確立し、わかる・できる授業づくりの推進と少人数指導・ドリル学習の充実により学習内容の定着や学力向上を図る。
- ・ 各教科において「話す・聞く・読む・書く」言語活動を充実させ、表現力の育成を図る。
- ・ 発達段階に沿ったキャリア教育を推進し、自分らしい生き方を実現させる力を育成する。

イ 心づくり (徳)

- ・ 自分と友だちのよさを認め合い、高め合う温かい学級集団、人間関係づくりに努める。
- ・ 生き方を考え、話し合う道徳教育を推進し、豊かな心情と道徳的実践力を育む。

- ・ 体験活動や縦割り活動、地域の方とのふれあいを通して、思いやりや感謝の心を育てる。
- ・ 読書活動や読み聞かせ活動を通して、読書への意欲を高め、豊かな感性を育む。

ウ 体づくり（体）

- ・ 食育・健康教育の推進と家庭との連携により、基本的な生活習慣の確立を図り、健康を育む力を高める。
- ・ チャレンジタイムのかけ足等を通して、たくましく生きる体力の増進を図る。
- ・ 相撲大会、縄跳び大会等の伝統行事を通し、地域と連携して運動に親しむ意欲を高める。

エ 環境づくり（安全・安心・健全）

- ・ 防災教育や防犯教育と命を守る教育や、安全・安心な教育環境づくりを推進する。
- ・ 子ども理解と個に応じた指導の充実と、子どもの「心の居場所」づくりに努める。

2 現職研修の研究課題・研究分野

(1) 研究主題

「自分と仲間のよさを生かし、主体的に学ぶ子どもの育成」

～ 考え表現する問題解決的な学習を通して ～

- ・ 自分の考えをはっきりさせたり、仲間の考えを聞いてそのよさに気づいたりする。
- ・ かかわり合いを通して、自分と仲間の思いや考えを比べたりつなげたりして、新たな視点や考えをもつ。
- ・ 問題解決の見通しをもって追究し、得た知識・技能を使って考え、表現する。

(2) 研究の重点

- ・ 子どもたちの興味・関心などを教師がとらえ、子どもの意識がつながり追究意欲が持続する単元を構想する。
- ・ 構造的な板書と教師の問い返しを工夫し、子どもたちが自分や仲間の考えを比較・関連づけるかかわり合いの場を設定する。
- ・ ワークシートやふり返りに視点を与えることで、子どもたちが見通しをもって追究できるよう工夫する。

3 教職員構成

名称	校長	教頭	主幹教諭	教務主任	校務主任	教諭・講師	養護教諭	栄養教諭	事務職員(主事)	任期付任用	県費非常勤	町学校教員等	用務員	介助員	Sカウンセラー	図書館指導員	Sサポートスタッフ	教職員計
人数	1	1	0	1	1	18	1	1	1	0	2	4 (1)	1	2	(1)	(1)	(1)	34 (4)

4 学級編成状況

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	計
学級数	3	2	2	2	2	2	5	18
人数	72	65	59	63	58	61	17	395
実家庭数	39	41	37	50	53	60	13	293

5 教育課程・日課編成上の特色

<朝の会>

30分間を確保し、今月の歌・健康観察・読書・ドリル学習の他に、子ども同士のかかわり合いの基盤づくりの場として活用している。ドリル学習では、漢字や計算の反復練習を10分間行い、基礎的な学力の定着を目指している。

<チャレンジタイム（第2校時と第3校時の間）>

体力の向上と運動に親しむ資質や能力を育むため、年間を通して5分間走に取り組むとともに、季節に応じて、相撲や縄跳びの技能向上をめざして取り組んでいる。

<とよさかタイム（総合的な学習）>

子どもが地域・自然・社会とかかわる大切な時間と位置づけている。

学年	主な活動内容（テーマとのつながり）	他教科との関連
3年	ナスを育てよう幸田のじまん（自然・環境）	国語・社会・理科・道徳
4年	豊坂やさしさネットワーク（福祉・環境）	国語・社会・理科・道徳
5年	わたしたちのお米を育てよう（自然・共生）	国語・社会・理科・家庭科・道徳
6年	挑戦プロジェクト（福祉・共生・自然）	国語・社会・図工・家庭科・道徳

<縦割り活動>

全校を24班に分け、6年生を班長として、1年生から6年生までの15～17名で班をつくる。縦割りタイムや児童集会をはじめとした諸活動で相互のかかわりを深める。

<児童会活動>

4～6年生が代表委員会を中心とし、9つの委員会に分かれて活動する。子ども自らが学校生活上の問題改善に向けて自主的に取り組むことで、子どもの自浄力・自治活動力を育てる。

6 その他の特色ある活動

<ナスの栽培>

学級園でナスの栽培を始めて今年で20年目になる。地域の方を講師に招き、3・6年生を中心に苗植えから栽培、収穫までを行っている。収穫したナスは給食センターに運び、幸田町小中学校の給食の食材として利用していただいている。

<読み聞かせ（てんとう虫の会）>

毎週水曜日に、本校の保護者で組織するボランティア「てんとう虫の会」による読み聞かせを全学年で行っている。また、隔月に1回、全校児童を対象とした「業間ほんほんタイム」と1年生を対象にした「ほんほんタイム」、2学期には「全校読み聞かせの会」を実施している。

<親子観劇会>

学区コミュニティとの共催で行っている。地域が育む心の教育の場と位置づけ、児童・保護者、地域の方々を対象に観劇会を開催している。

<相撲大会>

26代木村庄之助の出身がこの豊坂学区であること、もともと相撲熱が高かったことから、昭和57年に土俵がつくられた。これを利用して、毎年10月に相撲大会を行っている。学区全体に参観を呼びかけて開催している。

<ビオトープ>

本校は、昭和52年に「豊坂みどりの少年団」を結成して以来、自然を大切にした活動を継続している。20年前に、地区の多くの方々の協力を得て完成した本校のビオトープは、植物や生き物などの自然にふれあう憩いの場になっている。ビオトープを生活科・社会科・理科・総合的な学習などで活用し、E S D（持続発展教育）の充実に努めている。

7 P T Aの組織（役員・委員の名称及びその人数）

[P T A役員]

会 長	1名		
副 会 長	2名	会計監査	2名
書 記	2名	母親代表	2名
会 計	2名	幹 事	14名

[P T A委員会]

総務委員会	10名
広報委員会	8名
環境委員会	17名
保健委員会	8名
教養委員会	9名

所在地 幸田町大字菱池字黒方19番地

電話 62-0043 Fax 62-0210

E-mail kotajh@town.kota.aichi.jp

校訓

ほがらかに
清 潔 に
よ く 考 え
よ く 働 く

校章



めざせ 日本一！～ライジングサン～

1 教育方針

(1) 本校の教育目標

「いつも熱く ずっと熱く もっと熱く」生きる生徒の育成

(2) 経営方針

ア 生きる力を育む教育活動の展開

- ・ いつも熱く ← よく考え よく働く
(あきらめず つづけよう くるしくても)・・・夢を育む活動の展開
- ・ ずっと熱く ← ほがらかに 清潔に
(あせらず つなげよう くじけずに)・・・折れない心を鍛える活動の展開

イ 指導体制の確立

- ・ 情熱と信頼を教育推進の基盤とし、職員間の協力体制を確立して、指導法の改善に努める
チームで生徒を指導する体制の完成と成功をみんなで喜ぶ職場づくり
生徒の心に火をつけ、生きる勢いをつける教師集団づくり
(「幸中熱血teacher's百人一首」の校内掲示)

(3) 本年度の重点努力目標

「新たな発想と展開 そして挑戦」

ア 学習指導の充実

- ・ 学ぶ姿勢づくり(できることを繰り返すことによる学習の習慣化)
- ・ 考える機会の充実(本物との出会い、体験活動の重視、考える時間と対話の保証)
- ・ 「なぜ、どうして」の疑問を大切に学習の展開(問題解決思考の心得)
- ・ 授業のユニバーサルデザイン化の推進

イ 生徒指導の充実

- ・ 心を耕す朝のあいさつ運動の展開
- ・ 心を潤す活動(全校ダンス・全校合唱、団活動)
- ・ 心を鍛える活動(個々が工夫する、やらされていない部活動展開)
- ・ 登校が難しくなった生徒を最後まで見捨てない取組の実践
(夜間登校、休日登校、関係機関との連携、自宅学習の充実)

ウ 道徳指導の充実

- ・ 道徳の授業公開 day に、教員・生徒相互で授業を見合い、実践を深める
- ・ いじめ問題に正面から取り組み、いじめ歯車を壊すことのできる生徒を育てる

エ 健康・安全指導の充実

- ・ SMILE&HAPPY from KOTA の実践
笑顔で幸せを届けよう 防災学習から新型コロナまで
歌声 CD 発信、そして全校手作りマスクから始めよう！

オ 国際理解教育の充実

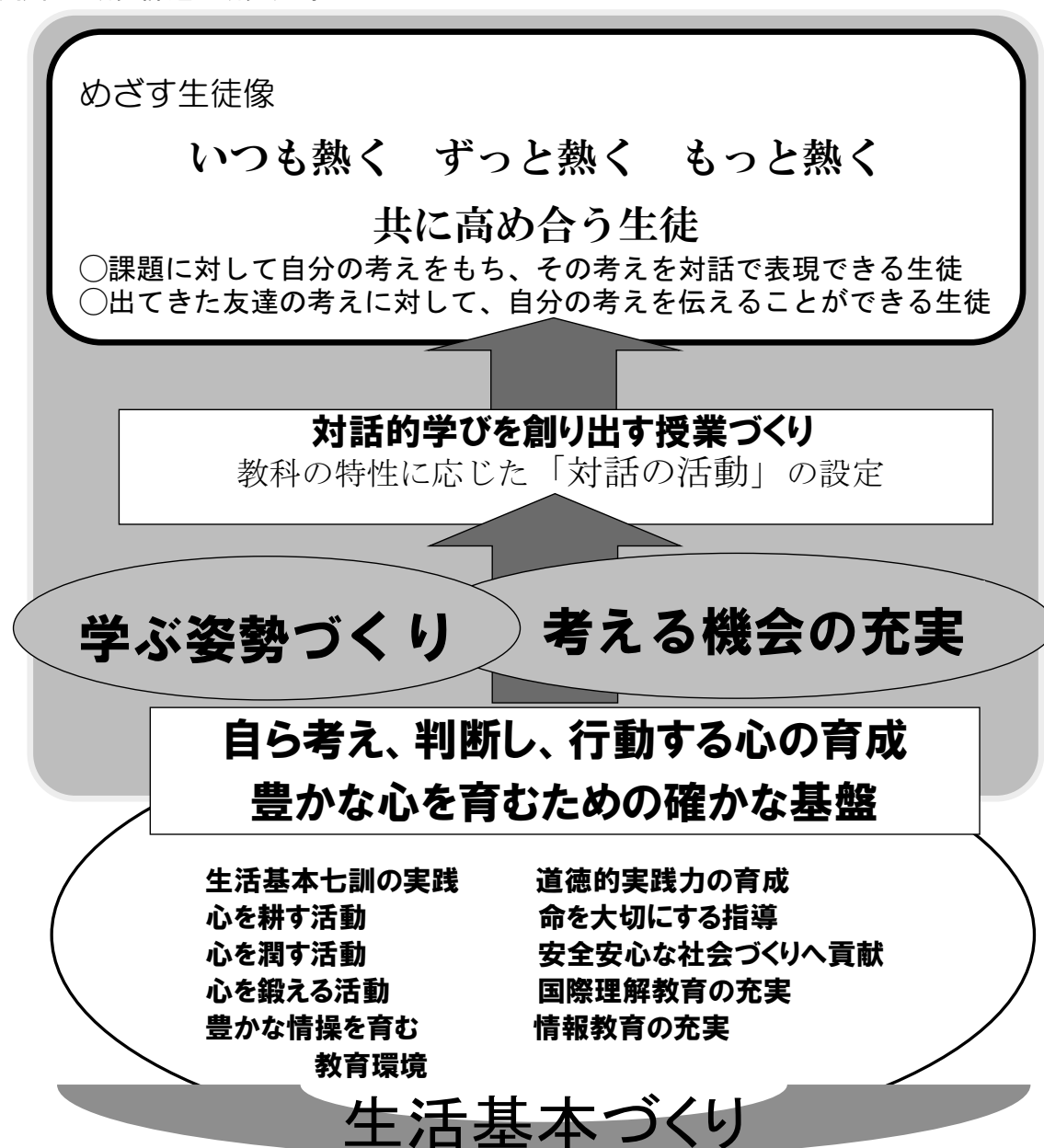
- ・ オールイングリッシュタイム(エクササイズ)の取組の充実を図り、英語を楽しむことのできる生徒の育成を目指す

カ 情報教育の充実

- ・ ペッパー 2 号との最後の一年のため、ラストにふさわしい活用の充実を図る

- キ 豊かな情操を育む教育環境の充実
 - ・ 幸中憩いの森で、自然に親しみ、故郷を愛す生徒を育てる
- ク 多忙化解消にかかる業務改善
 - ・ 週に一度ののんびり出勤と、部活動のある日でも早く帰ります DAY の完全実施

2 現職教育の研究課題・研究分野



3 教職員構成

名称	校長	教頭	主幹教諭	教務主任	校務主任	教諭・講師	養護教諭	栄養教諭	事務職員(主査)	任期付任用	県費非常勤	町学校教員等	用務員	介助員	Sカウンセラー	図書館指導員	Sサポートスタッフ	教職員計
人数	1	1	0	1	1	31	1	0	1	1	2	2	1	1	1	(1)	1	47

4 学級編成状況

学 年	1 年	2 年	3 年	特別支援	計
学級数	6	5	5	4	20
人 数	183	184	182	19	568
実家庭数	138	175	182	16	511

5 教育課程・日課編成上の特色

(1) 3 T タイム

総合的な学習の時間を「3 T タイム」と名付けて取り組んでいる。3 T とは「Theme」「Together」「Technique」の頭文字をとったもので、自らテーマを設定し、共同で学び方を学習するという意味である。1年生では「環境・福祉」を、2年生では「生き方」を、3年生では「防災」を中心に、福祉・生き方・防災の3つの分野について、E S D（持続発展教育）の視点も加えた単元構想を考え、追究を深め、学習成果を発表し、発信する機会を積極的に取り入れ、より良く問題を解決する資質や能力を育てる。

(2) 日課の弾力的かつ効果的な運用・KFT (Kota Flexible Time) の実施

年間統一した日課で学校生活を行うことで、確かな日常「当たり前」の日常の継続と向上を意識できる生徒を育むと共に、6限の運用を弾力的かつ効果的に工夫することで、生徒の夢を育み、折れない心を鍛える活動を展開する場としていく。

(3) 学校と家庭・地域を結ぶ活動

ア 「学校の方針を示す」取組

P T A 総会、学校公開の日などのあらゆる場面で、本年度の教育目標、重点努力目標とその活動の目的や内容を啓発するとともに、年間活動計画を年度初めに生徒の家庭や学区の関係者に配布し、基本的な学校の方針についての共通理解を図る。

イ 「学校から発信する」取組

『幸中タイムズ』を年7回発行し、学校生活の様子を家庭や地域に発信する。また、ホームページの更新回数を増やし、内容の充実を図るなど積極的な情報発信に努める。

ウ 「学校を開く」取組

「学校公開の日・授業参観日」を設定し、生徒が学校生活をどのように送っているか、直接生の姿を見ていただく機会を増やす。教科等の授業公開（4月・6月・11月）、情報モラル講習会・学校保健委員会（6月）、校内体育大会（9月）、文化祭（10月）を平日や土曜日に開催し、保護者や地域の関係者に公開する。

エ 「学校と共に活動する」取組

生徒の安全確保のために、学校と家庭・地域が一体となった安全対策を推進する。また、地域や保護者の声を生かす「学校診断」を実施し、教育活動の改善を図る。

6 P T A の組織（役員・委員の名称及びその人数）

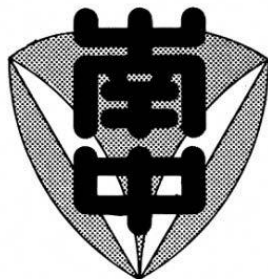
会 長	1名	副 会 長	2名	会員研修委員会	15名
書 記	3名	会 計	3名	保健体育委員会	16名
会計監査	2名	母親代表	2名	校外補導委員会	15名

所在地 幸田町大字深溝字舟山 5 番地 5

電話 62-6811 Fax 62-6990

E-mail nanbujh@town.kota.aichi.jp

< 校 章 >



全校合唱 「南風」



地域交流活動

1 教育方針

教育目標

人間味があり、たくましく生きぬくことのできる生徒の育成

開校精神

「やりぬく心」

めざす生徒像

「考え 響き合う、一流の南中生」
自分から進んで 全員で 声を出し 知恵を出し
汗を出して やりぬく南中生

めざす学校像

魅力ある教師が 魅力ある人を育てる
魅力ある学校
地域に愛され 地域に貢献できる
地域とともに歩む学校

校訓

錬磨 (体)

・目標をもち、粘り強い気力と体力を身につける。

探究 (知)

・自分から進んで学習に取り組み、最後までやりぬく。

友情 (徳)

・思いやりの心をもち、声を掛け合い、協力し合う。

(1) 経営方針

「つながる」

- ・ 学びが つながる
- ・ 夢が つながる
- ・ 伝統が つながる
- ・ 地域や世界と つながる

(2) 重点努力目標

< 学びをみがく >

- ・ 一人一人に寄り添った指導
- ・ 基礎学力の定着 英語力の向上
- ・ 感動のある体験活動
- ・ 問題解決的な学習
- ・ 考え、表現する力の育成

< 心をみがく >

- ・ 「あいさつ・福祉・歌声」を柱にした生徒会活動
- ・ 委員会活動を中心とした読書指導
- ・ 感性を高める俳句づくり、語彙指導
- ・ 道徳の授業の充実

< 生き方をみがく >

- ・ 人から学ぶ、地域から学ぶ
キャリア教育の推進
- ・ 進路相談活動の充実

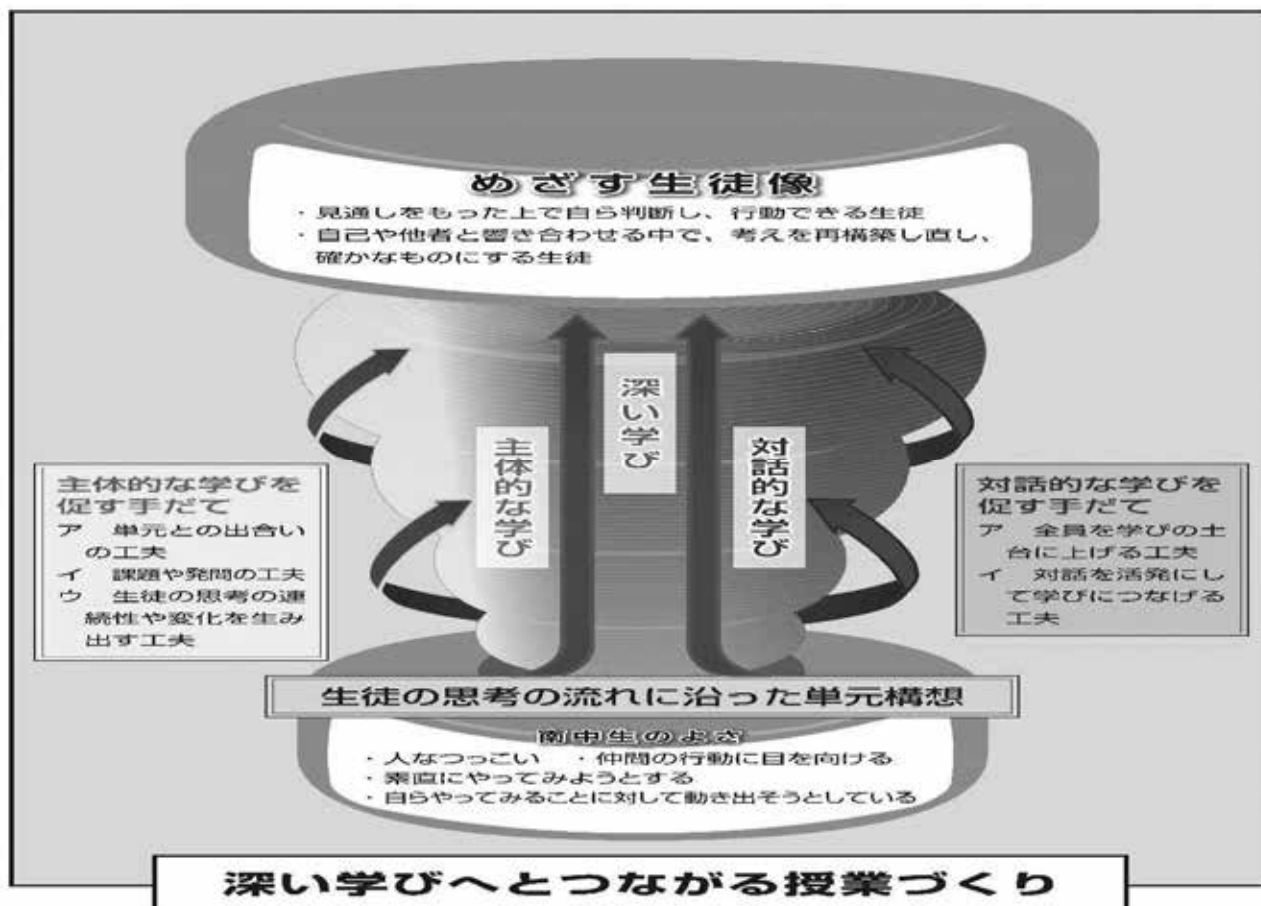
< 地域に開く >

- ・ 地域の「ひとものこと」を活用した交流会活動
- ・ 地域に貢献する活動の推進
- ・ HP、学校新聞、通信等による学校紹介

< 健康や体力をみがく >

- ・ やりぬく強さを育てる部活動
- ・ 睡眠時間の確保等望ましい生活習慣・食習慣の形成
- ・ チームによる、いじめ、不登校、問題行動の未然防止・早期発見・早期対応

2 現職教育の研究課題・研究分野



3 教職員構成

名称	校長	教頭	主幹教諭	教務主任	校務主任	教諭・講師	養護教諭	栄養教諭	事務職員(主事)	任期付任用	県費非常勤	町学校教員等	用務員	介助員	Sカウンセラー	図書館指導員	Sサポートスタッフ	教職員計
人数	1	1	0	1	1	13	1	0	1	1	2	2	1	0	1	(1)	(1)	26

4 学級編成状況

学年	1年	2年	3年	特別支援	計
学級数	2	2	3	2	9
人数	66	65	85	4	220
実家庭数	49	61	85	4	199

5 教育課程・日課編成上の特色

(1) 日課の特色

最終下校時刻が早い11月～1月の期間は、学校行事・課外活動・進路指導などができるように第6限を①②と分割して授業を行う。

4月～10月, 2, 3月の日課

	月・火・水・金	木
朝の会・読書 8:15～ 8:30		
第1限 8:40～ 9:30		
第2限 9:40～10:30		
第3限 10:40～11:30		
第4限 11:40～12:30		
給食 12:30～13:10		
清掃 13:15～13:30		帰りの会 簡単清掃
昼放課 13:30～13:50		
第5限 13:50～14:40		
第6限 14:50～15:40		生徒集会
帰りの会 15:45～15:55		職員会議 現職教育
部活動		休養日

11月～1月の日課

	月・火・水・金	木
朝の会・読書 8:15～ 8:30		
第1限 8:40～ 9:30		
第2限 9:40～10:30		
第3限 10:40～11:30		
第4限 11:40～12:30		
給食 12:30～13:10		
清掃 13:15～13:30		帰りの会 簡単清掃
昼放課 13:30～13:50		
第5限 13:50～14:40		
第6限① 14:50～15:15		生徒集会
帰りの会 15:20～15:30		職員会議 現職教育
第6限② 15:35～16:00		
部活動		休養日

(2) 総合的な学習の時間

- ・自ら計画を立てて、主体的に課題を追究し、納得のいくまで学習をやり遂げる活動
- ・自分の学び方を工夫して仲間に伝え、学びを生かし、自己の生き方を考える活動
- ・各教科で得た知識を基に、発展的な課題を追究し、学びを深める活動

(3) 交流会活動（年4回計画）

- ・地域から講師の先生を招き、全校生徒が共通の目的や関心をもって自主的に参加する活動
- ・地域の方々から文化だけではなく『生き方』についても学ぶ活動

交流会開設講座一覧（12講座実施）					
和太鼓	ゲートボール	障害者スポーツ	ハンドクラフト	将棋	着付け
陶芸	華道	茶道	手話	ちぎり絵	凧作り

6 その他の特色ある活動

(1) 地域交流活動

- ・夏祭り、ラジオ体操など、夏休みに行われている地域活動の運営補助
- ・保育園への訪問活動（弦楽部の訪問演奏など）
- ・地域との交流を大切にした南中祭（文化祭）

(2) 福祉活動

- ・学区防災訓練への参加
- ・福祉施設への訪問活動
- ・アルミ缶回収運動
- ・学区敬老会でのボランティア活動

(3) 言語表現に親しむ活動

- ・発達段階に応じた言語表現の楽しさを学ぶ「心をはぐくむ俳句講座」
- ・読書の習慣化を図る朝の読書タイム
- ・本の魅力を知り、本に親しむ図書委員会活動やボランティアの方を招いての読み聞かせ会
- ・英語に慣れ親しみ、外国の文化に触れる英語活動

7 PTAの組織（役員・委員会の名称及びその人数）

[PTA役員]			
会長	1名	副会長	3名
書記	3名	会計	3名
会計監査	2名	母親代表	2名

[PTA委員会]	
会員研修委員会	9名
生徒育成委員会	8名
安全福祉厚生委員会	8名

北 部 中 学 校

校 長 伊 與 田 孝 彦

所在地 幸田町大字相見字越丸 36 番地

電話 62-9451 Fax 62-9452

E-mail hokubujh@town.kota.aichi.jp

校 訓

校 章

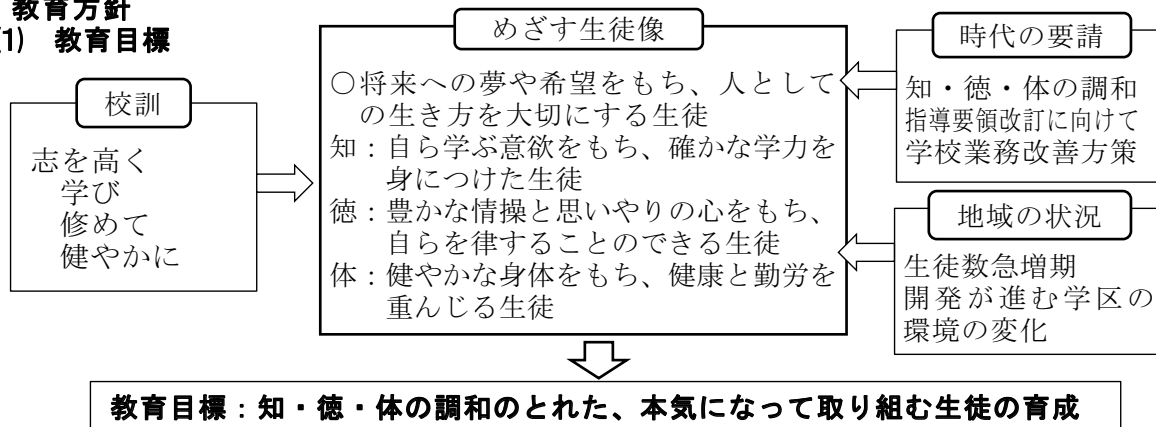
志を高く
学び
修めて
健やかに



校外用地に整備された弓道場・テニスコート

1 教育方針

(1) 教育目標



(2) 経営方針

○信頼を基盤とした学校づくりを推進する

「生徒が通いたくなる学校」

・北中3本柱「あいさつ・歌声・清掃」の進化を掲げ、学校生活に生徒自治の精神を根づかせ、北中文化を創造していく。

「家庭・地域が通わせたい学校」

・学校行事の公開、保護者・PTA・地域との各種会合等を通して、情報発信を行うとともに、家庭や地域の思いを広く受け止め、開かれた学校づくりを推進し、家庭や地域との積極的な交流の機会をつくる。

「教職員が勤めたい学校」

・「和」と「共通理解」を尊び、『北中スタンダード』を常に意識した、使命感と教育愛あふれる教師集団を目指す。

(3) 本年度の重点努力目標

ア 確かな学力を育む教育課程編成・学習指導の充実

・学習指導要領の改訂をふまえ、「主体的・対話的で深い学び」を具現化するための授業改善に取り組む。

・習熟度別学習や個に応じた指導を効果的に取り入れ、基礎・基本の確実な定着を図るとともに、家庭との連携を密にして、中学生にふさわしい学習習慣の確立を図る。

イ 豊かな心を育む活動の充実

・道徳の時間を核として、「いのちを大切に作る心」「思いやりの心」等の心を耕す活動の充実を図り、豊かな情操や感性を養う。

・道徳「別葉」をもとに、3年間を見通した教育活動を計画的に位置づけ、横断的な心の教育を推進する。

- ・不登校抑止といじめ防止のため、心のつながりを大切にした学年・学級づくりを進めるとともに、スクールカウンセラーや関係機関と連携して問題の未然防止に努める。
- ウ たくましく健やかな体を育む活動の充実
 - ・自らの心や体と向き合い、中学生にふさわしい基本的な生活習慣の確立を図るため、家庭と連携した学校保健活動を推進し、健康教育の充実を図る。
- エ 特別な支援を要する生徒への指導の充実
 - ・障がいのある生徒の特性に応じた指導や支援を全校体制で推進し、自立と共生の精神を培う。
 - ・通常学級に在籍する特別な支援を要する生徒の理解と適切な対応への共通理解を深める。
- オ 実情に応じた安全の確保
 - ・家庭、地域との連携のもと、時代の要請に応じた安全・防災・情報モラル教育を推進する。

2 現職教育の研究課題・研究分野



3 教職員構成

名称	校長	教頭	主幹教諭	教務主任	校務主任	教諭・講師	養護教諭	栄養教諭	事務職員	任期付任用	県費非常勤	町学校教員等	用務員	介助員	Sカウンセラー	図書館指導員	Sサポートスタッフ	教職員計
人数	1	1	0	1	1	27	1	0	1	1	1	1 (2)	1	1	1	(1)	(1)	39 (4)

4 学級編成状況

学年	1年	2年	3年	特別支援	計
学級数	6	5	4	3	18
人数	195	191	157	6	549
実家庭数	164	181	155	5	505

5 教育課程・日課編成上の特色

(1) 総合的な学習の時間

「未来をよりよく生きる力を身につけよう」を学校全体のテーマとして、自ら課題を見つけ、主体的に判断し、課題を解決する資質や能力を育てる。また、1年「地域を知る」、2年「地域を考える」、3年「地域に生きる」をテーマに、主体的・創造的に取り組む態度を育てる。

(2) 地域の講師に学ぶ

様々な方面で活躍する地域の方々から話を聞き、自己の生き方を考える時間とする。

6 その他の特色ある活動

ア 福祉活動

- ・福祉施設を訪問し、交流活動や奉仕活動をする。
- ・「こうた夏まつり」などの地域の行事に、ボランティアとして参加する。

イ 読書に親しむ活動

- ・多目的ホールに図書館の分室（読書の森）を設置し、幅広く読書を促す。
- ・朝の会の読書タイムを拡大し、読書の習慣化を図る。

ウ 学年の日

- ・1年に1回、学年ごとに内容を工夫し、終日をのびのびと活動し仲間との絆を深める。
- ・2年生は、立志の会を行う。

エ 学校保健委員会

- ・学年ごとに年間1回、講師を招聘して生徒と保護者を対象にした保健学習会を開催する。

オ 歌声タイム 生徒会縦割り活動

- ・毎週木曜日朝に歌声タイムを軸に、歌声委員会を中心に、歌声を広げていく活動を行う。また北中タイム、陸上大会、文化祭で異学年交流を深める。

7 PTAの組織（役員・委員の名称及びその人数）

[PTA役員]			
会長	1名	副会長	2名
書記	3名	会計	3名
会計監査	2名	母親代表	2名

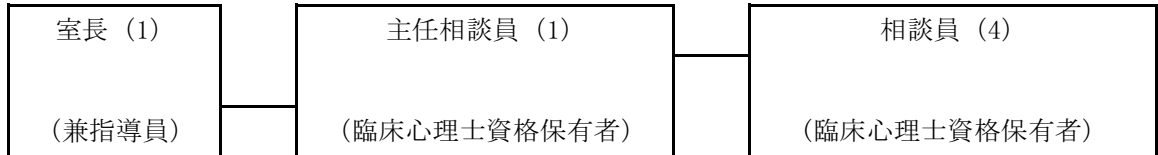
[PTA委員会]	
広報委員会	8名
研修委員会	8名
保健委員会	8名
生活委員会	8名

幸田町教育相談室・適応指導教室

1 設置目的

悩み等の相談、助言及び不登校で悩む児童生徒等に対する個々の状態に応じた指導を行うことにより、非行を防止し、集団生活に適応できるよう、自立や学校生活への復帰及び援助を図る。

2 職員



3 活動時間

火曜日から金曜日の午前10時から午後6時まで

4 活動場所

幸田町大字菱池字黒方78番地 幸田町中央公民館内

5 活動業務

- (1) 相談室での個別による助言及び指導に関すること。
- (2) 適応指導教室による適応指導に関すること。
- (3) 不登校となる原因並びに問題の究明及び解消のための必要な措置に関すること。
- (4) 不登校の予防のための活動に関すること。
- (5) 相談内容に応じた関係学校との連絡調整及び関係機関の紹介等に関すること。
- (6) その他教育相談事業に関すること。

6 令和元年度の月別相談者数

(人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	総合計	実数
小学生	37	41	47	48	39	61	65	61	53	53	52	33	590	29
中学生	13	7	11	15	6	13	16	14	13	13	11	8	140	8
保護者	小	25	35	43	51	31	54	46	44	43	45	38	507	35
	中	15	18	18	18	7	14	21	14	11	16	9	173	9
教員	7	8	11	9	5	13	13	12	15	18	12	5	128	5
その他	15	4	3	7	8	8	8	10	9	10	6	12	100	7
計	112	113	133	148	96	163	169	155	144	155	145	105	1638	93

地域に根ざした学校づくり事業

1 事業目的

本町の学校教育の指導方針及び各学校の経営方針に基づき、各学校の伝統、地域性、環境等の特殊性、独自性等を十分に考慮し、児童及び生徒の学習意欲の高揚及び心身の発達に寄与する事業を展開する。

2 令和元年度事業実績

学校名	事業内容	事業費
坂崎小	<p>テーマ ふるさと坂崎を愛する子どもの育成</p> <p>①学区の里山整備に参加し、専門家のご指導を受けながら、6年生が地域の方々の憩いの場の清掃活動をした。自分たちで、実際に里山を歩き、清掃活動が必要な場所を調べ、活動を計画し、実施することで、里山を守っていこうという気持ちを育むことができた。</p> <p>②6年生が下級生や学区に住む方たちを招いて、「夏祭り」を開催した。ゲームやポン菓子を用意して、小さい子や学区の方々との交流を深めた。</p> <p>③地域講師の方の指導のもと、イチゴの栽培を体験した。総合学習では、イチゴジャムを作って学年で味わい、収穫の喜びを感じることができた。</p> <p>④地域講師の方のご指導を受けながら、お米の栽培活動に取り組んだ。収穫後は、「お米の会」を開催し、保護者の方や地域講師の方と一緒にお米を使った料理を味わった。また、学習したことをまとめ発表したり、地域講師の方に感謝の気持ちを伝えたりした。</p> <p>⑤敬老の日に、学区のお年寄りにお花をプレゼントし、交流を深めた。</p> <p>⑥ウサギや魚の飼育活動を通して、思いやりの心を育んだ。</p>	209,000 円
幸田小	<p>テーマ 感性豊かな子どもの育成～体験活動・交流活動を通して～</p> <p>①地域と一体となって実施する親子奉仕作業充実のための道具を購入した。</p> <p>②2年生の生活科での野菜作り、5年生の総合的な学習での米作り、特別支援学級の野菜作りを通して、地域の方のご指導を受けながら、野菜や稲の世話をすることの大変さや収穫できた時の喜びを味わうとともに、関わっていただいた方々に感謝する気持ちをもつことができた。</p> <p>③地域との交流の場でもあるGTP（中庭自然広場）の整備のための道具を購入した。</p> <p>④1年生のふれあい交流活動のための調理器具を購入し、異学年との交流を深めることができた。</p> <p>⑤地域の方へ学校教育活動の一端を伝える大切な交流の場である学芸会の備品、消耗品の充実を図った。</p> <p>⑥子どもたちが集い交流する機能をもった体育館下の自由広場を有効利用し、地域住民との交流の場としても活用できるように、今年度も照明施設の未整備部分の補充を行った。照度が増し、子ども達の下校時の集合場所、縦割りふれあい活動の場として、また、地域住民との交流活動場所として、大きく役立った。</p> <p>⑦福祉体験活動の一環として、花が咲き誇る学校をめざし「花いっぱい運動」を計画し、パンジーやチューリップの「一人一鉢運動」を実施する。そのための肥料や道具を用意した。</p> <p>⑧総合的な学習で取り組んでいる福祉体験活動の一環として、6年生が奉仕作業として取り組んだ活動の材料を購入した。</p>	402,000 円

中央小	<p>テーマ ①中央小学区の自然や人々とふれあい、積極的に地域に貢献しよう ②伝統文化「三河万歳」「三州凧」「茶道」「和太鼓」を継承しよう</p> <p>① 今年度は、持続可能な学校・家庭・地域の連携を図るために、地域連携協議会と学校支援ボランティア（のべ73名）を活用して、学校の教育活動に多くの地域住民に関わっていただいた。各学年の活動を見直しねらいを明確化するとともに、年間計画に位置づけ、子どもたちの興味や関心に応じて学区の方々に協力をいただきながら、学区の自然や地域の人々と相互交流を図る活動を積極的に展開した。また、授業にも積極的に地域講師の方から学ぶ機会を設定した。さらに、地域講師から学ぶ活動だけでなく、学んだことを生かして児童が地域に出かけ、地域にはたらきかける活動に取り組みせることで、児童の自己効力感や地域の一員としての自覚を高めることができた。</p> <p>② 今年度も学校支援ボランティアを活用して、各クラブが地域講師の指導のもと、これまで以上の交流の成果をあげた。三河万歳クラブは福祉施設への慰問活動や地域の敬老会での公演活動など、地域に根ざした活動に積極的に取り組んでいる。また、凧クラブはこうた凧揚げまつりに、茶道クラブは幸田しだれ桜まつりに参加し、学びの成果を披露することができた。開設6年目の和太鼓クラブは、地域講師からの学びを生かして、幸田しだれ桜まつり、こうた夏まつり、幸田福祉・ボランティアまつりなどで練習の成果を披露することができた。音楽クラブは剣詩舞道に参加し、練習の成果を披露した。</p>	279,000 円
荻谷小	<p>テーマ 緑とともに、もっとかがやく荻谷笑</p> <p>① ソフトボール場まで入り込んだ芝生の整備を行った。</p> <p>② 校内の緑を守り、さらに増やすために、緑化委員を中心として、みどりのチーム（縦割り班）と関わらせながら、花壇やプランターを使って栽培活動を行った。夏に向けてマリーゴールドを種から、春に向けてパンジーやビオラ、デージーを苗から栽培し、一年中季節の花で学校を彩ることができた。また、その花を利用して、下駄箱や手洗い場の花瓶に挿して、校舎内も季節の花で飾ることができた。</p> <p>③ 総合的な学習（2年うさぎの飼育、3年いちご作り、5年米作り）では、地域講師を招いて指導していただいたおかげで、子どもたちは意欲的に学習に取り組むことができた。</p> <p>④ 子どもたちの活躍する姿やPTA活動の様子を掲示板に写真で発信することができた。</p>	199,000 円
深溝小	<p>テーマ 未来を見つめ、しせいよく 生きる子どもの育成 ～学校・家庭・地域との連携を大切にしたい教育活動を通して～</p> <p>し しっかり 朝ごはん ・「早寝・早起き・しっかり朝ご飯」運動を推進した。（ご飯食を推奨）</p> <p>せ せなか ピン ・書写の授業の充実。（正しい姿勢で文字を書く） ・授業のベースとなる学習規律を定着させた。 ・算数科を中心に論理的な思考力と追究力を高め、課題の解決を図った。</p> <p>い いつも スマイル ・温かみ、厳しさ、新しさのある学級経営に努めた。 ・子ども・教師も充実した読書タイムを通して豊かな心の醸成を図った。 ・「なかよし名人」・3つの「あ」 「あいてを大切に「くん・さん」」「ありがとうの感謝の言葉」 「あったか言葉」</p>	218,000 円

	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳を要として、いのちや自然を大切にしたい心と思いやりの心を培った。 ・たて割り活動（異年齢集団活動）を推進した。 <p>よ よく見て あいさつ （あいさつは自分の心を映し出す鏡） 「I さつ（わたしから）」 「eye さつ（目を見て）」 「相 さつ（相手を意識して）」 「会 さつ（何度でも）」 「愛 さつ（愛のある一言）」 「行動（会釈）」＋「笑顔」</p> <p>く くじけず ラン <ul style="list-style-type: none"> ・仲間と共に辛さに負けない強い体と心を育んだ。 （業間「元気アップタイム」を中心に） ・戸外での遊びとかけ足を推奨した。 </p>	
豊坂小	<p>テーマ 大好きなふるさと とよさか</p> <p>①地域を見つめる体験活動 豊坂小学校の取り組みとして定着しているナスや稲の栽培を、地域の方のご指導を受けながら行い、世話の大変さや収穫できた時の喜びを味わった。そして、地域の講師の方々や登下校を見守っていただいた方々を招待して感謝の会を開催し、感謝の気持ちを伝えることができた。また、ナス栽培をした3年生と6年生は、豊坂ナスを多くの人に知ってもらおうと色々な取り組みを行った。地域に対しては、収穫したナスを給食センターに届け、食材として活用していただいた。同窓会の奉仕作業や登下校の見守りをしていただいた方には、感謝の気持ちを伝えるために作品作りを行った。</p> <p>②校内の環境をよりよくする活動 子どもたちの活動がより円滑になるよう、学級園、花壇、校庭、6・1年生の交流会、感謝の会等で使用する物品の購入や補修等を行った。</p> <p>③子どもたち同士でよりよい演技や練習ができるための活動 3年生と5年生を対象に、講師による演技指導をお願いし、自分を表現する力を育み、学芸会に地域の方々を招待して、多くの方々に楽しんでいただくことができた。</p>	220,000 円
幸田中	<p>テーマ 「いつも熱く ずっと熱く」生きる生徒の育成を目指して</p> <p>①情熱と信頼を教育推進の基盤とし、全校合唱・ダンス、学年・学校行事などのさらなる活性化を図った。特に全校ダンスは、平成17年度から14年続けてきた「島唄」を、東日本大震災の復興支援ソングの「ライジングサン」へと変更した。幸田中学校の全校ダンスが、令和とともに進化し、それを作り上げようとする生徒や教職員の成長を促した。また、地域の方々に、東日本大震災の復興支援を力強く訴えることができた。</p> <p>②今年度は、全学年で花いっぱい運動の一環としてチューリップの栽培に地域ぐるみの教育を考え、地域とのつながりを深める「花いっぱい運動」と委員会活動の充実を図った。生徒会が主体となり、全校で花を育てて、日頃お世話になっている地域の施設・店舗等に育てた花と真心を届ける活動に取り組んだ。お世話になった職場体験先や町内の公共施設等約200箇所に届けた。生徒たちは花の世話をしながら、命をはぐくみ、慈しむ尊さや責任の重さを味わい、地域の方に感謝の気持ちを表すことで、つながりを深めた。</p> <p>③豊かな情操を育む教育環境の改善のため、廊下掲示を改善した。プロのカメラマンによる生徒たちの笑顔あふれる本物の写真を廊下掲示に</p>	290,000 円

	<p>並べることで、お互いのよさを感じ取ることができた。そこから、改めて自分の居場所が学級・学年にあることを感じさせることができた。また、保護者や外部の方々に芸術作品に近い写真群を鑑賞していただくことで、中学生の真の姿を認識していただくことができ、地域に幸中文化を発信することができた。</p>													
南部中	<p>テーマ 虹動～南中の伝統に新たな輝きを～</p> <p>①交流会活動（12講座を開催） 地域の方々から多様な趣味と幅広い知識を学んだ。さらに地域の方々とのふれ合いを通し、地域への思いを育む機会となった。</p> <table border="1"> <tr> <td>陶芸</td> <td>華道</td> <td>和太鼓</td> <td>着付け</td> <td>ちぎり絵</td> <td>ハンドクラフト</td> </tr> <tr> <td>将棋</td> <td>茶道</td> <td>ゲートボール</td> <td>福祉(スポーツ)</td> <td>福祉(手話)</td> <td>凧</td> </tr> </table> <p>②南中祭（会場 1日目：南部中学校、2日目：幸田町民会館） 生徒会活動の柱として、生徒の手による模擬店、合唱コンクールや交流会活動の発表などを実施した。また、生徒会企画として来校された地域の方々に記念バッチを配付した。</p> <p>③地域活動の企画・参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・深溝夏祭りでは、的当てゲームができる模擬店を出した。また、南中ソーランを披露し、祭りを盛り上げた。 ・地域の保育園や老人ホームを訪問し、弦楽部が演奏会をした。 ・学区の敬老会で、南中ソーランを披露したり、弦楽部が演奏したりした。 ・2年生が学区の老人ホームを訪問し、お年寄りとゲームをしたり、お話をしたりして交流をした。 ・1年生が防災教育の一環として、地域の防災訓練に参加した。 ・全校の生徒を対象にした「心をはぐくむ俳句」講座を実施した。 	陶芸	華道	和太鼓	着付け	ちぎり絵	ハンドクラフト	将棋	茶道	ゲートボール	福祉(スポーツ)	福祉(手話)	凧	170,000円
陶芸	華道	和太鼓	着付け	ちぎり絵	ハンドクラフト									
将棋	茶道	ゲートボール	福祉(スポーツ)	福祉(手話)	凧									
北部中	<p>テーマ 信頼される学校を目指して～本気になって取り組む生徒の育成～</p> <p>①歌声の響く学校を目指し、全校で合唱に取り組んできた。特に今年度は、文化祭と同時に30周年記念式典も行ったため、学級の合唱だけでなく、学年や全校の合唱にも力を入れた。2学期には地域から合唱指導の講師を招聘し、各クラス2回の合唱指導を実施することができた。文化祭では、美しい歌声の響く合唱を発表し、保護者、地域の方にも北部中学校の合唱を聴いていただき、歌声の響く学校づくりについて知っていただいた。</p> <p>②生徒たちが仲間とか関わり合いながら、本気になって取り組む授業づくりに取り組んだ。新学習指導要領の実施を間近に控え、自ら学びに向かっていく主体的な態度を高めていくための教材教具や授業展開を工夫した。</p> <p>③環境美化に努め、生徒が生き生きと活動できる環境を整えた。校内が花であふれるようにするために、プランターや北中花壇などにパンジー、サルビア、マリーゴールド等を育てた。気持ちのよい環境を維持することができ、生徒の環境美化の意識も高まった。</p>	263,000円												

幸田町奨学金制度

1. 目的

高等学校や専修学校等に在学し、心身が健全で且つ修学の意欲があるにもかかわらず、経済的理由により修学が困難なかたに対し、奨学金を支給することによって、教育の機会均等及び有能な人材を育成支援することを目的とする。

2. 奨学金の額

月額5,000円（奨学金支給審査委員会による審査により支給を決定し、8月と10月に支給）

3. 実績

	件 数	支 給 額
H30	40	2,400,000円
R1	58	3,480,000円

令和元年度 就学援助受給者内訳表

1 学年別内訳

学校	学年						計
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	
坂崎小	1	1	4	1	1	2	10
幸田小	7	6	8	6	8	6	41
中央小	2	5	4	4	7	5	27
荻谷小	1	2	3	1	2	4	13
深溝小	6	2	6	6	4		24
豊坂小	6	1	3	8	6		24
その他小							
小学校計	23	17	28	26	28	17	139
幸田中	15	13	12				40
南部中	7	10	6				23
北部中	10	8	11				29
その他中		1	1				2
中学校計	32	32	30				94
合計							233

2 申請理由別

学校	申請番号							計
	1	2	3	4	5	6	9	
坂崎小						8	2	10
幸田小	2		2			27	10	41
中央小			7			14	6	27
荻谷小			2			6	5	13
深溝小			4			14	6	24
豊坂小			4		1	8	11	24
その他小								
小学校計	2		19		1	77	40	139
幸田中			5		3	16	16	40
南部中			1		1	14	7	23
北部中	1					25	3	29
その他中						2		2
中学校計	1		6		4	57	26	94
合計								233

母子家庭:168 その他:65

申請理由番号	1 生活保護	4 固定資産税減免	7 生活福祉資金貸付
	2 生活保護停止・解除	5 国民年金掛金等減免	8 職業安定所登録日雇労働者
	3 市町村民税非課税	6 児童扶養手当支給	9 その他（生活困窮）

3 新規・継続認定者／認定者世帯数

	坂崎小	幸田小	中央小	荻谷小	深溝小	豊坂小	その他小	幸田中	南部中	北部中	その他中	計
合計	10	41	27	13	24	24		40	23	29	2	233
新規	3	12	10	4	6	9		2	2	4		52
継続	7	29	17	9	18	15		38	21	25	2	181
世帯数	8	28	23	11	16	16		36	21	26	1	

小学校世帯 102 中学校世帯 84

全世界帯数(小中全体) 154

4 認定者累計／解除者数

	坂崎小	幸田小	中央小	荻谷小	深溝小	豊坂小	その他小	幸田中	南部中	北部中	その他中	計
認定者累計	10	43	30	15	24	25		41	23	29	2	242
解除者数		2	3	2		1		1				9

学 校 給 食

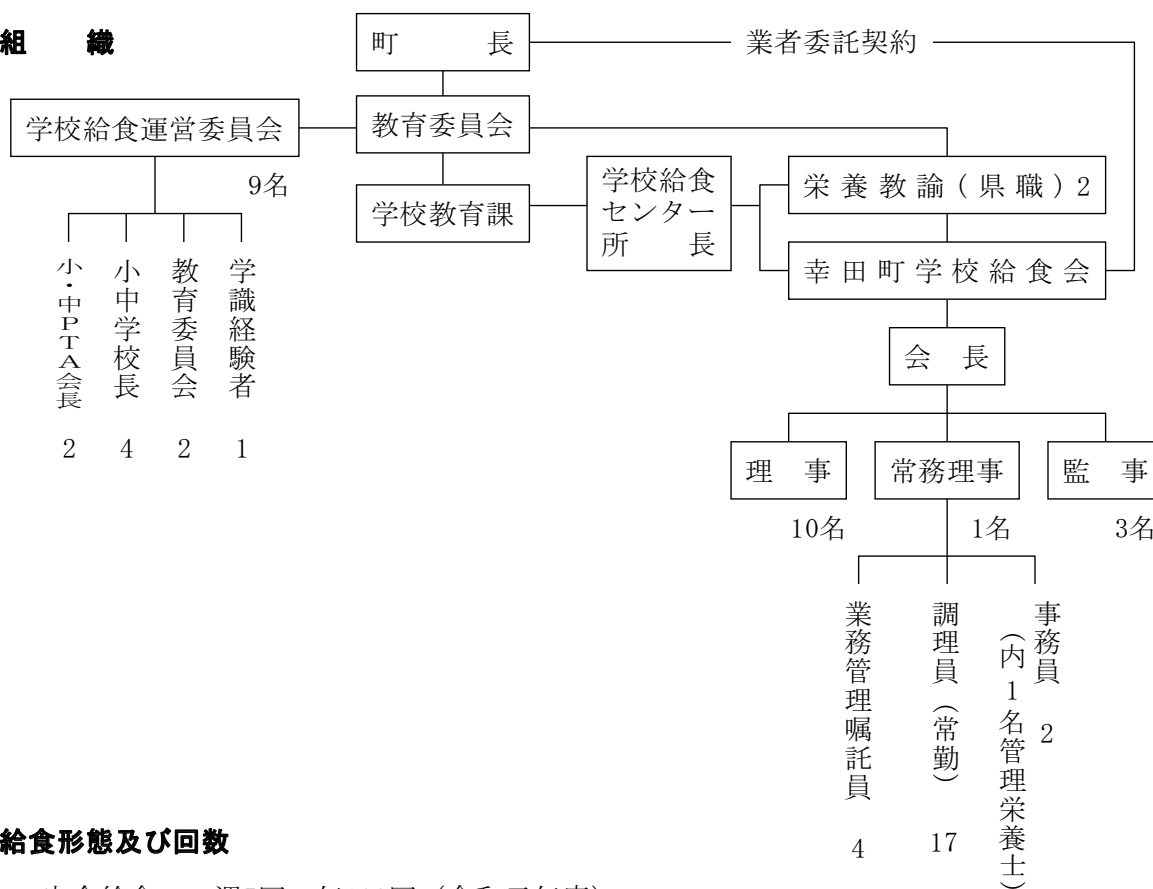
1 施設概要

名 称 幸田町学校給食センター
 所 在 地 〒444-0113 幸田町大字菱池字桜塚180番地
 電 話 62-6681
 開 設 平成21年7月22日
 面 積 敷地 4,691.00m²
 建物

種 別	構 造	面 積
本 館 棟	鉄骨造2階建	2,404.37m ²
機 械 棟	鉄骨造平屋建	84.00m ²
駐 輪 棟	鉄骨造平屋建	14.14m ²
資 材 保 管 庫	鉄骨造平屋建	23.88m ²
厨 房 除 外 排 水		75.00m ² /日
生 ゴ ミ 処 理 排 水		9.00m ² /日

給食能力 5,000食/日
 配 送 2t車4台
 発電装置 太陽光発電設備 10.08kw/h

2 組 織



3 給食形態及び回数

完全給食 週5回 年193回 (令和元年度)
 (内 米飯給食 週3.8回程度)

- 4 運営目標** (1) 衛生管理の徹底
 (2) 給食多様化
 (3) 職員の資質向上

- 5 給食費** 小学校 240円 (1食当たり)
 中学校 270円 (1食当たり)

- 6 給食数** (令和2年5月1日現在)

	学 校 数	児童生徒数
小 学 校	6 校	2,927人
中 学 校	3 校	1,337人

○ 学校給食の推移

昭和52年 4月	給食センター業務開始 小学校 (5校) の共同調理
52年 9月	中学校 (1校) の共同調理
53年 5月	小学校のみ弁当持参給食開始 実施日：(第2・第4水曜日)
53年 9月	中学校弁当持参給食開始 小中学校とも 実施日：(毎週水曜日)
53年12月	弁当箱保温庫導入 (小中学校各教室へ設置)
54年 5月	愛情弁当 週2回実施 実施日：(毎週水曜日・金曜日)
55年 4月	委託米飯実施 小学校のみ (6校) 実施日：(第2・第4火曜日)
55年 6月	中学校委託米飯開始 実施日：(第2・第4火曜日)
59年 4月	委託米飯 週1回実施 (毎週火曜日)
平成 9年 3月	持参弁当廃止
9年 4月	委託米飯週3回実施 (毎週火・木・金曜日)
21年 4月	新給食センター竣工式 (業務開始)

○ 学校給食費の推移

年 月	給 食 単 価 (円)	
	小 学 校	中 学 校
昭和52年 4月	115	単 独 調 理
52年 6月	120	135
52年 9月	120	145
53年 5月	135	160
55年10月	150	175
57年 4月	160	185
61年 4月	170	195
平成 5年 4月	200	230
11年 4月	220	250
21年 4月	240	270

令和2年度 幸田町学校給食 主食別実施計画表

令和2年4月1日現在

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	合計	
4月								小クロスロー	白飯	白飯			白飯	白飯	ミルクロール	麦飯	白玉うどん			白飯	白飯	サンドロール	白飯	麦飯			白飯	白飯		白飯		15	
5月	麦飯						白飯	麦飯			白飯	白飯	サンドパンズ	麦飯	ソフトめん			白飯	白飯	バターロール	白飯	麦飯			白飯	白飯	白玉うどん	麦飯	小型ロール			19	
6月	白飯	白飯	黒ロール	麦飯	ソフトめん			白飯	白飯	ミルクロール	白飯	麦飯			白飯	白飯	中華めん	白飯	麦飯			白飯	白飯	サンドロール	白飯	麦飯			白飯	白飯		20	
7月	クロスロール	白飯	白飯			白飯	白飯	ナン	白飯	白飯			白飯	わかめ飯	ソフトめん	白飯	白飯															13	
9月			白飯	サンドパンズ			白飯	白飯	中華めん	白飯	麦飯			白飯	白飯	ソフトめん	白飯	麦飯					白飯	白飯	麦飯			わかめ飯	白飯	黒ロール		17	
10月	白飯	麦飯			白飯	白飯	バターロール	麦飯	白玉うどん			白飯	白飯	クロスロール	白飯	麦飯			白飯	白飯	レーズンロー	麦飯	ソフトめん			白飯	白飯	小型ロール	白飯	麦飯		21	
11月		白飯		白飯	白飯	麦飯		白飯	白飯	サンドロール	麦飯		中華めん			白飯	白飯	りんごパン	白飯	麦飯				白飯	白飯	麦飯			ソフトめん		白飯		20
12月	白飯	黒ロール	麦飯	白玉うどん			白飯	白飯	スライスパン	白飯	麦飯			白飯	白飯	ミルクロール	白飯	麦飯			白飯	白飯										15	
1月												白飯	白飯	白飯	麦飯			白飯	白飯	バターロール	白飯	麦飯			白飯	白飯	愛知の米粉バ	大根葉ごはん	きしめん			16	
2月	白飯	白飯	黒ロール	白飯	麦飯			白飯	白飯	クロスロール		麦飯			白飯	白飯	小型ロール	麦飯	中華めん			白飯		白飯	わかめ飯	ソフトめん						18	
3月	白飯	赤飯	白飯	麦飯	ミルクロール			白飯	白飯	サンドロール	麦飯	ソフトめん			白飯	白飯	黒ロール	五穀飯	麦飯			白飯	白飯									15	
備考	主食別回数 米飯・・・・・・・・・・146回 (75.6%) パン・・・・・・・・・・30回 ソフトめん・・・・・・・・8回 中華めん・・・・・・・・4回 白玉うどん・・・・・・4回 きしめん・・・・・・1回 給食予定実施回数 193回																																

令和元年度 栄養摂取状況 (喫食前)

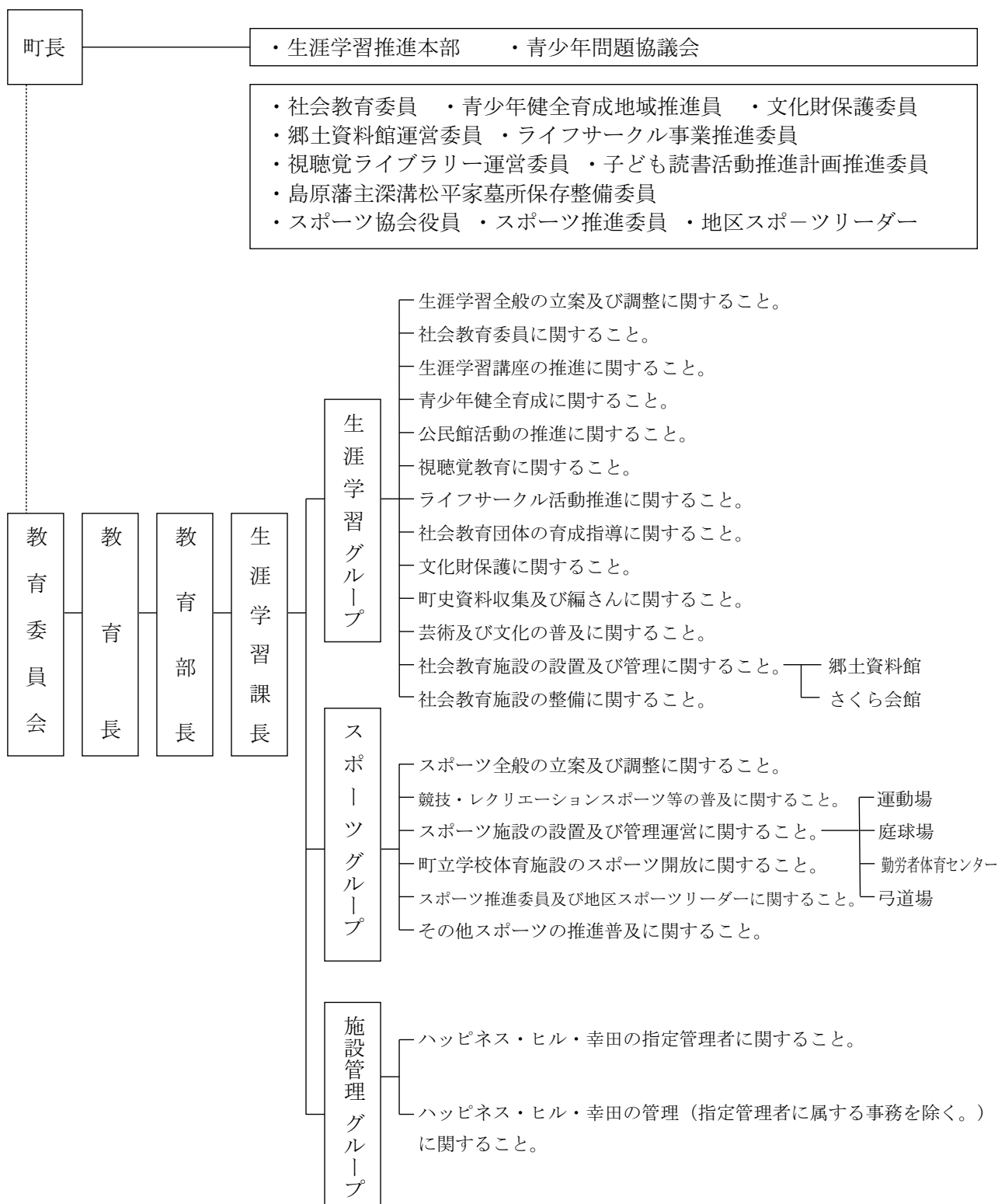
小学校	エネルギー kcal	たんぱく質 g	脂質 g	カルシウム mg	鉄分 mg	ビタミン			食物繊維 g	食塩 g	中学校	エネルギー kcal	たんぱく質 g	脂質 g	カルシウム mg	鉄分 mg	ビタミン			食物繊維 g	食塩 g	
						A μg	B ₁ mg	B ₂ mg									C mg	A μg	B ₁ mg			B ₂ mg
4月	650	26.3	20.5	367	3.0	399	0.43	0.51	24	4.8	2.4	842	32.3	24.4	424	4.3	479	0.57	0.59	32	5.9	2.9
5月	655	26.2	20.2	366	2.9	392	0.40	0.53	29	5.1	2.6	844	32.2	23.9	419	4.0	473	0.54	0.61	35	6.6	3.1
6月	653	25.8	20.1	363	3.0	249	0.44	0.49	26	4.9	2.4	844	31.8	23.5	410	4.3	290	0.58	0.56	30	6.0	2.9
7月	672	24.7	22.0	371	2.7	223	0.47	0.49	27	4.8	2.5	860	30.1	25.4	420	3.6	264	0.61	0.56	33	6.0	3.0
9月	652	25.5	19.3	371	3.2	368	0.42	0.50	27	5.1	2.5	849	31.3	22.8	427	4.5	435	0.56	0.57	32	6.2	3.1
10月	663	25.8	20.3	372	3.0	394	0.45	0.51	25	5.0	2.3	850	31.2	23.6	417	4.1	462	0.59	0.57	30	6.2	2.7
11月	654	25.2	20.3	365	3.5	372	0.42	0.50	26	4.9	2.5	847	30.8	24.0	415	4.8	432	0.55	0.56	31	6.1	3.1
12月	657	26.0	21.3	387	2.7	244	0.47	0.55	32	4.8	2.4	839	31.4	24.7	428	3.6	273	0.61	0.62	37	5.9	2.8
1月	656	26.2	19.8	373	3.1	238	0.42	0.48	24	5.0	2.3	846	32.1	22.9	419	4.2	275	0.55	0.55	30	6.3	2.8
2月	667	27.0	20.4	370	2.8	244	0.54	0.56	33	5.7	2.5	857	32.8	23.8	417	3.8	279	0.69	0.63	40	7.1	3.0
3月	新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う臨時休校のため給食中止給食中止																					
合計	6,579	258.7	204.2	3,705	29.9	3,123	4.46	5.12	273	50.1	24.4	8,478	316.0	239.0	4,196	41.2	3,662	5.85	5.82	330	62.3	29.4
平均	658	25.9	20.4	371	3.0	312	0.45	0.51	27	5.0	2.4	848	31.6	23.9	420	4.1	366	0.59	0.58	33	6.2	2.9
			27.9%											25.4%								
基準値	650	26.8	エネルギー の25-30%	350	3.0	200	0.40	0.40	20	5.0	2.0	830	34.2	エネルギー の25-30%	450	4.0	300	0.50	0.60	30	6.5	2.5

生涯学習



新春駅伝・ファミリージョギング大会

生涯学習推進機構



生涯学習推進事業計画

1 重点目標

めまぐるしく変化する社会に対応するために、学習の場所、機会を提供し、人生を自らが築く社会教育の推進を図ります。また、地域、家庭、関係機関と連携し、和やかなまちづくりの一助となるよう努めます。

(1) 生涯学習の推進

生涯学習推進体制の充実

(2) 生涯学習の観点に立った学習計画の推進

ア 生涯学習講座の充実

イ 地域での学習活動の推進

(3) 青少年健全育成の推進

ア 家庭教育の充実

イ 青少年団体の育成

ウ 青少年健全育成事業の充実

(4) 女性教育の推進

ア 女性団体の育成

イ 女性活動の推進

(5) 文化の振興及び文化財保護促進

ア 歴史教育の推進

イ 町内文化財保護推進

ウ 埋蔵文化財の調査

エ 郷土資料館の施設充実

オ 島原市との歴史と文化の友好推進

カ 文化財紹介刊行物販売促進

(6) 視聴覚教育の促進

視聴覚教材の充実及び利用促進

(7) 心豊かで、ふれあいのある町づくりの推進

ライフサークル事業の充実

(8) 社会教育施設の整備充実

公民館・さくら会館・郷土資料館の整備充実と利用促進

生涯学習事業計画

月	生涯学習・総務一般	家庭教育	青少年育成	生涯学習講座	視察・交流	ライフサークル事業	文化振興
4		家庭教育学級(6小学校)(年間)	「家庭の日」啓発(毎月) 防犯パトロール(随時) 青少年健全育成地域推進委員 会(第1回)	簡単ヨガ講座 4月～6月(全10回)	運営委員会(随時)	ライフサークル事業推進委員会	文化財保護委員会 (年2回以上随時) 郷土資料館企画展(端午の節句) 4月～5月
5	第1回社会教育委員会 子ども読書活動推進計画推進 委員会(第1回)	親子ふれあいひろば(春の部) (未就園児とその保護者) 5月～6月 2教室 40組	青少年非行防止啓発活動 (小学校運動会にて実施)	シルバースクール 5月～10月 (全5回) フラダンス教室 5月～8月 (全10回)			鑑の試着会 5/5(日・祝) 幸田の歴史と文化財めぐり(新 田・永野地区) 5/16(土)
6						ホテルを観る会(深溝学区) 6/5(金)	古文書講座 6月～12月 入門コース、ステップアップ コース(各12回)
7			啓発活動(彦左まつり歩行者 天国) 7/25(土)	夏休み子ども教室 7月～8月 全6教室			郷土資料館企画展(ガラスの魅 力) 7/18(土)～9/5(日)
8						第23回こうた夏まつり 8/10(月・祝) ※雨天中止	歴史講座 8/29(土)・10/31(土) (全2回)
9	文化講演会 9/12(土) 講師 オスマン・サンコン	親子ふれあいひろば(秋の部) (未就園児とその保護者) 9月～10月 2教室 40組	成人式運営委員会(随時)	実用細筆講座 9月～11月 (全10回)			
10	子ども読書活動推進計画推進 委員会(第2回)		青少年健全育成地域推進委員 会(第2回) 啓発活動(町民大運動会) 10/25(日)				
11			啓発活動(産業まつり) 11/8(日)	シニア向けスマホ・タブレット 教室 11月下旬			文化振興展『西方寺の歴史と文化 財』 11/21(土)～29日(日)
12		親子ふれあいクリスマス会 12/4(金)					
1			成人式 1/11(月・祝)			第24回こうた風揚げまつり 1/10(日) 交流会1/9(土)	郷土資料館企画展(おひなさま) 1月～3月
2	第2回社会教育委員会 子ども読書活動推進計画推進 委員会(第3回)	親子ふれあい春まつり 2/25(木)		愛知大学オープンカレッジ (全4回)			
3							

※新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため、中止または変更となった事業が一部あります。また、今後の状況によっては計画が変更となる場合もあります。

2 生涯学習事業の概要

(1) 生涯学習の推進

健康で心豊かに生きがいのある人生を送り、夢と活気にあふれる地域社会を築く原動力となるよう、乳幼児から高齢者までがいつでも、どこでも学べる生涯学習体制の推進を図る。

生涯学習推進本部

- ① 生涯学習のあり方を調査及び研究する。
- ② 学校教育と社会教育との連携を図る。

(2) 生涯学習の観点に立った学習の推進

ア 幼児教育

- ① 親子ふれあいひろば
5月～ 6月（春の部） 2グループ
9月～ 10月（秋の部） 2グループ
1グループ各20組 全6回
- ② 親子ふれあいクリスマス会 12月 4日（金） 定員100組 1回
- ③ 親子ふれあい春まつり 2月 25日（木） 定員100組 1回

イ 青少年教育

- ① 家庭教育学級事業 年間 6学級（町内全小学校）
- ② 夏休み子ども教室 7月～8月 全6教室
- ③ 成人式 1月11日（月・祝）
- ④ 青少年育成事業
 - ・青少年健全育成非行防止パトロール活動
 - ・「家庭の日」の推進 毎月第3日曜日
- ⑤ ボーイスカウト・ガールスカウト等青少年団体の育成

ウ 女性教育

こうた女性の会活動の支援

エ 成人教育

- ① フラダンス教室 5月～8月 20人
- ② 実用細筆講座 9月～11月 全10回 20人
- ③ 古文書講座 6月～12月 全12回 各15人 2コース
- ④ 愛知大学オープンカレッジ 2月～3月 全4回 100人

オ 高齢者教育

シルバースクール 5月～10月 全5回 100人

(3) ライフサークル事業の推進

心豊かで笑いと楽しさいっぱいの町づくり運動事業を推進する。

令和2年度ライフサークル事業計画

事業名	期日	会場	対象
ホテルを観る会	6月5日(金)	拾石川周辺	深溝学区
こうた夏まつり	8月10日(月・祝)	ハッピーネス・ヒル・幸田	町民一般
こうた凧揚げまつり	1月10日(日)	菱池地内	町民一般

(4) 公民館活動

町民ふれあいの場及び生涯学習の拠点となる公民館活動の充実を図る。

ア 地区公民館講座

- ① 簡単ヨガ講座 4月～6月 全10回 50人

イ 公民館サークル活動の育成

ウ 楽しく気軽に集まれる公民館の整備及び充実

(5) 視聴覚教育活動

ア 視聴覚教材の充実及び視聴覚教材の促進を図る。

中央公民館（幸田町大字菱池字黒方 78 電話 62-1111）

・液晶プロジェクター	・データプロジェクター	・ビジネスプロジェクター
・オーバーヘッドプロジェクター (OHP)		・スライドプロジェクター
・CD ラジオカセット	・三脚	・スクリーン
・スピーカー	・レーザーディスクプレイヤー	
・ビデオカセットレコーダー	・デジタルビデオカメラ	・8ミリ映写機
・16ミリ映写機	・ビデオテープ教材	・レーザーディスク教材
・8ミリフィルム教材	・16ミリフィルム教材	・CD教材
・自作DVD教材6巻セット		

イ 事業の概要

視聴覚教材、フィルムの貸出し

(6) 文化振興、文化財保護活動

豊かな個性と創造性の育成及び町独自の生活、文化の土壌を培う文化財の保存並びに活用を図り、文化財保護意識の高揚に努める。

ア 歴史教育の推進

- ① 歴史講座 全2回 50人

「幸田の鎌倉時代と室町時代」

第1回 8月29日(土)「中世三河の歴史」

松島周一氏（愛知教育大学教育学部教授）

第2回 10月31日(土)「中世長満寺の歴史と文化財 -法華経絵曼荼羅を中心に-」

中尾 堯氏（立正大学名誉教授）

- ② 幸田の歴史と文化財めぐり 秋 30人

- ③ 文化振興展の開催

会期：11月21日(土)～11月29日(日)

内容：西方寺の歴史と文化財

文化振興展入館実績

回数	年度	内容	期間	来館者数	会場
第1回目	平成10年	幸田の文化財展	5日間	1,270	図書館ギャラリー
第2回目	平成11年	99美へのいざない	6日間	1,050	図書館ギャラリー
第3回目	平成12年	甦る原始・古代・中世の幸田	8日間	1,504	図書館ギャラリー
第4回目	平成13年	菱池とその周りに生きた人々	7日間	682	図書館ギャラリー
第5回目	平成14年	暮らしの流れをみつめて	7日間	1,094	図書館ギャラリー
第6回目	平成15年	世界の昆虫展	5日間	3,550	図書館ギャラリー
第7回目	平成16年	魅力いっぱい凧の世界	9日間	1,117	図書館ギャラリー
第8回目	平成17年	深溝断層-三河地震の遺した爪痕-	8日間	1,104	図書館ギャラリー
第9回目	平成18年	こうた焼き物一万年	42日間	398	郷土資料館
第10回目	平成19年	幸田の文化財展	6日間	842	図書館ギャラリー
第11回目	平成20年	「書」美へのいざない	6日間	685	図書館ギャラリー
第12回目	平成21年	深溝本光寺は墳墓の地なり	3日間	3,791	図書館ギャラリー
第13回目	平成22年	南城坊-瑠璃山浄土寺-	8日間	1,112	図書館ギャラリー
第14回目	平成23年	菩提寺と廟守-深溝松平家の葬儀事情-	11日間	1,055	図書館ギャラリー
第15回目	平成24年	岩堀万歳から三河万歳へ - 伝承される祝福芸 -	9日間	962	図書館ギャラリー
第16回目	平成25年	むかしそのむかし - 幸田の民話と伝承-	9日間	1,441	図書館ギャラリー
第17回目	平成26年	大名家の家訓 -島原藩主深溝松平家墓所の成り立ち-	9日間	1,666	図書館ギャラリー
第18回目	平成27年	青い目の人形とその時代 -戦争と平和をみつめて-	9日間	1,520	図書館ギャラリー
第19回目	平成28年	ムラの鍛冶屋-暮らしを支えた技-	8日間	1,050	図書館ギャラリー
第20回目	平成29年	深溝城と里の朱印社寺	8日間	955	図書館ギャラリー
第21回目	平成30年	繚乱!!三河の土人形 -武藤俊一コレクション-	8日間	1,032	図書館ギャラリー
第22回目	令和元年	菱池物語	8日間	1,164	図書館ギャラリー

イ 文化財保護（幸田町の文化財）

- ① 国指定重要無形民俗文化財「三河万歳」
幸田町三河万歳保存会
指定年月日 第324号 平成7年12月26日
- ② 国指定史跡「島原藩主深溝松平家墓所」
指定年月日 財第362号 平成26年3月18日
- ③ 県指定天然記念物「三河地震による地震断層」
深溝断層 1,806 m²
指定年月日 天第60号 昭和50年12月26日

- ④ 町指定文化財 …… 幸田町指定文化財一覧表参照

ウ 深溝松平文化財の調査

国史跡島原藩主深溝松平家墓所保存管理計画に基づく保存管理、活用
国史跡島原藩主深溝松平家墓所保存の活用のための研究・調査

エ 町史資料編の販売促進

- ① 第1巻「中・近世」(文治元年～明治4年)発刊 …… 平成6年8月
4,000円/冊
- ② 第2巻「近代」(明治5年～昭和19年)発刊 …… 平成7年10月
5,000円/冊
- ③ 第3巻「現代」(昭和20年～昭和64年)発刊 …… 平成8年11月
5,000円/冊

オ 文化財紹介刊行物販売促進

- ① 「幸田文化財めぐり」 …… 昭和59年12月
200円/冊
- ② 「こうたの民話」(32話) …… 平成8年8月
2,000円/冊
- ③ 「松平忠雄墓所発掘調査報告」 …… 平成25年3月
3,100円/冊
- ④ 「瑞雲山本光寺文化財調査総合報告」 …… 平成25年3月
3,600円/冊
- ⑤ 「史跡 島原藩主深溝松平家墓所」 …… 平成26年3月
100円/冊
- ⑥ 「こうた文化財ウォーキングマップ」 …… 平成26年3月
450円/全10コース 50円/1コース
- ⑦ 「愛知県指定天然記念物 三河地震による地震断層」 …… 平成27年3月
無料

No.	コース名	主な見どころ	難易度
1	前方後円墳と城館跡コース	さかざきじんやあと あおつかこふん 坂崎陣屋跡、青塚古墳	初級☆
2	山寺めぐりコース	しょうらくじ おおくさじんじや 正楽寺、大草神社	中級☆☆
3	菱池東部と深溝街道コース	わしたしんめいぐう くまのじんじや 鷺田神明宮、熊野神社	上級☆☆☆
4	幸田駅前から地元発見コース	げんこうじ はたもとないとうやしき 玄好寺、旗本内藤屋敷など	中級☆☆
5	六栗の浜道コース	みょうぜんじ むつくりはちまんぐう 明善寺、六栗八幡宮	中級☆☆
6	野場の浜道コース	まるやまこふん のぼにしじょうどるい 丸山古墳、野場西城土塁	上級☆☆☆
7	資料館から歴史入門コース	ふこうずじょう 深溝城、長溝寺	初級☆
8	墳墓の地と深溝街道コース	ほんこうじ ふこうずまつだいらけぼしよ 本光寺、深溝松平家墓所	中級☆☆
9	断層と三ヶ根山麓コース	ふこうずだんそう みおやじんじや 深溝断層、御祖神社	上級☆☆☆
10	伝説の墳墓発見コース	そみてんじんじや きょうかくじ 蘇美天神社、敬覚寺	初級☆

- ⑧ 「深溝西道祖神 竹内鍛冶屋調査報告」 平成 28 年 3 月
1,000 円/冊
- ⑨ 「松平忠雄墓所出土 祝婚青色ガラス杯調査報告」 平成 29 年 3 月
400 円/冊
- ⑩ 「深溝城跡」 平成 29 年 3 月
1,400 円/冊
- ⑪ 「青い目の人形調査報告書」 平成 30 年 3 月
1,500 円/冊

(7) 幸田町郷土資料館

- ア 所在地** 幸田町大字深溝字清水 36 番地 1 電話 62-6682
- イ 開館時間** 午前 10 時～午後 5 時
- ウ 休館日** 毎週月・木曜日(ただし、祝日の場合は翌日以後の最初の休日でない日)
年未年始(12月28日～1月4日)

エ 入場料 無料

オ 館内常設展示物

- ① 原始～室町時代 東光寺遺跡、青塚古墳出土品、浄土寺の歴史等
- ② 江戸時代 菱池絵図 深溝松平家墓所 深溝城
- ③ 明治～昭和時代 菱池の干拓：田船 足踏み脱穀機 ずりまんが 万石とおし等
- ④ 昭和時代 昔の生活：足踏みミシン カマド 有線電話 井戸等

カ 館外常設展示

- ① 蒸気機関車主動輪
- ② 菱池排水ポンプ
- ③ 広報用航空機H-13(ヘリコプター「ひばり」)
- ④ 機材展示機(F86Fジェット機)
- ⑤ 潜水艦「おやしお」イカリ、スクリュー
- ⑥ 105mm無反動砲 外

キ 郷土資料館企画展示

- ① 「端午の節句」 4月1日(水)～5月17日(日)
- ② 「ガラスの魅力」 7月18日(土)～9月6日(日)
- ③ 「おひなさま」 1月23日(土)～3月14日(日)

入館実績

(単位：人)

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
端午の節句	1,108	1,101	344	401	622	671	662	552	552	393
おひなさま	720	524	1,358	2,103	1,685	1,713	2,178	1,245	1,156	1,300
夏季企画展示	—	—	—	—	—	—	605	248	346	241

ク 建築年度及び面積 昭和52年1月 438 m²

(8) 幸田文化広場・さくら会館

- ① 所在地 幸田町大字芦谷字蒲野 25 番地 1 電話 62-7080
- ② 開館時間 午前9時～午後10時
- ③ 休館日 毎週月曜日(ただし、祝日の場合は翌日以後の休日でない日)
年末年始(12月28日～1月4日)
- ④ 主な施設 さくら会館 希望の塔 テニスコート(照明付)2面 はなの木広場
- ⑤ 建築年度及び面積 昭和58年2月 468.47 m²

(9) 公民館

ア 中央公民館

- ① 所在地 幸田町大字菱池字黒方 78 番地 電話 63-1618
- ② 開館時間 午前9時～午後10時
- ③ 休館日 毎週月曜日(ただし、祝日の場合は翌日以後の休日でない日)
年末年始(12月28日～1月4日)
- ④ 建築年度及び面積 平成19年2月 1,416.0 m²

イ 地区公民館

建築年度	公民館名	所在地(幸田町大字)	構造	面積(m ²)
昭和 47	須美公民館	須美字向屋敷 88 番地 2	R C	386.08
48	鷺田公民館	菱池字野々宮 102 番地 1	R C	560.16
49	坂崎公民館	坂崎字御屋敷 22 番地 1	R C	525.52
50	芦谷公民館	芦谷字神ノ前 27 番地 3	R C	545.09
51	六栗公民館	六栗字本郷 5 番地 1	R C	510.48
58	市場公民館	深溝字会下後 37 番地	R C	446.71
60	海谷公民館	深溝字上一木 16 番地	R C	473.13
平成 2	岩堀公民館	菱池字昆沙門 1 番地 1	R C	1,046.53

3 幸田町指定文化財一覧表

平成 31 年 4 月現在

番号	指 定 物 件				所 有 者
	種別	物 件 名	員数	所在地	氏 名
1	絵画	松平紀伊守源光重像	1 幅	大草字寺西 6 (正楽寺)	宗教法人 正楽寺
2	歴史資料	足 役 御 免 状	1 通	深溝字誉師 9	個人
3	彫刻	木造薬師如来坐像	1 軀	大草字山寺 3 (浄土寺)	宗教法人 浄土寺
4	工芸	懸 仏	1 面	菱池字鷺取 1 (鷺田神明宮)	鷺田神明宮
5	彫刻	木造阿弥陀如来坐像	1 軀	久保田字下田 23 (西方寺)	宗教法人 西方寺
6	工芸	鱧 口	1 口	深溝字清水 33 (三光院)	宗教法人 三光院
7	史跡	青 塚 古 墳	501 m ²	坂崎字弁天 12	幸田町
8	史跡	須美 6 号墳 (平松古墳)	33 m ²	須美字平松 6-1	個人
9	絵画	紙本著色蓮如上人絵伝	2 幅	荻字下 66 (玄好寺)	宗教法人 玄好寺
10	絵画	家忠・忠利・忠一像	3 幅	深溝字内山 17 (本光寺)	宗教法人 本光寺
11	絵画	京洛諸国名所図-日暮屏風-	1 双	深溝字内山 17 (本光寺)	宗教法人 本光寺
12	彫刻	木造阿弥陀如来坐像	1 軀	須美字遺水 1 (如意寺)	須美区
13	史跡	百 皿 古 窯 跡 群	2 窯	久保田字百皿 41-2 久保田字一ノ小屋 2-4	個人
14	史跡	野 場 西 城 土 塁	1 基	野場字城 10・11・12	個人
15	史跡	丸 山 古 墳	1,208 m ²	野場字大岩 11-1	個人
16	彫刻	木造十二神将立像	12 軀	大草字山寺 3 (浄土寺)	宗教法人 浄土寺
17	古文書	中根家所蔵文書	134 通	横落字郷中 42	個人
18	工芸	大 太 刀	1 振	高力字熊谷 67 (高力神明宮)	高力神明宮
19	絵画	西 郷 稠 頼 像	1 幅	大草字寺西 6 (正楽寺)	宗教法人 正楽寺
20	古文書	大久保彦左衛門忠教の自筆 釈教和歌釈義及び和歌二首	1 幅	久保田字本郷 50-2	個人
21	工芸	梵 鐘	1 口	深溝字内山 17 (本光寺)	宗教法人 本光寺
22	絵画	春 日 曼 荼 羅 図	1 幅	深溝字内山 17 (本光寺)	宗教法人 本光寺
23	史跡	日 向 山 古 墳	400 m ²	深溝字日向山 47・48・49・54	個人外
24	工芸	子 持 ち 壺	1 口	菱池字元林 1-1	幸田町
25	考古	青 塚 古 墳 出 土 品	一括	深溝字清水 36-1	幸田町
26	考古	松平忠雄墓所出土品一括	162 種類 841 点	深溝字内山 17	個人
27	民俗	山方手永御田扇祭り	1 式	岡崎市井内町始め 12 町、 幸田町永野	山方手永御田扇祭り 保存会
28	建造物	肖 影 堂	1 棟	深溝大字内山 3	個人

番号	指 定 物 件				所 有 者
	種別	物 件 名	員数	所在地	氏 名
29	絵画	絹本著色法華経絵曼荼羅	1 幅	深溝字誉師 16 (長満寺)	宗教法人 長満寺
30	絵画	絹本著色鬼子母神十羅刹女像	1 幅	深溝字誉師 16 (長満寺)	宗教法人 長満寺
31	工芸	三十番神御社棟札	1 枚	深溝字誉師 16 (長満寺)	宗教法人 長満寺
32	書跡	紙本墨書日蓮聖人真蹟一代五時図断片	1 卷	深溝字誉師 16 (長満寺)	宗教法人 長満寺
33	書跡	紙本墨書日蓮聖人真蹟一行断片	1 幅	深溝字誉師 16 (長満寺)	宗教法人 長満寺
34	書跡	紙本墨書日静曼荼羅本尊	1 幅	深溝字誉師 16 (長満寺)	宗教法人 長満寺
35	書跡	紙本墨書日静曼荼羅本尊	1 幅	深溝字誉師 16 (長満寺)	宗教法人 長満寺

4 令和元年度利用実績

(1) 視聴覚ライブラリー備品等貸出件数

(単位：回数)

月	教材フィルム・ソフト				機								材			小計	前年度	前年比較
	16mm	8mm	ビデオ	LD	映写機	ビデオカメラ	プロジェクター	スクリーン	スピーカー	CDラジカセ	ビデオデッキ	LD	OHP	三脚				
4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	±0	
5	0	0	0	0	0	0	9	3	3	2	0	0	0	0	0	17	+ 15	
6	0	0	0	0	0	7	7	9	0	3	0	0	0	0	0	19	+ 14	
7	0	0	8	0	0	6	6	3	5	2	0	0	0	0	24	+ 9		
8	0	0	0	0	0	14	14	5	3	2	0	0	0	0	24	+ 10		
9	0	0	0	0	0	12	12	3	2	0	0	0	0	0	17	+ 9		
10	0	0	0	0	0	10	10	5	0	0	0	0	0	0	15	+ 2		
11	0	0	0	0	0	7	7	5	0	0	0	0	0	0	12	- 5		
12	0	0	7	0	0	11	11	7	0	0	0	0	0	0	25	+ 14		
1	0	0	0	0	0	5	5	4	0	0	0	0	0	0	9	- 7		
2	0	0	0	0	0	9	9	3	0	0	0	0	0	0	12	- 7		
3	0	0	0	0	0	4	4	1	0	0	0	0	0	0	5	- 5		
計	0	0	15	0	0	94	94	48	13	9	0	0	0	0	179	+ 49		
前年度	0	0	0	0	0	66	66	56	4	0	0	0	0	2	130			
前年比較	±0	±0	+ 15	±0	±0	- 2	+ 28	- 8	+ 9	+ 9	±0	±0	±0	- 2	+ 49			

(2) 郷土資料館利用状況

(単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
館内	小・中学生	27	36	6	3	15	1	0	0	0	98	156	12	354
	男													
	女	32	9	0	2	23	1	0	0	0	96	155	17	335
館内	高・大学生	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	男													
	女	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
館内	一般	76	63	150	50	84	39	0	0	0	28	226	69	785
	男													
	女	77	71	134	26	41	19	0	0	0	28	344	71	811
館内	計	214	179	291	81	163	60	0	0	0	250	881	169	2,288
	男	49	15	7	5	13	4	0	0	0	98	115	12	318
	女	51	7	3	3	15	4	0	0	0	95	117	11	306
館外	小・中学生	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	男													
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
館外	高・大学生	69	52	118	41	67	33	0	0	0	6	138	35	559
	男													
	女	60	37	107	21	26	14	0	0	0	9	166	37	477
館外	一般	230	111	235	70	121	55	0	0	0	208	536	95	1,661
	男													
	女													

小・中学計	159	67	16	13	66	10	0	0	0	0	387	543	52	1,313
高・大学計	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
一般計	282	223	509	138	218	105	0	135	0	71	874	212	2,767	
合計	444	290	526	151	284	115	0	0	0	458	1,417	264	3,949	

(3) さくら会館利用状況

(単位：人)

室名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
第1研修室	団体	20	20	18	28	15	22	23	16	14	13	6	216
	人数	284	621	560	619	298	510	604	426	331	308	128	5,200
第2研修室	団体	24	13	14	24	16	16	25	26	12	19	19	224
	人数	695	265	206	353	243	220	212	399	142	280	292	3,694
椿の間	団体	20	27	24	24	20	21	27	26	20	24	16	281
	人数	295	222	188	269	180	203	325	368	169	344	135	3,006
ふれあいホール	人数	38,754	689	636	539	474	420	555	431	435	395	616	44,609
多目的広場	人数	115,514	871	649	674	540	738	920	492	522	632	1,892	124,518

利用目的	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
研修・会議	団体	4	13	10	17	10	13	14	17	13	15	13	158
	人数	77	312	170	339	176	248	198	381	227	301	279	3,013
文化教室	団体	60	47	46	59	41	46	54	51	33	41	28	563
	人数	1,197	796	784	902	545	685	943	812	415	631	261	8,872

注) 団体及び人数は利用実績

注) 多目的広場の人数については、目視により計算

(4) 中央公民館利用状況

(単位：人)

室名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
第1会議室 団体 人数	24	30	32	33	28	34	25	30	26	26	32	16	336
第2会議室 団体 人数	14	17	19	18	16	20	18	17	17	19	14	9	198
第3会議室 団体 人数	18	17	21	26	20	22	19	19	18	21	16	8	225
第5会議室 団体 人数	20	5	17	27	21	27	18	22	27	32	26	13	255
研修室 団体 人数	12	12	18	17	9	21	19	15	11	13	8	5	160
防音室 団体 人数	27	32	26	33	27	40	33	33	22	26	25	22	346
ホールA 団体 人数	35	50	46	39	47	41	49	48	39	43	49	36	522
ホールB 団体 人数	35	51	51	38	45	48	53	46	43	43	44	30	527
合計 団体 人数	185	214	230	231	213	253	234	230	203	223	214	139	2,569
	5,643	3,046	3,073	9,614	2,894	3,628	3,157	2,901	2,483	2,484	2,658	1,107	42,688

(5) 地区公民館利用状況

(単位：人)

公民館名	平成29年度	平成30年度	令和元年度
坂崎公民館	12,961	10,148	8,575
鷺田公民館	9,722	13,373	12,943
岩堀公民館	16,975	24,379	24,940
芦谷公民館	6,808	7,410	6,791
市場公民館	3,945	4,583	5,437
海谷公民館	1,428	1,242	1,820
須美公民館	2,420	2,070	1,213
六栗公民館	2,209	1,928	1,874
合 計	56,468	65,133	63,593

※延べ利用者数

(6) ライフサークル事業実績

事業名	期 日	会 場	事業内容
ホテルを観る会 (雨天中止)	令和元年6月7日(金) 午後7:30～午後9:00	深溝小学校	深溝小学校体育館にてホテルの話、拾石川沿いを歩きホテル観察
こうた夏まつり (来場者 約30,000人)	令和元年8月17日(土) 午後2:00～午後8:30	ハッピネス・ ヒル・幸田	ステージアトラクション、町民総踊り、打上げ花火等の催し物を実施
こうた凧揚げまつり 交流会 (参加者 82人)	令和2年1月11日(土) 午後6:00～午後8:00	天の丸	凧揚げまつり前日の歓迎セレモニー
こうた凧揚げまつり (来場者 約25,000人)	令和2年1月12日(日) 午前9:30～午後1:30	菱池地内	凧揚げ競技、ステージイベント等を実施。 大中小全国凧合わせて144基参加

各種委員名簿

(1) 生涯学習推進本部委員

〔任期〕 平成31年4月1日～令和3年3月31日

氏 名	所 属 団 体	同 職 名
神 尾 義 貴	学 識 経 験 者	
三 浦 倫 夫	幸 田 町 国 際 交 流 協 会	代 表
神 谷 京 子	幸 田 文 化 協 会	代 表
都 築 孝 明	坂 崎 小 学 校	校 長
伊 與 田 孝 彦	北 部 中 学 校	校 長
川 口 佳 男	幸 田 町 ス ポ ー ツ 協 会	副 理 事 長
岩 渕 初 子	幸 田 町 ス ポ ー ツ 推 進 委 員 会	代 表
川 崎 す な お	深 溝 保 育 園	園 長
高 橋 紫 乃	父 母 の 会	会 長
山 本 勝 利	幸 田 町 老 人 ク ラ ブ 連 合 会	会 長
稲 吉 基 宏	ラ イ フ サ ー ク ル 事 業 推 進 委 員 会	副 委 員 長
近 藤 美 代 子	幸 田 町 中 央 公 民 館	代 表

(2) 社会教育委員

〔任期〕 平成31年4月1日～令和3年3月31日

氏 名	所 属 団 体	同 職 名
岡 本 智	荻 谷 小 学 校	校 長
山 本 勝 秀	幸 田 中 学 校	校 長
鈴 木 眞 成	幸 田 高 等 学 校	校 長
大 坪 英 美 子	大 草 保 育 園	園 長
奥 平 憲	幸田あけぼの第二幼稚園	園 長
眞 野 雄 大	幸田町子ども会連絡協議会	会 長
長 谷 恒 代	幸田町身体障害者福祉協会	女 性 部 代 表
土 屋 善 也	ライフサークル事業推進委員会	委 員 長
三 浦 倫 夫	幸 田 町 国 際 交 流 協 会	代 表
山 本 勝 利	幸 田 町 老 人 ク ラ ブ 連 合 会	会 長
稲 吉 仁	幸田町小中学校PTA連絡協議会	会 計 監 査
塩 谷 恵 美 子	こ う た 女 性 の 会	会 長
須 原 清 俊	幸 田 町 ス ポ ー ツ 協 会	理 事 長
貝 吹 成 子	幸 田 文 化 協 会	会 長
浦 山 岩 夫	幸田町スポーツ推進委員会	委 員 長
近 藤 正 義	幸 田 町 区 長 会	代 表
内 藤 節 夫	社 会 教 育 指 導 員	
神 尾 義 貴	学 識 経 験 者	

(3) ライフサークル事業推進委員

〔任期〕 平成31年4月1日～令和3年3月31日

学 区	氏 名	備 考
坂 崎 学 区	釜 本 俊 行	
	山 本 正 敏	
	佐 竹 俊 男	
幸 田 学 区	本 多 健 治	
	山 本 正 美	
	江 本 一	
中 央 学 区	土 屋 善 也	委 員 長
	上 野 幹 生	
	田 中 俊 樹	
荻 谷 学 区	米 津 巧 治	
	鈴 木 巧	
	山 登 一 臣	副 委 員 長
深 溝 学 区	齋 藤 國 一	
	稲 吉 賢 二	
	蜂 須 賀 幹 雄	
豊 坂 学 区	稲 吉 基 宏	副 委 員 長
	梅 田 忠 弘	
	浅 井 彰 伸	

(4) 視聴覚ライブラリー運営委員

〔任期〕 平成31年4月1日～令和3年3月31日

学 区	氏 名	備 考
坂 崎 小 学 校	中 野 勝 二	
幸 田 小 学 校	井 上 正 興	
中 央 小 学 校	太 田 寛 士	
荻 谷 小 学 校	加 納 美 樹 雄	
深 溝 小 学 校	柴 田 靖 博	
豊 坂 小 学 校	川 瀬 裕 史	

(5) 青少年問題協議会委員

〔任期〕 平成31年4月1日～令和3年3月31日

氏 名	所 属	同 職 名
成瀬 敦	幸 田 町	町 長
小野 浩史	幸 田 町 区 長 会	副 会 長
長谷 禎子	幸 田 町 教 育 委 員 会	教 育 委 員
都築 孝明	坂 崎 小 学 校	校 長
志賀 浩美	南 部 中 学 校	校 長
鈴木 眞成	幸 田 高 等 学 校	校 長
巖 礼子	西三河児童・障害者相談センター	児 童 福 祉 士
大久保 秀康	岡崎警察署生活安全課	少 年 保 安 代 理
塩谷 恵美子	こ う た 女 性 の 会	会 長
加藤 宏和	幸田町小中学校PTA連絡協議会	会 長
足立 和彦	幸田町民生児童委員協議会	会 長
村越 浩幸	幸田町青少年健全育成地域推進員	委 員 長
三浦 敏男	人権擁護委員協議会	委 員 長
山本 弘行	幸 田 更 生 保 護 会	保 護 司

(6) 青少年健全育成地域推進員

〔任期〕 平成31年4月1日～令和3年3月31日

学 区	氏 名	備 考
坂 崎	山 本 修 一 黒 柳 昭 吾	
幸 田	志 賀 正 之 石 川 美 絵 子	
中 央	池 田 準 次 加 藤 勝	
荻 谷	松 井 英 夫 中 根 晃	
深 溝	三 浦 敏 男 村 越 浩 幸	
豊 坂	米 津 章 大 須 賀 勝 男	

(7) 文化財保護委員、幸田町郷土資料館運営委員

〔任期〕 平成31年4月1日～令和3年3月31日

役 職	氏 名	備 考
委 員 長	黒 柳 孝 夫	
副 委 員 長	神 尾 義 貴	
委 員	吉 本 一 三	
委 員	齋 藤 忠 雄	
委 員	志 賀 秀 夫	
委 員	前 原 隆 一	
委 員	野 本 欽 也	
委 員	荒 井 信 貴	

(8) 子ども読書活動推進計画推進委員

〔任期〕 令和2年4月1日～令和3年3月31日

所 属	役 職	氏 名	備 考
町 立 図 書 館	館 長	丹 羽 雅 英	委 員 長
町 立 図 書 館	図書館アドバイザー	山 田 肇 子	
図書館ボランティア	ぐ り ぐ ら	長谷川 三重子	
小 学 校	校長（中央小）	藤 井 敦	
中 学 校	校長（幸田中）	山 本 勝 秀	
教 育 研 究 会	図書主任（幸田小）	清 水 祥 子	
教 育 研 究 会	図書主任（幸田中）	高 嶋 枝 里	
学 校 図 書 館	嘱 託 指 導 員	安 西 佳 子	
保 育 園	園 長（坂崎）	平 野 加 代 子	
子育て支援センター	所 長 補 佐	伊 藤 明 美	
児 童 館	児 童 厚 生 員	村 井 康 子	
幸田あけぼの第一幼稚園	園 長	岡 本 弘	
健 康 課	保 健 師	松 岡 愛 実	
中 央 公 民 館	社会教育指導員	内 藤 節 夫	

(9) 島原藩主深溝松平家墓所保存整備委員

区分	職 名 等	氏 名	専 門 分 野
顧問	深溝松平家21代当主	松平 忠承	
委員長	立正大学名誉教授	坂詰 秀一	考古学
委員	愛知淑徳大学非常勤講師	赤羽 一郎	考古学、史跡
委員	奈良文化財研究所 埋蔵文化財センター長	高妻 洋成	保存科学
委員	東京大学名誉教授	藤井 恵介	建造物
委員	名城大学名誉教授	丸山 宏	造 園
委員	名城大学講師	長屋 隆幸	歴史学
委員	幸田町文化財保護委員会委員長	黒柳 孝夫	郷土史
委員	深溝小学校校長	藤井 健一	学校関係者
委員	里 区 長	大浦 裕	地元関係者
委員	幸田町観光協会会長	大嶽 治郎	観光関係者
委員	本光寺代表役員	鶴田 悦章	寺院関係者
委員	本光寺護持会会長	尾崎 勝	寺院関係者

社会体育推進事業計画

1 重点目標

「健康の町」宣言に伴う町民の体力づくり事業を推進するため、体育施設の整備充実と各種スポーツ・レクリエーション行事を開催し又、地区スポーツ大会の開催を奨励していく。

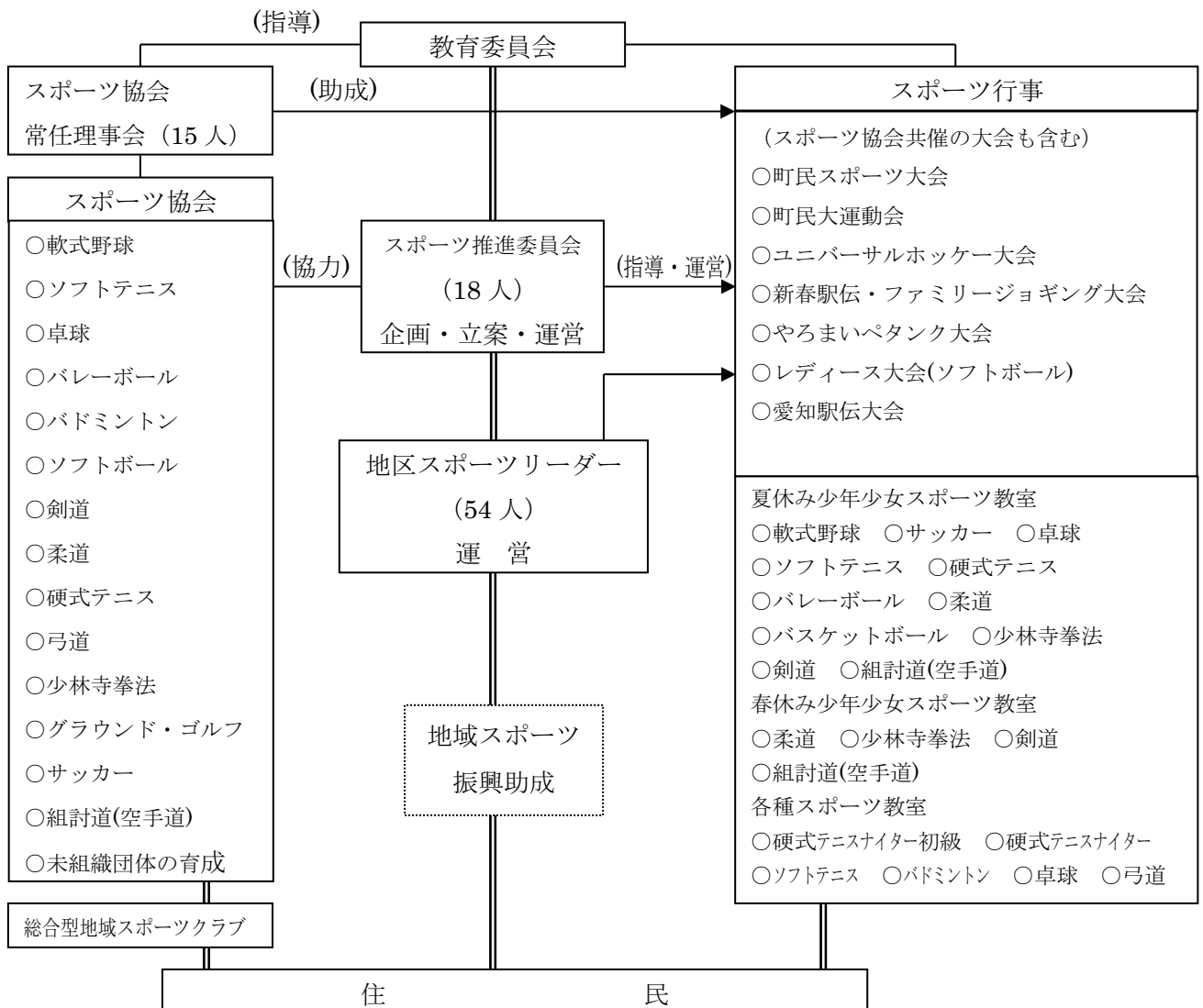
(1) 社会体育施設の整備充実と効率的活用

- ① 町民運動場等の適切な管理と施設整備
- ② 学校体育施設の効率的な活用

(2) 各種スポーツ活動の振興と指導の充実

- ① 町民大運動会、新春駅伝・ファミリージョギング大会、町民スポーツ大会、各種レディーススポーツ大会等を開催する。
- ② スポーツ推進委員及び地区スポーツリーダーの指導体制の強化、地域スポーツの振興を図る。
- ③ スポーツの普及と技術向上のため、各種スポーツ教室を開催する。
- ④ スポーツ推進委員を中心に、KUBB（クッブ）等のニュースポーツの普及に努める。
- ⑤ 社会体育指導者育成のため、ルール及び審判講習会を開催する。
- ⑥ 総合型地域スポーツクラブの育成に努める。

2 社会体育組織図



3 社会体育事業の概要

(1) スポーツ教室の開催

- ① 種目別スポーツ教室の開催
(硬式テニスナイター初級、硬式テニスナイター、卓球、バドミントン、ソフトテニス、弓道)
- ② 少年少女スポーツ教室の開催

(2) 各種スポーツ大会の開催

- ① 第54回町民スポーツ大会
(軟式野球、ソフトボール、卓球、バレーボール、ソフトテニス、硬式テニス、バドミントン、弓道、柔道、少林寺拳法、グラウンド・ゴルフ、サッカー、ソフトバレーボール組討道(空手道))
- ② 第65回町民大運動会
- ③ 第43回新春駅伝・ファミリージョギング大会
- ④ レディース大会の開催 (ソフトボール)
- ⑤ 第52、53回ユニバーサルホッケー大会、第16回やろまいペタンク大会

(3) スポーツ団体の育成

- ① 加盟団体の育成強化
(軟式野球、ソフトボール、卓球、バレーボール、ソフトテニス、硬式テニス、バドミントン、弓道、剣道、柔道、少林寺拳法、グラウンド・ゴルフ、サッカー、組討道(空手道))
- ② 総合型地域スポーツクラブの育成
- ③ 未組織スポーツクラブの育成
- ④ 少年スポーツクラブの育成 (剣道、柔道、少林寺拳法、サッカー、組討道(空手道))

(4) 県が主催する大会への参加等

- ① 愛知万博メモリアル第15回愛知県市町村対抗駅伝競走大会への選手団参加

(5) その他

- ① 地区スポーツ大会等の奨励、助成
- ② 学校体育施設のスポーツ開放 町内小中学校、県立高校

令和2年度 社会体育事業計画

月	日	曜日	行事名
4	4	土	スポーツ推進委員・スポーツ協会常任理事・地区スポーツリーダー合同会議
	4	土	スポーツ推進委員定例会
	9	木	スポーツ協会常任理事会（総会・夏休みスポーツ教室について）
	11	土	硬式テニスナイター初級教室（毎週土曜日、雨天順延、豊坂）全8回、5/30まで
	12	日	学校体育施設スポーツ開放利用代表者会議
5	3	日	第54回町民スポーツ大会（グランド・ゴルフ=大日蔭GG場、大日蔭G 予備日5/9）
	9	土	ソフトテニス教室（毎週土曜日、雨天順延、文化広場）全8回、6/27まで
	10	日	卓球教室（毎週日曜日、幸中）全8回、6/28まで
	10	日	スポーツ推進委員定例会
	16	土	スポーツ協会総会
	24	日	第44回レディースソフトボール大会（深溝G 予備日5/31）
6	2	火	弓道教室（毎週火・金曜日、町弓道場）全16回、7/24まで
	4	木	学校体育施設スポーツ開放運営委員会
	7	日	スポーツ推進委員定例会
	14	日	第54回町民スポーツ大会（ソフトバレーボール=デンソー体育館）
7	4・5	土・日	第52回ユニバーサルホッケー大会（豊小・勤体） 7/4(土)：3・4年、5・6年 7/5(日)：1・2年、中学生、ジュニア、シニア
	5	日	スポーツ推進委員定例会
8	夏季休業中		夏休み少年少女スポーツ教室（軟式野球=とぼねG、卓球=勤体、バレーボール=幸中、サッカー=坂崎G、ソフトテニス=文化広場、剣道=幸中、柔道=南中、少林寺拳法=岩堀公民館、バスケットボール=荻小、硬式テニス=豊坂、組討道(空手道)=岩堀老人憩いの家）
	2	日	スポーツ推進委員定例会
	22	土	硬式テニスナイター教室（毎週土曜日、雨天順延、豊坂）全8回、10/10まで
	23	日	第21回レディースカップソフトボール大会（深溝G 予備日8/30）
9	5	土	スポーツ推進委員・スポーツ協会常任理事・地区スポーツリーダー合同会議（町民大運動会・町民スポーツ大会について）
	5	土	スポーツ推進委員定例会
	10	木	スポーツ協会常任理事会（協会表彰について）
	12	土	バドミントン教室（毎週土曜日、勤体）全10回、11/14まで
	19	土	愛知万博メモリアル 第15回愛知県市町村対抗駅伝競走大会 幸田町代表選手選考会（幸田中央公園）予備日9/20
9	20	日	第54回町民スポーツ大会（柔道=幸中、ソフトテニス(小学生)=文化広場 予備日9/26)
	27	日	第54回町民スポーツ大会（サッカー=幸田中央公園 予備日10/4、硬式テニス・一般ソフトテニス=豊坂・文化広場 予備日10/4、軟式野球=坂崎G・とぼねG 予備日10/4、少林寺拳法=幸中）

月	日	曜日	行事名
10	3	土	第16回やろまいベタンク大会（幸田中央公園）
	4	日	第54回町民スポーツ大会（軟式野球準決・決勝=とぼねG 予備日10/11）
	10	土	第54回町民スポーツ大会（硬式テニス・小学生ソフトテニス=豊坂・文化広場 予備日10/24）
	10	土	第65回町民大運動会区対抗種目別組合せ抽選会
	10	土	第65回町民大運動会運営委員打合せ会
	10	土	スポーツ推進委員定例会
11	11	日	第54回町民スポーツ大会（硬式テニス・一般ソフトテニス=豊坂・文化広場 予備日10/18、バレーボール男女=デンソー体育館）
	17	土	第54回町民スポーツ大会（硬式テニス・小学生ソフトテニス=豊坂・文化広場 予備日10/31）
	25	日	第65回町民大運動会（幸田中央公園 予備日なし）毎年第4日曜日開催
	1	日	第54回町民スポーツ大会（ソフトテニス中学生男女1・2=幸中、北中 予備日11/3、ソフトボール男女=とぼねG・深溝G 予備日11/8）
	7	土	スポーツ推進委員・スポーツ協会常任理事・地区スポーツリーダー合同会議（新春駅伝・ファミリージョギング大会について）
12	7	土	愛知万博メモリアル 第15回愛知県市町村対抗駅伝競走大会 下見会&結団式（愛・地球博記念公園）
	22	日	第54回町民スポーツ大会（バドミントン=幸中）
	5	土	愛知万博メモリアル 第15回愛知県市町村対抗駅伝競走大会（愛・地球博記念公園）
	12・13	土・日	第53回ユニバーサルホッケー大会（豊小・勤体） 12(土)：3・4年、5・6年 13(日)：1・2年、中学生、ジュニア、シニア
1	10	日	スポーツ推進委員定例会
	16	土	第43回新春駅伝・ファミリージョギング大会運営委員打合せ会
	24	日	第43回新春駅伝・ファミリージョギング大会（幸田中央公園 予備日なし）毎年第4日曜日開催
2	3	水	スポーツ協会常任理事会
	13	土	学校体育施設スポーツ開放利用登録（次年度）
3	14	日	スポーツ推進委員定例会
	14	日	春休み少年少女スポーツ教室（柔道=南中・北中、少林寺拳法=幸中、剣道=幸中、組討道(空手道)=岩堀老人憩いの家）

※新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため、中止または変更となった事業が一部あります。また、今後の状況によっては計画が変更となる場合もあります。

4 令和元年度社会体育事業実績

(1) スポーツ協会の育成

- ① 加盟団体の育成強化
幸田町軟式野球連盟、幸田町ソフトボール協会、幸田エイティ、幸田バドミントン協会、
幸卓会、幸田町バレーボール連盟、幸田町弓道連盟、幸田ローンテニスクラブ、
幸田町グラウンド・ゴルフ協会 計9団体
- ② 少年スポーツクラブの育成
幸田少年剣志会、幸田町柔道会、幸田町少林寺拳法協会、幸田 Jr F C
幸田町組討道会 計5団体

(2) スポーツ教室の開設

- ① 夏休み少年少女スポーツ教室（336人）〔柔道、組討道(空手道)5日間、その他各8日間〕
軟式野球（17人）、バレーボール（36人）、卓球（59人）、バスケットボール（21人）
柔道（5人）、ソフトテニス（13人）、少林寺拳法（30人）、サッカー（91人）
硬式テニス（32人）、剣道（15人）、組討道(空手道)（17人）
- ② 硬式テニスナイター初級教室（28人）〔4月6日～8日間〕
- ③ 硬式テニスナイター教室（25人）〔8月17日～8日間〕
- ④ 卓球教室（30人）〔5月5日～8日間〕
- ⑤ ソフトテニス教室（13人）〔5月11日～8日間〕
- ⑥ 弓道教室（20人）〔6月4日～16日間〕
- ⑦ バドミントン教室（16人）〔9月14日～10日間〕
- ⑧ 春休み少年少女スポーツ教室（0人）〔各5日間〕

※新型コロナウイルスの影響により中止

申込者：剣道（4人）、柔道（11人）、少林寺拳法（11人）、組討道(空手道)（21人）

3 各種スポーツ大会等の開催

- ① 第53回町民スポーツ大会
 - ・グラウンド・ゴルフ 5月5日（347人） ・少林寺拳法 8月25日（48人）
 - ・硬式テニス 一般シングルス 9月29日（43人） 一般ダブルス 10月13日（66人）
小学生シングルス 10月26日（33人） 小学生ダブルス 10月26日（26人）
 - ・軟式野球 9月29日（90人） ・ソフトボール男子 11月3日（112人）
 - ・ソフトボール女子 11月3日（76人） ・バレーボール男子 10月6日（30人）
 - ・バレーボール女子 10月6日（75人） ・卓球 11月17日（117人）
 - ・ソフトテニス 9月22日・11月2日・10日（171人） ・弓道 11月10日（94人）
 - ・柔道 9月22日（85人） ・バドミントン 11月24日（50人）
 - ・サッカー 9月29日（103人） ・ソフトバレーボール 6月16日（172人）
 - ・組討道(空手道) 11月10日（45人） 以上総参加数（1,783人）
- ② レディーススポーツ大会
 - ・第43回レディースソフトボール大会 5月26日 3チーム（47人）

- ・第20回レディースカップソフトボール大会 7月13日 3チーム (49人)
- ③ 第15回やろまいペタンク大会 10月5日 29チーム (87人)
- ④ ユニバーサルホッケー大会
 - ・第50回大会 7月 6日・7日 65チーム (506人)
 - ・第51回大会 12月14日・15日 64チーム (504人)
- ⑤ 第64回町民大運動会
10月27日 約8,000人
- ⑥ 第42回新春駅伝・ファミリージョギング大会
令和2年1月26日 駅伝の部 216チーム (1,296人)
ジョギングの部 (693人)
- ⑦ 幸田グリーンフェス
11月17日 141人
- ⑧ 愛知万博メモリアル 第14回愛知県市町村対抗駅伝競走大会
12月7日 (土) 参加チーム：54チーム (愛知県内市町村)
成績：町村の部3位 (タイム：1時間40分11秒)
区間・距離：9区間・28.7km
選手団
監督 須原 清俊 コーチ 岡田 雅春
第1区 2.8km 中学生女子 山川 紗季 岡田 美虹
第2区 4.7km ジュニア男子 住原 聡太 澤村 直樹
第3区 3.9km 40歳以上 梅田 幸夫 伊豫田 泰孝
第4区 1.1km 小学生女子 児玉 彩花 穂吉 果利南
第5区 3.2km 中学生男子 山崎 愛翔 田代 卓渡
第6区 1.1km 小学生男子 市川 統也 橋元 來夢
第7区 3.2km 一般女子 宮澤 恵理 奥村 麻友
第8区 3.9km ジュニア女子 浦山 妃菜 谷口 愛果
第9区 4.8km 一般男子 油井 一成 宮地 政伸
幸田町代表選手選考会 9月21日 幸田中央公園にて開催(108人)
- ⑨ 講習会
 - ・ソフトバレーボール審判講習 6月8日 (10人)
 - ・ユニバーサルホッケー審判講習 7月5日 (15人)
 - 12月13日 (15人)

(4) 国、県等が開催する大会への参加

愛知スポーツ・レクリエーションフェスティバル2019西三河地区大会への参加
軟式野球、バドミントン、ソフトボール、硬式テニス、弓道、
グラウンド・ゴルフ、ソフトバレーボール
以上189人

(5) スポーツ協会表彰

- ・特別栄光章（国際競技大会などに出場、全国大会で3位以内に入賞された選手及び監督）
柴田 真歩、稲吉 美月、須加尾 琉斗、藤塚 栄人、鳥居 ふさ江、鈴木 豊、
水野 ひより、本多 政和、渡邊 百世、石川 亜弥、南 颯汰
- ・栄光章（県または東海大会で優勝または全国大会に出場された選手）
山口 冬晟、安東 遼樹、渡邊 慶大、中島 海人、杉山 舜哉、河合 福実、
中野 かのん、宇野 ひなた、久保田 叶愛、渡邊 大志、岡本 拓大、
伊奈 駿介、梅澤 侑希、長谷 丈太郎、上田 愛斗、高品 貴仁、中崎 麻琳、
藪下 皓喜、足立 龍紀、橋本 有未、澤村 葉琉、山中 祐輝、山中 碧仁、
山本 翔聖、林 翔太郎、宇都野 綺花、三浦 琴恵、西井 百花、
長谷部 陽菜、平仲 心菜、安慶名 茨穂、竹尾 りゅうや、鴨下 和弥、
林 輝太郎、清水 暖人、鈴木 心結、月原 葉音、吉富 巧真、三方 遥斗、
吉本 結月、三方 健斗、中村 聖依、片桐 明慶、林 龍太郎、林 幸駕、
辻 悠、伊藤 多映、池田 りこあ、川野 寧々、山本 星姫、酒井 雅、
杉浦 由菜、橋崎 由奈、小山 峻太郎、柴田 彩生、志賀 朱莉、鳥居 憂汰、
今泉 秀悟
- ・奨励賞（全都道府県が行っていない競技で全国大会3位以内に入賞された選手）
田島 秀悟、三浦 颯、佐藤 陽斗、三輪 聡史、鈴木 陽介、村田 樹俊、
小森 飛輝、市川 統也、村上 絢音、中野 桃羽、廣岡 巳愛、成田 千紘、
大石 紗也奈、小野 倫太郎、小嶋 啓太、寺地 愛理、大久保 伶南、
新見 琉璃杏、中村 杏海、市川 つぐみ、中野 佑麻、成田 乃英、
佐藤 絢音、松下 孝太郎、大里 優月、東原 柚乃、杉浦 峻斗、兼佐 悠生、
市川 鳴海、神前 真衣、近藤 太喜、江崎 修平、大須賀 和樹、近藤 寛太、
藤本 大洋、松下 千豊、植田 真洸、浅井 日葵、大須賀 莉穂、杉浦 梨月、
須山 優空
- ・功労章（幸田町スポーツ協会の理事長として、会の発展に寄与し、その職務を退任された方）
羽根淵 悟
- ・貢献章（本町のスポーツの発展に10年以上貢献された方）
山本 寔

以上112人

(6) 学校体育施設一般開放の現況

① 利用状況

令和元年度学校体育施設スポーツ開放利用状況 参照

② 学校体育施設のスポーツ開放に関する規則の制定

昭和54年6月1日

③ 学校体育施設利用登録スポーツ団体数及び登録人数

(令和2.4.1現在)

学 校	坂崎小	幸田小	中央小	荻谷小	深溝小	豊坂小	幸田中	南部中	北部中	計
登録団体数	7	8	10	7	5	7	14	13	13	84
登録人数	211	146	168	158	198	294	588	313	314	2,390

※子ども会、各区・学区のスポーツリーダーは除く

(7) スポーツクラブの現況

スポーツ協会加盟団体人数 総計1,568人

(令和2.4.1現在)

種 目	軟式野球	バレーボール	柔 道	少林寺拳法	ソフトボール	バトミントン	剣 道
チーム数	14	11	1	1	18	7	1
人 数	256	206	31	30	335	91	18

種 目	ソフトテニス	硬式テニス	弓道	卓球	グラウンド・ゴルフ	サッカー	組討道(空手道)
チーム数	1	1	1	1	1	1	1
人 数	30	73	32	47	329	70	20

(8) 社会体育施設の状況

① 社会体育施設の建設状況

竣工年度	施 設 名	内 容
昭和48年度	坂崎運動場	造成・建設
53年度	坂崎運動場	ナイター照明設置
54年度	中央運動場・横落公共広場	造成・建設
55年度	勤労者体育センター	造成・建設
57年度	文化広場庭球場	造成・建設
〃	豊坂庭球場	造成・建設
61年度	とぼね運動場・庭球場	造成・建設
62年度	とぼね運動場	管理棟建設
平成元年度	とぼね運動場	ナイター照明設置
2年度	勤労者体育センター	休憩室増設
3年度	坂崎運動場	倉庫・トイレ改修
5年度	とぼね運動場	Bコートダッグアウト建設
6年度	坂崎遊水地	県河川敷借地
〃	文化広場庭球場	ナイター照明設置
9年度	文化広場庭球場	砂入人工芝張
10年度	坂崎運動場	バックネット改修

12年度	豊坂庭球場	砂入人工芝張、ナイター照明設置
〃	中央運動場・横落公共広場	廃止
13年度	とぼね運動場	第2駐車場新設、倉庫・トイレ新設
〃	大日蔭グラウンド・ゴルフ場	造成・建設
15年度	大日蔭グラウンド・ゴルフ場	トイレ・東屋新設、調整池埋め立て
16年度	勤労者体育センター	管理移管、豊坂小体育館との連絡通路新設
17年度	弓道場	造成・建設
18年度	大日蔭運動場	用地測量
19年度	深溝運動場	造成・建設
20年度	大日蔭運動場	倉庫新設
〃	深溝運動場	倉庫新設
〃	豊坂庭球場	人工芝張替え
〃	勤労者体育センター	音響設備設置
〃	弓道場	観覧席防矢ボード設置、進入路舗装
〃	坂崎運動場	ネットフェンス設置
21年度	とぼね運動場	電気設備改修
〃	勤労者体育センター	補修工事（床、小窓等）
22年度	とぼね運動場	キュービクル内主幹開閉器取付、 Aコートバックネット塗装
〃	坂崎運動場	照明灯不点修繕、防球ネット塗装
竣工年度	施設名	内容
22年度	豊坂庭球場	防風ネット設置
23年度	とぼね運動場	音響設備設置
〃	文化広場庭球場	コート修繕工事
〃	豊坂庭球場	フェンス修繕工事
〃	勤労者体育センター	休憩室床張り替え
〃	勤労者体育センター	カーテン取り替え
24年度	坂崎運動場	防球フェンス支柱補強工事
〃	大日蔭グラウンド・ゴルフ場	休憩用日除け設置工事
〃	勤労者体育センター	メッシュフェンス改修工事
25年度	坂崎運動場	ベンチ屋根改修工事
〃	坂崎・とぼね運動場	ネット修繕工事
〃	文化広場庭球場	外周フェンス補修工事
26年度	大日蔭グラウンド・ゴルフ場	設備整備工事
〃	深溝運動場	ネット修繕工事
〃	勤労者体育センター	便所改修工事
27年度	大日蔭グラウンド・ゴルフ場	東屋設置工事
〃	とぼね庭球場	コート等改修工事
〃	勤労者体育センター	暗幕カーテンレール取替工事

28年度	勤労者体育センター	外部建具他改修工事
〃	深溝運動場	防球ネット修繕工事
〃	文化広場庭球場	砂入人工芝修繕
29年度	豊坂庭球場	防球ネット修繕工事
〃	とぼね運動場	受電設備改修工事
〃	深溝運動場	防球ネット設置工事
30年度	深溝運動場	東屋外周土台等修繕工事
〃	勤労者体育センター	照明設備改修工事
〃	文化広場庭球場	プレイングタイマー設備改修工事
令和元年度	文化広場庭球場	照明設備改修工事
〃	文化広場庭球場	フェンス修繕工事
〃	勤労者体育センター	器具庫屋上防水修繕工事

② 社会体育施設の概要と使用料

名 称	内 容	使 用 料
坂 崎 運 動 場	坂崎字天神山23-1	1面につき3時間で 1,000円 夜間照明時 坂 崎=6,000円 とぼねA=8,000円 とぼねB=7,000円
	延面積18,642㎡ 軟式野球1面 ソフトボール1面 (サッカーも可) ナイター可	
とぼね運動場	荻字奥入61-1	
	延面積28,277㎡ 軟式野球1面 ソフトボール1面 ナイター可	
大日蔭運動場	野場字大日蔭33	
	延面積12,000㎡ ソフトボール1面 (サッカーも可)	
大日蔭グラウンド ・ ゴ ル フ 場	延面積31,800㎡ グラウンド・ゴルフ場：80ホール常設(5面)	専用貸出は3時間で1,300円 ただし、20人以上の団体に限る 南芝生広場2面は専用貸出をせず一般開放
とぼね庭球場	延面積2,032㎡ クレークコート2面	1面につき2時間で 400円 夜間照明時3時間で 1,600円
文化広場庭球場	芦谷字蒲野25-1	無料
	延面積1,732㎡ 砂入人工芝2面 ナイター可	
豊 坂 庭 球 場	野場字井戸田57-1 延面積1,675㎡ 砂入人工芝2面 ナイター可	
坂 崎 遊 水 地	坂崎字馬頭90	無料
	延面積18,000㎡ サッカー・グラウンド・ゴルフ	
勤 労 者 体 育 セ ン タ ー	野場字鶏島50-1 TEL62-2684	9:00～12:00 700円(半面350円) 13:00～15:00 500円(半面250円) 15:00～17:00 500円(半面250円) 17:00～19:00 1,000円(半面500円) 19:00～22:00 1,500円(半面750円)
	延床面積720㎡ バレーボール2面 バスケットボール1面 バドミントン3面	
弓 道 場	菱池字黒方46-10 TEL63-2005	9:00～12:00 専用利用 1,500円 個人利用 小人150円 大人200円
	延床面積423.69㎡ 和弓近的 (距離28m) 6人立ち	12:00～15:00 専用利用 1,500円 個人利用 小人150円 大人200円
		15:00～18:00 専用利用 1,500円 個人利用 小人150円 大人200円
		18:00～21:00 専用利用 2,500円 個人利用 小人200円 大人300円
※半面専用利用の場合は専用使用料の半額 「小人」は中学生以下、「大人」は高校生以上		
深 溝 運 動 場	深溝字大池8	1面につき3時間で1,000円
	延面積 13,446㎡ ソフトボール2面	

令和元年度体育施設利用状況

(単位：回、人)

施設名	面数	区	分												合計	H30年度	前年度対比
			回数	人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月			
坂	2面	星間	44	61	50	41	72	105	49	53	57	35	58	25	650	598	108.7%
		ナイター	870	1,340	897	540	1,649	1,146	309	707	294	190	528	205	8,675	7,290	119.0%
とぼね	2面	星間	10	10	9	15	16	15	7	12					94	95	98.9%
		ナイター	154	445	139	469	540	243	114	305					2,409	2,278	105.8%
とぼね	2面	星間	44	50	52	51	70	60	56	73	53	47	70	63	689	602	114.5%
		ナイター	634	600	780	1,354	691	850	526	1,498	324	326	525	850	8,958	10,719	83.6%
坂崎遊水地	2面	星間	4	5	4	25	20	12	11	18					99	71	139.4%
		ナイター	59	95	72	375	370	255	225	240					1,691	1,215	139.2%
大日蔭	1面	星間	62	64	80	64	72	68	64	72	72	64	72	72	826	50	1652.0%
		ナイター	270	240	300	240	270	270	240	270	270	240	240	270	3,150	1,140	276.3%
大日蔭グラウンド・ゴルフ場	3面	星間	21	24	25	22	34	35	29	28	18	24	20	22	302	276	109.4%
		ナイター	160	540	370	350	320	576	1,082	220	233	395	230	240	4,716	5,707	82.6%
深溝	2面	星間	22	51	32	22	7	41	49	58	25	13	11	9	340	415	81.9%
		ナイター	811	2,034	1,263	798	395	1,629	1,765	2,376	1,102	730	530	527	13,960	16,251	85.9%
とぼね	2面	星間	20	39	23	30	21	39	37	32	29	13	14	25	322	345	93.3%
		ナイター	290	390	340	340	210	896	660	325	100	70	110	240	3,971	4,438	89.5%
小	2面	星間	213	289	262	230	276	348	284	316	254	196	245	216	3,129	2,286	136.9%
		ナイター	3,035	5,144	3,950	3,622	3,535	5,367	4,582	5,396	2,323	1,951	2,193	2,332	43,430	45,545	95.4%
とぼね	2面	星間	14	15	13	40	36	27	18	30					193	166	116.3%
		ナイター	213	540	211	844	910	498	339	545					4,100	3,493	117.4%
文化広場	2面	星間	72	70	48	50	63	78	73	91	119	48	58	94	864	860	100.5%
		ナイター	264	307	667	183	258	302	326	412	628	192	276	367	4,182	3,634	115.1%
豊	2面	星間	187	181	172	188	187	179	193	202	25	181	172	274	2,141	2,203	97.2%
		ナイター	720	756	810	681	723	821	830	752	85	860	693	1,020	8,751	9,166	95.5%
小	2面	星間	37	31	33	39	38	42	45	43	5	42	41	54	450	468	96.2%
		ナイター	216	170	185	313	280	236	232	277	62	349	313	458	3,091	3,124	98.9%
豊	2面	星間	185	193	194	205	215	217	190	153	219	148	136	222	2,277	1,964	115.9%
		ナイター	719	750	798	800	795	882	784	560	971	608	594	877	9,138	8,220	111.2%
小	2面	星間	35	38	31	44	51	56	36	45					336	312	107.7%
		ナイター	338	379	251	416	549	526	331	327					3,117	2,729	114.2%
小	2面	星間	444	444	414	443	465	474	456	446	363	377	366	590	5,282	5,027	105.1%
		ナイター	1,703	1,813	2,275	1,664	1,776	2,005	1,940	1,724	1,684	1,660	1,563	2,264	22,071	21,020	105.0%
小	2面	星間	72	69	64	83	89	98	81	88	5	42	41	54	786	780	100.8%
		ナイター	554	549	436	729	829	762	563	604	62	349	313	458	6,208	5,853	106.1%
小	2面	星間	657	733	676	673	741	822	740	762	617	573	611	806	8,411	7,313	115.0%
		ナイター	4,738	6,957	6,225	5,286	5,311	7,372	6,522	7,120	4,007	3,611	3,756	4,596	65,501	66,565	98.4%
小	2面	星間	86	84	77	123	125	125	99	118	5	42	41	54	979	946	103.5%
		ナイター	767	1,089	647	1,573	1,739	1,260	902	1,149	62	349	313	458	10,308	9,346	110.3%
小	2面	星間	743	817	753	796	866	947	839	880	622	615	652	860	9,390	8,259	113.7%
		ナイター	5,505	8,046	6,872	6,859	7,050	8,632	7,424	8,269	4,069	3,960	4,069	5,054	75,809	75,911	99.9%
合計																	

令和元年度社会体育施設利用状況

(単位：回、人)

施設名	面数	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	H30年度	前年度対比		
			回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	対比
弓道場 幸田町弓道場	個人	小人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
		大人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
	小計	回数	1	2	1	1	1	1	2	1	1	3	1	0	1	9	23	52	44.2%
		人数	3	8	1	1	1	1	2	1	1	5	2	0	2	22	48	67	71.6%
	6人立ち	回数	1	2	1	1	1	1	2	1	1	3	1	0	1	9	23	52	44.2%
		人数	3	8	1	1	1	1	2	1	1	5	2	0	2	22	48	67	71.6%
	専用	回数	6	8	1	1	1	1	10	6	8	6	4	5	6	10	71	59	120.3%
		人数	48	48	5	8	71	48	61	48	48	32	40	48	48	61	518	410	126.3%
	全面	回数	18	20	28	29	20	21	21	21	21	22	26	26	19	12	257	268	95.9%
		人数	422	505	817	686	571	550	423	522	467	467	362	497	497	180	6,002	6,990	85.9%
小計	回数	24	28	29	30	30	27	29	27	27	26	31	25	22	22	328	327	100.3%	
	人数	470	553	822	694	642	598	484	570	499	499	402	545	545	241	6,520	7,400	88.1%	
合計	回数	25	30	30	31	32	27	30	30	30	27	31	26	31	31	351	379	92.6%	
	人数	473	561	823	695	644	599	485	575	501	402	547	547	402	263	6,568	7,467	88.0%	
体育館	回数	156	116	116	122	123	108	125	123	123	108	108	120	120	62	1,389	1,553	89.4%	
	人数	1,970	2,238	2,312	2,629	1,558	1,676	2,235	2,243	2,243	2,302	1,576	1,706	1,706	806	23,251	26,401	88.1%	
総利用回数			924	963	899	949	1,021	1,085	994	1,033	757	754	798	953	11,130	10,191	109.2%		
総利用人数			7,948	10,845	10,007	10,183	9,252	10,907	10,144	11,087	6,872	5,938	6,322	6,123	105,628	109,779	96.2%		

注) 本表において屋外施設は、雨天等の利用中止分を除き、利用申請書を集計したものです。屋内施設は、利用実績を集計したものです。

令和元年度学校体育施設スポーツ開放利用状況

(単位：回、人)

学校名	区分	回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	H30年度	前年度対比
			回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数
坂崎小学校	体育館	38	44	50	46	35	43	26	42	19	42	39	43	0	425	473	89.9%
	人数	867	864	1,226	977	661	842	569	973	405	973	759	1,133	0	9,276	9,898	93.7%
	運動場	9	7	10	8	8	1	9	0	9	0	1	0	0	62	103	60.2%
	人数	308	217	400	340	330	100	370	352	0	60	60	0	0	2,477	3,377	73.3%
幸田小学校	体育館	35	44	55	45	42	46	28	39	11	39	39	37	0	421	403	104.5%
	人数	717	824	1,132	887	799	841	513	699	699	765	699	802	0	8,173	8,446	96.8%
	運動場	16	5	20	16	16	16	16	18	15	18	15	18	2	173	193	89.6%
	人数	352	120	450	368	368	368	312	298	405	405	345	405	45	3,836	4,381	87.6%
中央小学校	体育館	41	47	45	54	52	59	32	32	23	43	41	45	1	483	541	89.3%
	人数	676	911	784	887	820	1,059	533	424	696	626	626	733	27	8,176	11,747	69.6%
	運動場	21	25	22	18	32	29	22	22	23	12	15	21	2	242	247	98.0%
	人数	707	908	975	630	1,056	1,065	742	390	707	390	510	750	65	8,505	8,244	103.2%
荻谷小学校	体育館	45	46	42	47	39	42	39	20	20	30	34	30	0	414	370	111.9%
	人数	976	797	734	941	713	766	881	402	624	508	657	508	0	7,999	7,407	108.0%
	運動場	8	8	10	7	9	3	12	8	8	10	6	8	0	89	106	84.0%
	人数	160	640	200	140	180	60	240	160	200	200	120	160	0	2,260	2,430	93.0%
深溝小学校	体育館	35	38	39	30	33	15	30	28	30	28	32	30	0	339	385	88.1%
	人数	813	828	1,113	777	471	717	391	568	605	603	605	603	0	7,605	8,411	90.4%
	運動場	9	7	11	8	10	11	10	7	7	10	10	10	1	101	117	86.3%
	人数	395	300	670	350	395	485	510	345	250	340	380	340	40	4,460	5,040	88.5%

学 校 名	区 分												合 計	前年度対比			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
豊坂小学校	体育館	46	51	49	43	43	45	40	24	41	35	33	0	450	521	86.4%	
	人数	871	1,009	1,127	852	808	1,022	831	534	852	761	741	0	9,408	10,720	87.8%	
	運動場	0	5	6	11	14	15	14	18	18	14	18	1	130	137	94.9%	
	人数	0	350	420	518	644	714	644	780	644	665	855	22	6,256	5,810	107.7%	
	体育館	30	37	36	28	28	31	31	31	31	28	30	22	0	332	379	87.6%
	人数	850	755	799	655	696	743	709	678	661	625	581	0	7,752	6,811	113.8%	
幸田中学校	武道場	8	11	11	10	7	14	12	10	10	13	8	0	114	140	81.4%	
	人数	152	232	231	229	132	577	237	212	173	216	82	0	2,473	3,441	71.9%	
	卓球場	8	8	10	7	10	7	8	15	30	17	13	1	134	93	144.1%	
	人数	290	330	420	210	280	210	210	457	300	440	355	20	3,522	3,509	100.4%	
	運動場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
南部中学校	体育館	30	36	38	27	29	30	26	34	29	32	19	0	330	379	87.1%	
	人数	589	582	718	558	544	624	482	599	595	607	324	0	6,222	6,791	91.6%	
	武道場	16	15	16	17	6	4	4	4	4	3	5	0	93	181	51.4%	
	人数	321	321	351	336	92	64	58	60	60	44	81	0	1,778	4,171	42.6%	
	卓球場	10	11	19	16	16	21	17	21	21	21	16	0	184	194	94.8%	
	人数	130	150	253	223	247	343	288	350	316	262	237	0	2,799	2,750	101.8%	
北部中学校	運動場	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	-	
	人数	0	0	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30	0	-	
	体育館	25	30	27	30	24	27	25	30	22	24	14	0	278	310	89.7%	
	人数	426	481	441	519	419	474	409	542	388	426	212	0	4,737	4,818	98.3%	
	武道場	3	3	5	6	14	20	15	16	21	17	15	0	135	49	275.5%	
	人数	65	41	132	140	315	396	310	341	457	379	335	0	2,911	961	302.9%	
合 計	卓球場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	-	
	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
	運動場	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	2	250.0%	
	人数	92	138	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	230	70	328.6%	
	体育館	325	373	381	350	321	356	262	222	302	306	273	1	3,472	3,761	92.3%	
	人数	6,785	7,051	8,074	7,053	5,931	7,088	5,318	4,497	6,122	5,765	5,637	27	69,348	75,049	92.4%	
総 計	武道場	27	29	32	33	27	38	31	30	34	33	28	0	342	370	92.4%	
	人数	538	594	714	705	539	1,037	605	613	674	645	498	0	7,162	8,573	83.5%	
	卓球場	18	19	29	23	26	28	25	36	51	33	29	1	318	292	108.9%	
	人数	420	480	673	433	527	553	498	807	616	702	592	20	6,321	6,349	99.6%	
	運動場	65	60	80	68	89	77	86	80	61	61	75	6	803	905	88.7%	
	人数	2,014	2,673	3,145	2,346	2,973	2,884	2,956	2,642	1,889	2,080	2,510	172	28,054	29,352	95.6%	
総 計	435	481	522	474	463	499	404	368	448	433	405	8	4,935	5,328	92.6%		
人数	9,757	10,798	12,606	10,537	9,970	11,562	9,377	8,559	9,301	9,192	9,237	219	110,885	119,323	92.9%		

注) 本表において屋外施設は、利用申請書を集計したものです。屋内施設は、利用実績を集計したものです。

各種委員名簿

(1) スポーツ協会役員

[任期]令和元年5月11日～ 2年間

職 名	所 属 等	氏 名	備 考
会 長	町 長	成 瀬 敦	
副 会 長	町議会議長	稲 吉 照 夫	
〃	教育長	小 野 伸 之	
〃	校長会代表	志 賀 浩 美	
理 事 長	幸田町少林寺拳法協会	須 原 清 俊	
副 理 事 長	幸田バドミントン協会	川 口 佳 男	
〃	幸田JrFC	露 重 一 雄	
会 計	幸田少年剣志会	夏 目 守 雄	
常 任 理 事	幸田町軟式野球連盟	岡 田 真 司	
〃	幸田町ソフトボール協会	小 山 忠 義	
〃	幸卓会	松 元 秀 夫	
〃	幸田町バレーボール連盟	鈴 木 司	
〃	幸田エイティ	足 立 恵 美	
〃	幸田町柔道会	志 賀 孝 吉	
〃	幸田ローンテニスクラブ	高 橋 初 美	
〃	幸田町弓道連盟	越 山 和 紘	
〃	幸田町少林寺拳法協会	梅 澤 基 広	
〃	幸田町グラウンド・ゴルフ協会	横 落 幸 信	
〃	幸田町組討道会	近 藤 真 吏	
監 事	幸田JrFC	眞 野 雄 大	
〃	幸田町グラウンド・ゴルフ協会	山 本 孝	

(2) スポーツ推進委員

[任期]令和2年4月1日～令和4年3月31日

学 区	氏 名	経験年数	備 考
坂 崎	金 子 忠 則	8	
	鈴 木 真 琴	4	
	浅 井 幸 子	4	
幸 田	清 水 圭 司	14	
	酒 井 順 二	4	
	中 根 真実子	4	
中 央	柏 俊 也	4	
	永 田 竜 子	4	
	鳥 居 賢	0	
荻 谷	岩 渕 初 子	24	
	浦 山 岩 夫	16	
	伊豫田 泰 孝	0	
深 溝	宇 都 聖 子	8	
	笹 野 英 一	6	
	蜂 谷 浩	6	
豊 坂	高 橋 勝 久	2	
	近 藤 あつ子	2	
	生 田 和 貴	0	

(3) 地区スポーツリーダー

(令和2年度)

◎=学区代表

学区	地区名	正・副	氏名	学区代表
坂 崎	長嶺	正	杉江 幸俊	
		副	福岡 昭	
	久保田	正	柴川 清彦	
		副	鈴木 善之	
	坂崎	正	山本 浩司	◎
		副	谷口 直也	
幸 田	大草	正	梅木 雄二	
		副	山崎 英二	
		副	宮川 知之	
	高力	正	村田 英秋	◎
		副	山本 大介	
		副	岡田 知宏	
	鷺田	正	山本 達也	
		副	吉松 竜哉	
		副	壁谷 雅資	
	新田	正	佐田 正聡	
		副	本多 飛也	
		副	榊原 秀樹	
中 央	岩堀	正	小野 勝彦	◎
		副	鈴木 伸弥	
		副	加藤 宏和	
	横落	正	鈴木 知文	
		副	馬崎 政俊	
		副	船木 茂	

学区	地区名	正・副	氏名	学区代表	
荻 谷	荻	正	稲吉 敏巳		
		副	小林 洋之		
	芦谷	正	大橋 誠		
		副	山本 恭輔		
		副	羽田野 勝徳		
	幸田	正	森迫 正和		
		副	杉浦 孝文		
	桜坂	正	江尻 良夫	◎	
副		熊田原 康智			
深 溝	里	正	池野 功一	◎	
		副	岩瀬 和人		
	市場	正	三浦 要		
		副	小林 晴裕		
	海谷	正	和田 諭		
		副	村越 勝美		
	逆川	正	春日井 裕朗		
		副	稲吉 克幸		
	豊 坂	野場	正	黒宮 弘幸	
			副	杉浦 雅一	
永野		正	鈴木 大		
		副	山本 宏晃		
須美		正	加藤 達之		
		副	平岩 正成		
六栗		正	吉山 和志		
		副	若松 彰		
上六栗		正	山本 成行	◎	
		副	大竹 茂		
桐山		副	上村 卓也		
		正	鴨下 貴典		
副	長谷 秀幸				

施設管理運営事業計画

1 重点目標

ハッピーネス・ヒル・幸田（町民会館、図書館、町民プール並びに屋外施設）は、幸田町の総合的な文化・スポーツの拠点空間として中心的役割を担っています。多くの人に利用していただけるような質の高いサービスの提供、多様なニーズへの柔軟な対応、施設間の連携を持ちながら一体的な効率運営を図るため、平成18年度から指定管理者制度を導入しました。施設の適正な管理運営への評価及び今後の指定管理の在り方を念頭に指定管理者への検査・指導等を行います。

また、公の施設として安全かつ利用しやすい施設を目指し、ハッピーネス・ヒル・幸田の修繕工事を行います。

2 令和2年度事業計画

- (1) 町民会館管理運営事業 指定管理者指定管理料（173,323,000円）
- (2) 図書館管理運営事業 指定管理者指定管理料（75,577,000円）
- (3) 町民プール管理運営事業 指定管理者指定管理料（59,000,000円）

3 ハッピーネス・ヒル・幸田 施設の概要

(1) 町民会館

施設概要

施設名称	幸田町民会館	地下1階	1,694.19㎡	
所在地	幸田町大字大草字丸山60番地	地上1階	5,557.94㎡	
電話	63-1111	地上2階	2,337.23㎡	
FAX	63-5186	地上3階	330.92㎡	
建築面積	6,096.59㎡	地上4階	72.62㎡	
延床面積	9,992.92㎡	開館日	平成8年8月30日	
建築構造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造地下1階地上4階建			
設備概要	さくらホール	固定席1,004席、車椅子席6席、親子席6席		
	つばきホール	固定席400席、車椅子席4席、親子席6席		
	あじさいホール	345.8㎡	和室	28畳
	大会議室	105.4㎡	談話室	70.8㎡
	第一中会議室	53.8㎡	スタジオ	26.0㎡
	第二中会議室	36.4㎡	喫茶室	143.8㎡
	小会議室	37.0㎡	衣裳展示室	102.1㎡
	その他	管理事務室、エントランス、機械室 他		

利用概要

利用時間	午前9時～午後10時
休館日	毎週月曜日（ただし、国民の祝日にあたる時はその翌日） 特別清掃日、年末年始（12月28日～1月4日）
使用申込みの手順	
利用施設の空き状況を電話で確認してください。	
①利用申請……………直接会館で申請書の記入をしていただきます。	
②利用申請の審査……………2～3日で申請の内容を審査いたします。	
③利用許可書の発行……………お電話で許可の旨御連絡いたします。	
④使用料の納入……………許可書のお受け取り時にお支払いください。	
⑤使用の打ち合わせ……………ホール利用の際は必ず打ち合わせを行います。	
⑥諸官公署等への届出……………使用内容によって必要な場合があります。	
⑦使用（当日）……………責任者が許可書を持って事務所に御提示ください。	

利用料金体系

ホール等施設の利用には、施設使用料（事前に支払う）と設備使用料（当日支払う）の合計額が必要となります。

①施設使用料（抜粋）

区 分		午 前		午 後		夜 間		全 日	
時 間 区 分		9:00～12:00		13:00～17:00		18:00～22:00		9:00～22:00	
利 用 区 分		平 日	土 日 祝	平 日	土 日 祝	平 日	土 日 祝	平 日	土 日 祝
ホ ー ル	さくら	16,900	21,500	22,700	28,600	27,000	33,100	60,000	75,000
	つばき	5,900	7,000	9,500	11,600	11,700	14,300	24,400	29,600
	あじさい	4,200	4,900	5,700	6,600	6,000	7,200	15,900	18,700
大 会 議 室		1,400		1,800		2,100		4,800	
第1中会議室		800		1,000		1,200		2,700	
第2中会議室		500		700		800		1,800	
小 会 議 室		400		600		700		1,500	
和 室		800		1,000		1,200		2,700	

〔備考〕

営利宣伝での利用、1,000円を超えての入場はこの表に定める2倍に相当する額とする。

②設備使用料（抜粋）

種類又は品目	単位	さくら	つばき	種類又は品目	単位	さくら	つばき
演台	1台	500	200	ピアノ	1台	5,000	3,000

〔備考〕

午前・午後・夜間それぞれの時間区分ごとの使用料とする。

(2) 図書館

施設概要

施設名称	幸田町立図書館		
所在地	幸田町大字大草字丸山8番地	地下1階	537.38 m ²
建築面積	1,591.88 m ²	地上1階	1,369.71 m ²
延床面積	2,970.67 m ²	地上2階	1,069.58 m ²
電 話	63-0001 (FAX) 63-0654	開館日	平成8年1月5日
建築構造	鉄筋コンクリート造、地下1階地上2階建		
設備概要	地下1階	閉架書庫、図書整理作業室、公用車庫 他	
	地上1階	おはなしのへや、児童コーナー、視聴覚コーナー、レストルーム 休憩・雑誌コーナー、ブラウジングコーナー、ギャラリー 事務室、対面朗読室、和室閲覧室、コントロールカウンター 他	
	地上2階	ブラウジングコーナー、サテライトカウンター、一般閲覧室 特別閲覧室、学習閲覧室（ハイビジョンシアター）、会議室 他	
蔵書収容能力：17万冊（開架9万冊、閉架8万冊）			

利用概要

開館時間	午前9時～午後7時	
休館日	毎週月曜日（ただし、国民の祝日にあたるときはその翌日）	
	館内整理日（7、8、9、12月を除く月末平日） 特別整理期間（年間15日以内）、年末年始（12月28日～1月4日）	
貸 出	個人	幸田町在住・在勤・在学者 岡崎市、蒲郡市、西尾市在住者 図書10冊、視聴覚資料2点以内、期間15日以内
	団体	館長が認める各種団体 図書100冊以内、期間30日以内
返 却	閉館中の場合、本に限りブックポストの利用も可能	

(3) 町民プール

施設概要

施設名称	幸田町民プール		本体建物	3,064.91 m ²
所在地	幸田町大字大草字丸山 89 番地		機械室	63.52 m ²
建築面積	2,806.90 m ²		屋外便所	16.74 m ²
延床面積	3,328.29 m ²		観覧所	40.98 m ²
電話	56-8111 (FAX) 56-8112		売店	28.28 m ²
建築構造	鉄骨造 2 階建 (一部平屋建)		休憩所	58.43 m ²
開館日	平成 10 年 7 月 2 日		駐輪場	55.44 m ²
設備概要	事務管理棟 1 階	エントランスホール、事務室、更衣室、シャワー室 医務室、監視員室、清掃員室、障害者更衣室及び便所 ラウンジ、採暖室 他		
	事務管理棟 2 階	トレーニング室、会議室、機械室、便所、観覧所 他		
	屋内温水プール	25m競泳用プール (7 コース)、キッズプール リラクゼーションプール 他		
	屋外プール	流水プール (125m)、造波プール、キッズプール ウォータースライダー 2 基 (70m、30m) クジラスライダー 1 基、飲食販売所 他		
	その他	濾過器置場 (3 基)、駐車場 (50 台) 駐輪場 (100 台) 他		

利用概要

利用時間	日曜日：午前 10 時～午後 6 時 土曜日、祝日、夏休みの平日：午前 10 時～午後 9 時 平日 (夏休み以外)：午後 1 時～午後 9 時 屋外プール：午後 6 時まで、トレーニング室：午前 10 時～			
利用期間	屋外プール開場期間は 6 月第 4 土曜日から 9 月第 1(2) 日曜日まで ※令和 2 年度は 7 月 12 日～9 月 13 日			
休館日	毎週月曜日 (ただし、国民の祝日にあたるときはその翌日) 特別清掃日、年末年始 (12 月 28 日～1 月 4 日)、夏休み期間中は無休			
使用料金	区 分		個人料金	団体料金
	一般利用	大人 (高校生又は義務教育終了以上の方)	500 円	400 円
		小人	小学 4 年生以上 (中学生を含む)	300 円
			小学 3 年生以下 (幼児を含む)	200 円
	特別利用	高齢者 (満 65 歳以上の方)	200 円	100 円
障がい者等		大人 (高校生又は義務教育終了以上の方)	200 円	100 円
		小人 (中学生を含む)	100 円	50 円

※令和 2 年度について、屋内及び屋外プールは 4 月から翌年 3 月まで休業します。

(4) 思索の森、センタープラザ及びその他の屋外施設

施設概要

ハッピーネス・ヒル・幸田 屋外施設	敷地面積	82,907.3 m ²
	玄関ロータリー	モニュメント「しあわせの希求」、タクシー乗り場他
	センタープラザ	屋外ステージ、センターサークル他
	思索の森	約 4,120 m ² (東屋、池、滝、橋他)
	芝生広場	上面約 30m×60m、下面約 30m×100m
	こどもひろば	ブランコ、滑り台、スプリング遊具他
	屋外トイレ	3 箇所 (身障者用 2 箇所)
	親水ゾーン	約 1,220 m ² (親水用岩場他)
	展望台	2 箇所 (図書館事務室横、会館事務室横)
	駐輪場	約 200 台 (図書館、会館、プール)
	調整池	3 箇所 (雨水排水調整機能)
	駐車場	約 580 台 (図書館、会館、プール、北駐車場他)
	その他	建物やエリアを結ぶカスケード、エントランスコート他

※詳しくは、ホームページでも、ご覧いただけます。

(5) その他

利用料金制度

これまでの施設の利用に伴う使用料などは、指定管理者制度の導入に伴い指定管理者の収入として収納事務等取扱いがされます。

(利用料金の主なもの：プール入場料、町民会館施設使用料、その他実費徴収金など)

(6) 指定管理者の変遷

指定期間	指定管理者名
平成 18 年度～平成 22 年度	幸田町文化振興協会
平成 23 年度～平成 27 年度	幸田町文化振興協会
平成 28 年度～令和 2 年度	幸田町文化振興協会

図書館 利用実績
図書資料貸出冊数 (単位：冊)

種別\年度	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
一般書	20,376	72,999	106,748	130,719	147,662	144,067	149,044	154,612	165,300	172,882	167,048	169,318	179,888	186,863	172,817	163,761	149,297	147,799	144,233	140,232	143,906	151,063	147,292	151,216	153,943
児童書	17,754	54,504	74,856	96,116	108,765	116,786	131,638	143,326	160,667	166,792	165,639	163,891	170,511	172,020	158,053	151,298	148,866	144,966	140,254	139,676	148,686	172,590	176,667	190,088	197,707
その他	5,788	20,171	35,825	50,669	58,387	63,184	74,327	78,713	95,028	101,419	100,631	96,848	98,021	93,043	83,715	80,487	79,252	74,775	72,174	69,388	73,813	76,015	74,147	76,425	73,316
貸出冊数	43,918	147,674	217,429	277,504	315,814	324,067	355,009	378,661	421,685	441,073	433,318	430,057	449,400	452,026	414,615	395,546	377,015	367,540	356,661	349,286	366,402	399,638	388,106	417,729	424,966

※その他：雑誌、視聴覚資料

図書資料蔵書冊数 (単位：冊)

種別\年度	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
一般書	36,138	46,047	58,591	67,740	72,965	77,899	82,996	87,797	92,451	96,464	101,016	105,148	109,615	114,483	118,783	123,324	127,888	129,914	132,384	134,004	135,089	136,288	137,675	138,337	139,020
児童書	12,593	15,454	18,861	21,309	22,844	24,659	26,773	29,276	32,131	34,888	37,206	39,008	40,970	43,171	45,023	46,619	48,139	49,730	50,086	51,515	53,236	52,552	53,471	53,857	53,788
郷土、古書	835	1,294	2,038	5,465	7,884	8,039	8,134	8,282	8,771	9,130	9,284	9,497	9,519	9,838	9,919	10,160	10,468	10,713	10,823	11,000	11,279	11,439	11,745	11,945	12,169
視聴覚資料	1,274	1,967	2,789	3,489	4,115	4,851	5,389	6,280	7,068	7,788	8,466	9,079	9,682	10,234	10,811	11,403	11,966	11,529	11,819	12,364	12,175	12,389	11,797	12,119	12,394
蔵書総数	50,840	66,722	82,879	98,003	107,808	115,848	124,292	134,615	140,421	148,280	155,972	162,782	169,786	177,481	184,566	191,166	197,301	201,886	205,112	208,373	211,779	212,628	214,688	216,238	211,361

町民プール 利用実績 比較
トレーニング室、会議室利用者数 (単位：人)

年度	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
トレーニング室	8,967	14,570	14,800	16,187	16,543	18,817	18,082	17,202	16,700	14,962	14,615	15,494	14,237	13,962	13,492	14,172	15,039	16,665	18,106	19,418	18,690	6,233
会議室	633	937	816	2,993	4,370	5,517	5,513	5,861	8,417	8,757	9,534	9,304	9,892	9,502	10,418	9,499	10,301	10,885	11,257	11,793	12,253	5,207

シーズン別 (7月～8月) 利用者数 (単位：人)

区分\年度	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
7～8月利用者数	92,940	91,417	88,726	67,991	66,290	58,948	62,305	57,895	60,922	58,231	61,729	59,238	63,445	61,033	57,241	60,232	50,857	56,656	58,978	58,909	56,201	2,446
その他の月利用者数	40,369	87,780	78,489	74,362	75,841	79,185	73,681	69,812	61,231	66,662	60,038	60,514	58,417	55,077	57,708	59,573	61,669	60,942	66,810	67,104	63,734	3,777
年度計	133,309	179,197	167,215	142,353	142,101	138,133	135,986	127,707	122,153	124,893	121,767	119,752	121,862	116,110	114,949	119,805	112,526	117,588	125,788	126,013	119,935	6,233
プール入場料 総計 (円)	51,791,300	67,145,900	60,299,200	51,766,200	51,624,500	49,893,600	47,946,800	45,188,900	43,339,750	43,379,200	42,038,000	41,143,700	40,976,300	39,185,900	37,349,700	39,640,900	37,245,500	39,242,700	41,539,100	39,786,500	38,074,700	1,859,100

(2) 町民会館 令和元年度 町民会館 利用実績表

利用状況	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計		平均		稼働日数				
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	日	稼働率			
開館日数			26日	27日	26日	27日	26日	27日	23日	27日	26日	23日	23日	27日	26日	26日	23日	23日	26日	23日	23日	25日	26日	26日	305日								
さくらホール	33回	2,960	27回	4,556	39回	5,794	42回	5,366	56回	3,483	39回	7,188	44回	7,272	48回	6,721	40回	6,900	37回	4,422	41回	4,564	10回	114	456回	38.0回	1.5回	206日	67.5%				
つばきホール	41回	3,736	31回	1,798	32回	2,283	47回	2,988	61回	2,293	31回	2,353	37回	2,995	44回	2,896	45回	2,711	29回	1,736	37回	2,146	5回	542	440回	36.7回	1.4回	201日	65.9%				
あじさいホール	46回	2,451	38回	1,878	51回	3,100	46回	2,818	40回	2,017	38回	2,314	56回	2,819	46回	3,259	43回	2,355	34回	1,809	46回	1,953	5回	134	489回	40.8回	1.6回	223日	73.1%				
リハーサル室	12回	255	15回	253	6回	144	13回	206	20回	265	21回	327	33回	783	35回	753	15回	262	30回	580	32回	655	7回	77	239回	19.9回	0.8回	141日	46.2%				
大会議室	29回	476	24回	366	26回	504	32回	616	32回	489	31回	484	32回	455	44回	616	27回	325	31回	602	27回	301	12回	128	347回	28.9回	1.1回	17.6日	①稼働率=稼働日数÷開館日数				
第1中会議室	15回	84	14回	74	13回	80	25回	132	19回	107	21回	121	20回	128	29回	90	15回	98	19回	98	17回	105	4回	33	214回	17.8回	0.7回	3.8日	②1日は単位として集計。				
第2中会議室	25回	135	16回	93	17回	73	27回	116	20回	99	26回	121	22回	87	26回	83	21回	91	14回	67	11回	79	7回	43	232回	19.3回	0.8回	3.6日					
小会議室	20回	81	24回	93	18回	52	31回	95	26回	84	34回	155	21回	70	29回	87	18回	99	18回	88	17回	91	10回	36	266回	22.2回	0.9回	3.4日					
和室	7回	50	4回	20	7回	50	15回	136	15回	75	13回	90	13回	120	22回	160	13回	60	8回	40	5回	24	0回	0	122回	10.2回	0.4回	2.7日					
楽屋 単独利用	25回	218	23回	198	25回	199	60回	330	90回	486	16回	156	15回	124	24回	166	15回	112	28回	187	26回	146	0回	0	347回	28.9回	1.1回	7.6日					
ピアノ庫、ホワイエ 単独利用	0回	0	0回	0	0回	0	0回	0	3回	200	0回	0	0回	0	0回	0	0回	0	0回	0	1回	6	0回	0	4回	0.3回	0.0回	0.7日					
(回数)	253回	10,446	216回	9,329	234回	12,279	341回	12,803	382回	9,598	270回	13,309	293回	14,853	347回	14,831	252回	13,013	248回	9,629	260回	10,070	60回	1,107	3,156回	263.0回	10.3回	430.6日					
合計(人数)																																	
実績比較																																	
(回数)	239回	13,101	185回	8,079	296回	14,667	289回	11,215	351回	10,655	248回	9,884	238回	10,812	292回	13,494	265回	11,404	219回	9,169	206回	8,598	275回	11,672	3,103回	258.6回	10.2回	434.7日					
H30																																	
(回数)	14回		31回		-62回		52回		31回		22回		55回		55回		-13回		29回		54回		-215回		53回								
差																																	
前年度比較(%)	105.9%	116.8%	116.8%	118.0%	108.8%	79.1%	118.0%	114.2%	108.8%	95.5%	108.9%	134.7%	123.1%	137.4%	118.8%	109.9	95.1%	114.1	113.2%	105.0	126.2%	117.1	-10.565	21.8%	101.7%								
比較(%)																																	

ジャンル別 利用実績表

(単位：回数)

ジャンル	月 別												合計 (3ホ-ル)	構成比 (%)	内 訳		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			さくら	つばき あじさい	
吹奏楽・コンクール	0	4	3	33	29	2	4	17	17	16	17	0	142	10.2	103	36	3
演劇	0	6	11	13	5	3	0	3	5	0	6	0	52	3.8	25	18	9
音楽・ピアノ発表会	25	10	27	19	43	30	17	11	29	19	44	2	276	19.9	54	164	58
日舞・洋舞・ダンス	34	7	12	9	20	30	22	9	3	5	11	0	162	11.7	78	58	26
大会・総会・式典	8	9	11	1	2	4	18	10	2	14	3	5	87	6.3	36	20	31
展示・即売会	3	11	3	5	9	0	13	13	6	0	6	0	69	5.0	0	0	69
会議・説明会	6	5	4	4	4	4	4	2	5	4	4	1	47	3.4	0	3	44
教室・講習・研修会	4	5	4	11	12	2	8	5	0	3	4	0	58	4.2	7	34	17
和太鼓・大正琴・古典	0	7	4	0	0	2	4	9	6	1	2	0	35	2.5	0	26	9
カラオケ発表会	0	2	3	6	0	2	2	13	2	0	0	0	30	2.2	0	12	18
パーティー・懇親会	10	0	2	3	0	2	0	0	1	4	0	0	22	1.6	0	0	22
演歌・歌謡・コンサート	6	6	6	9	4	10	4	9	7	4	4	0	69	5.0	17	2	50
講演会	9	0	7	6	0	2	0	0	2	2	1	0	29	2.1	11	8	10
オペラ・声楽	5	3	4	5	3	5	6	3	4	6	1	0	45	3.2	25	13	7
映画	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0.2	3	0	0
結婚式	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0
その他	10	18	21	11	26	10	35	34	39	22	21	12	259	18.7	97	46	116
合計	120	96	122	135	157	108	137	138	128	100	124	20	1,385	100.0	456	440	489

(3) 図書館

蔵書構成

(単位：冊)

種別	29年度末 蔵書数	30年度末 蔵書数	元年度末 蔵書数	元年度受入冊数			除籍	全資料 対比 (%)
				購入	寄贈他	計		
0 総記	4,849	4,889	5,014	130	1	131	6	2.4%
1 哲学	5,457	5,323	5,390	118	3	121	54	2.5%
2 歴史	11,979	11,805	11,531	343	9	352	626	5.5%
3 社会科学	20,940	21,433	17,907	589	19	608	4,134	8.5%
4 自然科学	12,095	10,978	11,160	316	40	356	174	5.3%
5 技術	13,704	12,804	12,258	391	10	401	947	5.8%
6 産業	6,395	4,814	4,977	166	1	167	4	2.3%
7 芸術	12,019	12,216	12,532	282	46	328	12	5.9%
8 言語	2,549	2,596	2,650	54	0	54	0	1.3%
9 文学+小説	33,481	34,079	34,962	892	13	905	22	16.5%
文庫	14,207	14,400	14,639	212	89	301	62	6.9%
一般書 計	137,675	135,337	133,020	3,493	231	3,724	6,041	62.9%
0 総記	700	465	492	27	1	28	1	0.2%
1 哲学	455	398	421	25	1	26	3	0.2%
2 歴史	2,571	2,029	2,137	80	36	116	8	1.0%
3 社会科学	2,336	2,229	1,990	79	6	85	324	0.9%
4 自然科学	4,235	4,346	4,217	132	14	146	275	2.0%
5 技術	1,765	1,817	1,435	43	9	52	434	0.7%
6 産業	1,032	1,058	911	30	7	37	184	0.4%
7 芸術	2,853	3,072	2,658	106	3	109	523	1.3%
8 言語	641	658	576	19	0	19	101	0.3%
9 文学	14,386	14,525	14,895	372	34	406	36	7.1%
絵本	20,936	21,674	22,461	785	97	882	95	10.6%
紙芝居	1,561	1,566	1,575	9	0	9	0	0.8%
児童書 計	53,471	53,837	53,768	1,707	208	1,915	1,984	25.5%
点字	285	291	305	0	14	14	0	0.1%
郷土資料	5,480	5,674	5,884	6	188	194	0	2.8%
古書	5,980	5,980	5,980	0	0	0	0	2.8%
図書 合計	202,891	201,119	198,957	5,206	641	5,847	8,025	94.1%
CD	7,475	7,668	7,832	165	1	166	2	3.7%
カセットテープ	274	290	305	0	15	15	0	0.1%
ビデオテープ	55	55	55	0	0	0	0	0.1%
レーザーディスク	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
DVD	3,993	4,106	4,202	107	12	119	23	2.0%
視聴覚 合計	11,797	12,119	12,394	272	28	300	25	5.9%
総計	214,688	213,238	211,351	5,478	669	6,147	8,050	100.0%

月別利用状況

貸出総数内訳

月	開館日数 (日)	貸出者数 (人)	貸 出 冊 数 (冊)				
			合 計	一般書	児童書	雑誌	視聴覚
4	25	8,669	33,873	12,729	14,911	2,738	3,495
5	26	8,221	31,669	11,857	14,061	2,551	3,200
6	25	9,398	37,112	12,478	18,018	2,933	3,683
7	26	10,307	41,294	13,422	21,446	2,764	3,662
8	27	11,130	43,517	14,838	21,826	2,907	3,946
9	21	6,840	27,884	10,600	12,305	2,082	2,897
10	26	9,052	35,094	12,960	15,767	2,816	3,551
11	25	8,904	34,176	12,679	15,204	2,964	3,329
12	23	8,115	32,947	11,745	15,474	2,618	3,110
1	22	7,588	30,501	11,487	13,902	2,394	2,718
2	24	9,298	36,686	13,379	16,840	3,006	3,461
3	25	8,113	40,213	15,769	17,953	2,396	4,095
合計	295	105,635	424,966	153,943	197,707	32,169	41,147
1日平均		358	1,441	522	670	109	139

校区別利用状況

校区	年代	幼児	小中高生	一 般			合 計
		～6才	7～18才	19～40才	41～60才	61才～	
坂崎小	貸出者数	376	993	972	1,203	928	4,472
	〃 冊数	2,311	5,205	4,877	5,046	3,193	20,632
幸田小	貸出者数	1,459	4,468	4,493	5,030	3,988	19,438
	〃 冊数	8,492	20,200	20,823	19,426	11,797	80,738
中央小	貸出者数	891	2,589	3,381	4,885	3,262	15,008
	〃 冊数	5,217	12,724	16,453	16,096	9,544	60,034
荻谷小	貸出者数	417	1,113	1,089	2,160	1,308	6,087
	〃 冊数	2,708	6,086	4,883	7,714	4,442	25,833
深溝小	貸出者数	329	821	1,693	1,358	1,577	5,778
	〃 冊数	1,869	3,880	6,481	4,474	4,353	21,057
豊坂小	貸出者数	570	1,114	1,796	2,338	1,566	7,384
	〃 冊数	3,296	5,397	7,994	8,019	4,678	29,384
合 計	貸出者数	4,042	11,098	13,424	16,974	12,629	58,167
	〃 冊数	23,893	53,492	61,511	60,775	38,007	237,678

(4) 町民プール
令和元年度町民プール利用状況
(プール利用状況)

(単位：人)

区分	月 別 利 用 者 数												平均利用者数等		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	日平均
開館日数	26日	27日	26日	28日	31日	0日	0日	0日	0日	0日	0日	0日	138日	12日	—
大 人	433	412	374	323	371	0	0	0	0	0	0	0	1,913	159	14
女	260	242	212	208	169	0	0	0	0	0	0	0	1,091	91	8
計	693	654	586	531	540	0	0	0	0	0	0	0	3,004	250	22
小 人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小(小4年以上)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小 人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小(小3年以下)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	693	654	586	531	540	0	0	0	0	0	0	0	3,004	250	22
特 高 齢 者	395	382	429	447	442	0	0	0	0	0	0	0	2,095	175	15
女	200	180	166	186	220	0	0	0	0	0	0	0	952	79	7
計	595	562	595	633	662	0	0	0	0	0	0	0	3,047	254	22
障 害 者 等	17	24	29	36	38	0	0	0	0	0	0	0	144	12	1
女	8	14	10	3	3	0	0	0	0	0	0	0	38	3	0
計	25	38	39	39	41	0	0	0	0	0	0	0	182	15	1
障 害 者 等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	620	600	634	672	703	0	0	0	0	0	0	0	3,229	269	23
大 人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(含65歳以上)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小 人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(小4年以上)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小 人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(小3年以下)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障 害 者 等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(大人・小人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総 合 計	845	818	832	806	851	0	0	0	0	0	0	0	4,152	346	30
女	468	436	388	397	392	0	0	0	0	0	0	0	2,081	173	15
計	1,313	1,254	1,220	1,203	1,243	0	0	0	0	0	0	0	6,233	519	45
日平均利用者数	51	46	47	43	40	0	0	0	0	0	0	0	45	—	—

(トレーニング室利用状況) ※プール利用者の内数である。(単位：人)

トレーニング室利用	845	843	840	806	851	0	0	0	0	0	0	0	4,185	349	30
女	468	411	380	397	392	0	0	0	0	0	0	0	2,048	171	15
計	1,313	1,254	1,220	1,203	1,243	0	0	0	0	0	0	0	6,233	519	45
日平均利用者数	51	46	47	43	40	0	0	0	0	0	0	0	45	—	—

(会議室利用状況) (単位：人)

利用団体	70	70	79	81	71	0	0	0	0	0	0	0	371	31	1回平均
及び人員	1,014	985	1,125	1,151	932	0	0	0	0	0	0	0	5,207	434	14.0

※令和元年度の幸町民プールの改修工事に伴う休館期間
・屋内及び屋外プール：4月～翌年3月 ・トレーニング室及び会議室：9月～翌年3月

(5) 文化振興協会

令和元年度 幸田町文化振興協会 自主事業実施一覧表 (抜粋)

	事業名	年月日	開演	会場	入場者数
町民会館自主事業	音楽宅配事業	随時	—	各小学校	994
	演劇宅配事業	随時	—	各小学校	468
	あじさいコンサート 12回/年	月1回	19:00~	あじさい	1,609
	うたごえ喫茶あじさい	月1回	13:30~	あじさい	1,598
	うたごえサロンあじさい	月1回	13:30~	あじさい	553
	ハピネス・ヒル ワンコインコンサート	年8回	11:30~	つばき	2,653
	わくわくキッズフェスティバル2019	5月3日(金)	10:00~	全館	7,000
	美輪明宏講演会	6月30日(日)	17:00~	さくら	976
	岸谷香 KAORI PARADISE 2019	9月28日(土)	16:00~	さくら	875
	第20回ハピネス・ヒル音楽祭	10月6日(日)	13:00~	さくら	719
	三山ひろしコンサート	11月16日(土)	13:00~ 17:00~	さくら	1,508
	財津和夫コンサート	12月1日(日)	17:30~	さくら	947
	男の純情	2月27日(木)	19:00~	つばき	131
プール自主事業	体力測定&トレーニングアドバイス	5月19日(日)	10:00~	会議室	19
	親子エクササイズ	6月2日(日)	10:30~	会議室	16
	健康講座(全4回)	10月~11月	10:00~	町民会館	104
	親子ヨガ	11月9日(土)	10:30~	町民会館	8
	楽々エクササイズ	I期~IV期	—	会議室 町民会館	3,032
	ヨガ教室	I期~IV期	—	会議室 町民会館	2,480
	ストリートダンス教室	月4回(火・水)	16:30~ 18:00~	会議室 町民会館	2,895
	パラパラ教室	4月~8月	19:30~	会議室 町民会館	62
図書館自主事業	おはなし会	通年	—	おはなしのへや	1,861
	アウトリーチおはなし会	通年	—	館外	746
	小学校図書館利用学習会	4月~3月	—	図書館	517
	マジックと音楽と絵本のコンサート	6月9日(日)	13:30~	あじさい	239
	今日から始める初心者のための速読術	6月4日(火) 6月11日(火)	19:00~	学習閲覧室	68
	「すらすら書ける読書感想文」教室	7月6日(土)	10:00~	学習閲覧室	33
	ウィキペディアタウンin幸田	10月13日(日)	10:00~	郷土資料館	8
	図書館文学講座「美を見つめ続けた人 小林秀雄」	11月13日(水) 11月20日(水)	10:00~	学習閲覧室	52
	本の福袋	1月5日(日)	9:00~	図書館	40
	ビブリオバトル	1月13日(月)	10:00~	ギャラリー	14
	郷土史講座	1月23日(木) 1月30日(木)	10:00~	学習閲覧室	55

参 考 資 料

- ・ 幸田町いじめ防止基本方針 P 1
- ・ 幸田町子ども読書活動推進計画（第二次）（概要） P 12
- ・ 幸田町子どもの権利に関する条例（抜粋） P 13

幸田いじめ防止基本方針

幸田町・幸田町教育委員会

平成27年1月策定

平成30年2月改定

はじめに	1
第1 いじめの防止等に関する基本的な考え方	1
1 いじめ防止等の対策に関する基本理念	1
2 いじめの定義	2
3 いじめの理解	3
第2 いじめの防止等のために本町が実施する施策	3
1 幸田町いじめ・不登校対策協議会の設置	3
2 教育委員会の附属機関の設置	3
3 町の取組	4
(1)いじめの未然防止	4
(2)いじめの早期発見	4
(3)いじめに対する措置	5
第3 いじめ防止等のために学校が実施する施策	5
1 学校いじめ防止基本方針の策定	5
2 学校の組織作り	6
3 学校の取組	6
(1)いじめの未然防止	6
(2)いじめの早期発見	6
(3)いじめに対する措置	7
第4 重大事態への対処	7
1 学校及び教育委員会の対応	7
2 町長による再調査及び再調査を踏まえた措置	8
【参考】いじめ防止対策推進法 ※関係条項抜粋	9

はじめに

いじめは、いじめを受けた児童生徒の教育を受ける権利を著しく侵害し、その心身の健全な成長及び人格の形成に重大な影響を与えるのみならず、その生命又は身体に重大な危険を生じさせるおそれがあるものである。

いじめから一人でも多くの子供を救うためには、子供を取り囲む大人一人一人が、「いじめは絶対に許されない」、「いじめは卑怯な行為である」、「いじめはどの子供にも、どの学校でも起こりうる」との意識を持ち、それぞれの役割と責任を自覚しなければならない。

そこで、平成25年9月28日に施行された「いじめ防止対策推進法」(平成25年法律第71号。以下「法」という。)第12条の規定に基づき、本町においても、これまでの取組の積み重ねを踏まえて、いじめ防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進するための基本的な方針(以下「幸田町いじめ防止基本方針」という。)を策定するものである。

第1 いじめの防止等に関する基本的な考え方

1 いじめ防止等の対策に関する基本理念

法第3条にあるように、いじめは、全ての児童生徒に関係する問題である。いじめの防止等の対策は、全ての児童生徒が安心して学校生活を送り、様々な活動に取り組むことができるよう、学校の内外を問わず、いじめが行われなくなるようにすることを旨として行わなければならない。

また、全ての児童生徒がいじめを行わず、いじめを認識しながら放置することがないよう、いじめの防止等の対策は、いじめが、いじめられた児童生徒の心身に深刻な影響を及ぼす許されない行為であることについて、児童生徒が十分に理解できるようにすることを旨としなければならない。

加えて、いじめ防止等の対策は、いじめを受けた児童生徒の生命・心身を保護することが特に重要であることを認識しつつ、町、学校、地域住民、家庭その他の関係者の連携の下、いじめの問題を克服することを目指して行わなければならない。

2 いじめの定義

法第2条にあるように、「いじめ」とは、「児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と一定の人的関係※1にある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響※2を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの」をいう。

個々の行為が「いじめ」に当たるか否かの判断は、表面的・形式的にすることなく、いじめられた児童生徒の立場に立つことが必要である。この際、いじめには、多様な態様があることを考慮し、法の対象となるいじめに該当するか否かを判断するに当たり、「心身の苦痛を感じているもの」との要件が限定して解釈されることのないよう努めることが大切である。

※1「一定の人的関係」とは、学校の内外を問わず、同じ学校・学級や部活動の児童生徒、当該児童生徒が関わっている塾やスポーツクラブ等の仲間や集団（グループ）など、当該児童生徒との何らかの人間関係がある状態を指す。

※2「物理的な影響」とは、身体的な影響のほか、金品をたかられたり、隠されたり、嫌なことを無理矢理させられたりすることなどを意味する。けんかやふざけ合いであっても、見えない所で被害が発生している場合もあるため、背景にある事情の調査を行い、児童生徒の感じる被害性に着目し、いじめに該当するか否かを判断するものとする。

具体的ないじめの態様は、以下のようなものがある。

- 冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。
- 仲間はずれ、集団による無視をされる。
- 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。
- ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする。
- 金品をたかられる。
- 金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。
- 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。
- パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷や嫌なことをされる。 等

3 いじめの理解

いじめは、どの子供にも、どの学校にも起こりうるものである。とりわけ、嫌がらせやいじわる等の「暴力を伴わないいじめ」は、多くの児童生徒が入れ替わりながら被害も加害も経験する。

「暴力を伴わないいじめ」であっても、何度も繰り返されたり多くの者から集中的に行われたりすることで、「暴力を伴ういじめ」とともに、生命又は心身に重大な危険を生じさせうる。

いじめの加害・被害という二者関係だけでなく、学級や部活動等の所属集団の構造上の問題（例えば無秩序性や閉塞性）、「観衆」としてはやし立てたり面白がったりする存在や、周辺で暗黙の了解を与えている「傍観者」の存在にも注意を払い、集団全体にいじめを許容しない雰囲気形成されるようにすることが必要である。

第2 いじめの防止等のために本町が実施する施策

1 幸田町いじめ・不登校対策協議会の設置

- ① 町は、法第14条第1項の趣旨を踏まえ、いじめの防止等に関する機関の連携を図るため、学校、教育委員会、医師会、児童相談所、人権擁護委員、岡崎警察署、町教育相談室等の関係者を構成員とする「幸田町いじめ・不登校対策協議会」を設置する。
- ② 「幸田町いじめ・不登校対策協議会」では、いじめ問題等に対処するため、その指導及び防止の在り方について総合的に検討し、児童生徒の健全育成を図る。また、本町のいじめの防止等に関する取組が、幸田町いじめ防止基本方針に基づき、実効的に行われているかを点検し、今後の取組や施策の充実に生かす。
- ③ 町は、「幸田町いじめ・不登校対策協議会」での連携が、学校におけるいじめ防止等に活用されるよう、町教育委員会との連携を図るために、必要な措置を講じる。

2 教育委員会の附属機関の設置

- ① 法第14条第3項に基づき、学校におけるいじめの防止等の対策を実効的に行うた

めに、教育委員会の附属機関として、条例により、「幸田町いじめ防止対策委員会」を設置する。この附属機関は、専門的知識及び経験を有する第三者をもって構成し、その公平性・中立性を確保する。

- ② 教育委員会が、法第28条第1項に規定する重大事態※3に係る調査を行う必要が生じた場合には、この附属機関により調査を行う。

※3「重大事態」（法第28条第1項）とは

- 一 いじめにより当該学校に在籍する児童等の生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑いがあると認めるとき。
- 二 いじめにより当該学校に在籍する児童等が相当の期間（年間30日を目安とする。）学校を欠席することを余儀なくされている疑いがあると認めるとき。

3 町の取組

(1) いじめの未然防止

- ① 児童生徒の豊かな情操と道徳心を培い、心の通う人間関係を構築する能力の素地を養うことが、いじめの防止に資することを踏まえ、全ての教育活動を通じた道徳教育及び体験活動の充実を図る。
- ② いじめ防止に資する活動であって、児童生徒が自主的に行うものに対する支援を行う。
- ③ 児童生徒及びその保護者並びに学校の教職員に対して、いじめを防止することの重要性に関する理解を深めるための啓発を行う。
- ④ 教職員に対し、いじめの防止等に関する研修の実施等、資質能力の向上に必要な措置を講ずる。
- ⑤ 児童生徒や保護者が、インターネットを通じて行われるいじめの防止と効果的な対処ができるよう、必要な啓発活動を実施する。

(2) いじめの早期発見

- ① 「幸田町教育相談室」等の相談窓口を設置し、いじめに悩む子供や保護者の相談に対応する。また、相談者の意向を踏まえ、問題解決に向けての対応を積極的に進める。

- ② 児童生徒が、悩みを直接相談できる窓口の周知を図り、相談しやすい環境を充実させる。
- ③ 児童生徒に対する定期的な調査その他必要な措置を講ずるよう、学校に対する指導・助言を行う。

(3) いじめに対する措置

- ① 法第23条第2項の規定による学校からの報告を受けたときは、必要に応じ、当該学校に対し必要な支援を行い、若しくは必要な措置を講ずることを指示し、又は当該報告に係る事案について自ら必要な調査を行う。
- ② いじめを受けた児童生徒その他の児童生徒が安心して教育を受けられるようにするために、必要な措置を速やかに講じる。
- ③ いじめが犯罪行為として取り扱われると認めるときは警察と連携して対処することや、児童生徒の生命、心身又は財産に重大な被害を生じる恐れがあるときは直ちに警察に通報し、適切に援助を求める必要があることを、学校に指導・助言するとともに、自らも警察と適切に連携し対応にあたる。

第3 いじめの防止等のために学校が実施する施策

1 学校いじめ防止基本方針の策定

法第13条に基づき、各学校は「学校いじめ防止基本方針」を策定する（以下「学校基本方針」という。）。

学校基本方針には、いじめの情報共有の手順及び情報共有すべき内容を明確に定め、いじめの防止、いじめの早期発見、いじめへの対処など、いじめの防止等全体に係る内容を盛り込む。

その内容は、入学時、各年度の開始時に児童生徒、保護者、関係機関等に説明するとともに、確認できるような措置を講ずる。

また、学校いじめ防止基本方針に基づく取組の実施状況を学校評価の評価項目に位置付けるとともに、その評価結果を踏まえて、学校基本方針の見直しやいじめ防止等のための取組の改善を図る。

2 学校の組織作り

法第22条に基づき、学校は、いじめ問題等に組織的に対応するため、「いじめ・不登校対策委員会」を設置する。

構成員は、校長、教頭、教務主任、校務主任、学年主任、生徒指導担当、養護教諭、スクールカウンセラー等の他、学校の実情に応じて校長が決定する。

また、学校がいじめ等の調査を行う場合は、本組織を母体としつつ、必要な構成員を加えることができる。

3 学校の取組

(1) いじめの未然防止

- ① 児童生徒同士の関わりを大切にし、互いに認め合い、共に成長していく学級づくりを勧める。
- ② 教育活動全体を通して、道徳教育や人権教育の充実を図るとともに、読書活動・体験活動を推進し、児童生徒の社会性を育み、豊かな情操を培う。
- ③ 情報モラル教育を推進し、児童生徒がネットの正しい利用とマナーについての理解を深め、ネットいじめの加害者、被害者とならないよう継続的に指導する。
- ④ 児童会・生徒会において、いじめ撲滅や命の大切さを呼びかける活動や、相談箱を置く活動等、児童生徒の主体的な活動を推進する。

(2) いじめの早期発見

- ① いじめアンケートや個別面談等を定期的実施し、児童生徒の小さなサインを見逃さないように努める。
- ② 教職員と児童生徒との温かい人間関係づくりや、保護者との信頼関係づくりに努め、いじめ等について相談しやすい体制を整える。
- ③ 休み時間や放課後の雑談の中などで児童生徒の様子に目を配ったり、個人ノートや生活ノート、日記等を活用して交友関係や悩みを把握したりする。

(3) いじめに対する措置

- ① 発見・通報を受けた場合には、特定の教職員で抱え込まず、速やかに、「いじめ・不登校対策委員会」に情報を報告し、組織的に対応して、被害児童生徒を徹底して守り通す。
- ② 必要に応じて、幸田町教育相談室相談員・スクールカウンセラー等の専門家や、警察署・児童相談所等の関係諸機関の協力を得る。
- ③ ネット上のいじめへの対応については、必要に応じて、法務局に協力を求めたり、警察署に連絡し援助を求めたりする。
- ④ 各教職員は、「いじめ・不登校対策委員会」の定めた方針等に沿って、いじめに係る情報を適切に記録しておく。
- ⑤ いじめが「解消している」状態に至った場合でも、当該いじめの被害児童生徒及び加害児童生徒を日常的に注意深く観察するなど、再発防止に努める。

第4 重大事態への対処

1 学校及び教育委員会の対応

- ① 学校は、重大事態が発生した場合、教育委員会を通じて町長に、事態発生について報告する。
- ② 教育委員会は、学校から重大事態の報告を受けた場合、その事案の調査を行う主体や調査組織について判断する。
- ③ 学校が調査を行う場合、「いじめ・不登校対策委員会」を母体として調査や対応を行う。教育委員会は学校の調査及び対応を指導・助言する。
- ④ 教育委員会が調査を行う場合、「幸田町いじめ防止対策委員会」が調査を行う。
- ⑤ この調査は、事実関係を明確にするための調査（背景事情、人間関係における問題、学校・教職員の対応など）であって、因果関係を特定し、民事・刑事上の責任追及やその他の訴訟等への対応を直接目的とするものではなく、学校及び教育委員会が、事実に向き合うことで、当該事態への対処や同種の事態の発生防止を図るものである。

- ⑥ 学校又は教育委員会が調査を行った場合、当該調査に係るいじめを受けた児童生徒及びその保護者に対し、事実関係等その他の必要な情報提供を適切に行うとともに、他の児童生徒のプライバシー保護に配慮するなど、関係者の個人情報の取り扱いには十分配慮する。
- ⑦ 調査の結果については、学校は教育委員会を通じて町長に報告する（法第30条第1項）。

2 町長による再調査及び再調査を踏まえた措置

- ① 町長は、学校や教育委員会が行った調査（法第28条第1項）の結果について報告を受けた場合、当該重大事態への対処又は当該重大事態と同種の事態の発生の防止のため必要があると認めるときは、専門的な知識及び経験を有する第三者等の参加による附属機関（「幸田町いじめ問題調査委員会」）により調査の結果について調査（以下、「再調査」という。）を行う（法第30条第2項）。
- ② 再調査を行った場合、個人のプライバシーに対して必要な配慮を確保した上で、町長はその結果を議会に報告する（法第30条第3項）。
- ③ 再調査を行った場合、町長又は教育委員会は、再調査の結果を踏まえ、指導主事や専門家を派遣するなど、自らの権限及び責任において、当該調査に係る重大事態への対処又は当該重大事態と同種の事態の発生の防止のために必要な措置を講じる。

【参考】

いじめ防止対策推進法（平成25年9月28日施行）※関係条項抜粋

いじめ防止対策推進法

目次

第1章 総則（第1条—第10条）

第2章 いじめ防止基本方針等（第11条—第14条）

第3章 基本的施策（第15条—第21条）

第4章 いじめの防止等に関する措置（第22条—第27条）

第5章 重大事態への対処（第28条—第33条）

第6章 雑則（第34条・第35条）

附則

第1章 総則

（定義）

第2条 この法律において「いじめ」とは、児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であつて、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。

2 この法律において「学校」とは、学校教育法（昭和22年法律第26号）第1条に規定する小学校、中学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校（幼稚部を除く。）をいう。

3 この法律において「児童等」とは、学校に在籍する児童又は生徒をいう。

4 この法律において「保護者」とは、親権を行う者（親権を行う者のないときは、未成年後見人）をいう。

（基本理念）

第3条 いじめの防止等のための対策は、いじめが全ての児童等に関係する問題であることに鑑み、児童等が安心して学習その他の活動に取り組むことができるよう、学校の内外を問わずいじめが行われなくなるようにすることを旨として行われなければならない。

2 いじめの防止等のための対策は、全ての児童等がいじめを行わず、及び他の児童等に対して行われるいじめを認識しながらこれを放置することがないようにするため、いじめが児童等の心身に及ぼす影響その他のいじめの問題に関する児童等の理解を深めることを旨として行われなければならない。

3 いじめの防止等のための対策は、いじめを受けた児童等の生命及び心身を保護することが特に重要であることを認識しつつ、国、地方公共団体、学校、地域住民、家庭その他の関係者の連携の下、いじめの問題を克服することを目指して行われなければならない。

第2章 いじめ防止基本方針等

（地方いじめ防止基本方針）

第12条 地方公共団体は、いじめ防止基本方針を参酌し、その地域の実情に応じ、当該地方公共団体におけるいじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進するための基本的な方針（以下「地方いじめ防止基本方針」という。）を定めるよう努めるものとする。

(学校いじめ防止基本方針)

第13条 学校は、いじめ防止基本方針又は地方いじめ防止基本方針を参酌し、その学校の実情に応じ、当該学校におけるいじめの防止等のための対策に関する基本的な方針を定めるものとする。

(いじめ問題対策連絡協議会)

第14条 地方公共団体は、いじめの防止等に関係する機関及び団体の連携を図るため、条例の定めるところにより、学校、教育委員会、児童相談所、法務局又は地方法務局、都道府県警察その他の関係者により構成されるいじめ問題対策連絡協議会を置くことができる。

2 都道府県は、前項のいじめ問題対策連絡協議会を置いた場合には、当該いじめ問題対策連絡協議会におけるいじめの防止等に関係する機関及び団体の連携が当該都道府県の区域内の市町村が設置する学校におけるいじめの防止等に活用されるよう、当該いじめ問題対策連絡協議会と当該市町村の教育委員会との連携を図るために必要な措置を講ずるものとする。

3 前2項の規定を踏まえ、教育委員会といじめ問題対策連絡協議会との円滑な連携の下に、地方いじめ防止基本方針に基づく地域におけるいじめの防止等のための対策を実効的に行うようにするため必要があるときは、教育委員会に附属機関として必要な組織を置くことができるものとする。

第4章 いじめの防止等に関する措置

(学校におけるいじめの防止等の対策のための組織)

第22条 学校は、当該学校におけるいじめの防止等に関する措置を実効的に行うため、当該学校の複数の教職員、心理、福祉等に関する専門的な知識を有する者その他の関係者により構成されるいじめの防止等の対策のための組織を置くものとする。

(いじめに対する措置)

第23条 学校の教職員、地方公共団体の職員その他の児童等からの相談に応じる者及び児童等の保護者は、児童等からいじめに係る相談を受けた場合において、いじめの事実があると思われるときは、いじめを受けたと思われる児童等が在籍する学校への通報その他の適切な措置をとるものとする。

2 学校は、前項の規定による通報を受けたときその他当該学校に在籍する児童等がいじめを受けていると思われるときは、速やかに、当該児童等に係るいじめの事実の有無の確認を行うための措置を講ずるとともに、その結果を当該学校の設置者に報告するものとする。

3 学校は、前項の規定による事実の確認によりいじめがあったことが確認された場合には、いじめをやめさせ、及びその再発を防止するため、当該学校の複数の教職員によって、心理、福祉等に関する専門的な知識を有する者の協力を得つつ、いじめを受けた児童等又はその保護者に対する支援及びいじめを行った児童等に対する指導又はその保護者に対する助言を継続的に行うものとする。

4 学校は、前項の場合において必要があると認めるときは、いじめを行った児童等についていじめを受けた児童等が使用する教室以外の場所において学習を行わせる等いじめを受けた児童等その他の児童等が安心して教育を受けられるようにするために必要な措置を講ずるものとする。

5 学校は、当該学校の教職員が第3項の規定による支援又は指導若しくは助言を行うに当たっては、いじめを受けた児童等の保護者といじめを行った児童等の保護者との間で争いが起きることのないよう、いじめの事案に係る情報をこれらの保護者と共有す

るための措置その他の必要な措置を講ずるものとする。

- 6 学校は、いじめが犯罪行為として取り扱われるべきものであると認めるときは所轄警察署と連携してこれに対処するものとし、当該学校に在籍する児童等の生命、身体又は財産に重大な被害が生じるおそれがあるときは直ちに所轄警察署に通報し、適切に、援助を求めなければならない。

第5章 重大事態への対処

(学校の設置者又はその設置する学校による対処)

第28条 学校の設置者又はその設置する学校は、次に掲げる場合には、その事態（以下「重大事態」という。）に対処し、及び当該重大事態と同種の事態の発生の防止に資するため、速やかに、当該学校の設置者又はその設置する学校の下に組織を設け、質問票の使用その他の適切な方法により当該重大事態に係る事実関係を明確にするための調査を行うものとする。

- 一 いじめにより当該学校に在籍する児童等の生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑いがあると認めるとき。
 - 二 いじめにより当該学校に在籍する児童等が相当の期間学校を欠席することを余儀なくされている疑いがあると認めるとき。
- 2 学校の設置者又はその設置する学校は、前項の規定による調査を行ったときは、当該調査に係るいじめを受けた児童等及びその保護者に対し、当該調査に係る重大事態の事実関係等その他の必要な情報を適切に提供するものとする。
 - 3 第1項の規定により学校が調査を行う場合においては、当該学校の設置者は、同項の規定による調査及び前項の規定による情報の提供について必要な指導及び支援を行うものとする。

(公立の学校に係る対処)

第30条 地方公共団体が設置する学校は、第28条第1項各号に掲げる場合には、当該地方公共団体の教育委員会を通じて、重大事態が発生した旨を、当該地方公共団体の長に報告しなければならない。

- 2 前項の規定による報告を受けた地方公共団体の長は、当該報告に係る重大事態への対処又は当該重大事態と同種の事態の発生の防止のため必要があると認めるときは、附属機関を設けて調査を行う等の方法により、第28条第1項の規定による調査の結果について調査を行うことができる。
- 3 地方公共団体の長は、前項の規定による調査を行ったときは、その結果を議会に報告しなければならない。
- 4 第2項の規定は、地方公共団体の長に対し、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第23条に規定する事務を管理し、又は執行する権限を与えるものと解釈してはならない。
- 5 地方公共団体の長及び教育委員会は、第2項の規定による調査の結果を踏まえ、自らの権限及び責任において、当該調査に係る重大事態への対処又は当該重大事態と同種の事態の発生の防止のために必要な措置を講ずるものとする。

幸田町子ども読書活動推進計画（第三次）の概要

令和2年3月策定
幸田町教育委員会

1 子ども読書活動の意義（抜粋）

平成13年12月に施行された「子どもの読書活動の推進に関する法律」の第2条基本理念に「子ども（おおむね18歳以下の者をいう。以下同じ。）の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。」と掲げられています。

これまでの取組やアンケートで明らかになった課題に対応するため、また、すべての子どもがさらに主体的に読書活動ができるようにと願い、「幸田町子ども読書活動推進計画（第三次）」を策定しました。

2 基本目標及び重点項目

幸田町では、子どもの読書活動を具体的に推進するため、以下の基本目標と重点項目を設けました。

基本目標1 家庭、地域、学校等における取組の推進

- ① 家庭における発達段階に応じた取組の推進
→ ブックスタートの推進
- ② 町立図書館における発達段階に応じた取組の推進
→ ヤングアダルトコーナーの設置、障がいのある子どもの読書活動の支援
- ③ ボランティア団体の協力による発達段階に応じた取組の推進
→ 出張読み聞かせの継続・充実
- ④ 児童館・子育て支援センターにおける発達段階に応じた取組の推進
→ 「うたとおはなしの会」の実施、本の陳列の工夫
- ⑤ 保育園・幼稚園・学校における発達段階に応じた取組の推進
→ (保・幼) 保護者向けの絵本貸出しの実施、自由遊びの時間を活用した読み聞かせタイムの確保
(学校) 教科学習や特別活動での図書館の利用推進

基本目標2 子ども読書活動推進支援の一層の充実

- ⑥ 普及啓発活動の積極的な推進
→ 「子ども読書の日」や「こどもの読書週間」に合わせたクイズやスタンプラリーの実施
- ⑦ 家庭、地域、学校等の連携・協力の推進
→ 図書館の行う団体貸出の利用、図書館での催しの案内を学校にも掲載
- ⑧ 子ども読書活動推進体制の整備
→ 現在関わりのある組織だけでなく、多方面にわたる情報共有

3 計画の期間

令和2年度から概ね5年間

幸田町子どもの権利に関する条例（抜粋）

平成 23 年 4 月 1 日施行

（前文抜粋）

子どもは、一人の人として、かけがえのない価値と尊厳をもって、この世に誕生しました。子どもたち一人ひとりには、独立した人格を持ち、自らの力で未来を切りひらく主人公です。そのためには、生きる権利、こころと体が大切にされる権利、子どもの意見が尊重される権利、学ぶ権利、差別や貧困から救済される権利等の保障が欠かせません。子どもは、その権利が保障される環境の中で、豊かな子ども時代を過ごすことができるのです。そのためには、家庭や学校・地域・行政がしっかりと手を結び合い、子どもたちのよきサポーターでなければなりません。

子どもは、大人とともに幸田町を創っていく大切なパートナーです。

子どもにやさしいまちは、大人にとっても親しみ深いまちとなるはずです。子どもが夢を育てること、それは、そこに住むすべての人の希望になります。

私たちは、このようなまちづくりを目指し、幸田町が子どもの権利を尊重するまちであることを明らかにし、幸田町子どもの権利に関する条例を制定します

（条例抜粋）

第 2 章 子どもにとって大切な権利

（安心して生きる権利）

第 5 条 子どもには、安心して生きる権利があります。そのためには、次のことが保障されます。

- (1) 命が守られ、尊い存在として大切にされること。
- (2) 愛情と理解をもって育まれること。
- (3) 年齢や発達にふさわしい環境のもとで生活すること。
- (4) 平和で安全な環境のもとで生活すること。
- (5) 健康を保ち、適切な医療が受けられること。
- (6) 安心できる場所で眠れること。

（自分らしく生きる権利）

第 6 条 子どもには、自分らしく生きる権利があります。そのためには、次のことが保障されます。

- (1) ありのままの自分が認められること。
- (2) 子どもというだけで、不当に扱われないこと。
- (3) 自分の気持ちや考えを大切にし、表現できること。
- (4) 自分のことを、年齢や発達に応じて自分で決めること。
- (5) こころの安らぐ居場所を持ち、自由な時間を過ごせること。

（学び育つ権利）

第 7 条 子どもには、学び育つ権利があります。そのためには、次のことが保障されます。

- (1) 必要な知識や情報が得られること。
- (2) 教育を受けたり、自ら学んだりする機会が得られること。
- (3) 文化、芸術及びスポーツを通じて豊かな人間性を育む経験が得られること。

(遊び育つ権利)

第8条 子どもには、遊び育つ権利があります。そのためには、次のことが保障されます。

- (1) 遊びが大切にされること。
- (2) 遊びの場、時間及び仲間が得られること。

(ともに育つ権利)

第9条 子どもには、ともに育つ権利があります。そのためには、次のことが保障されます。

- (1) 保護者ところあたたまる時間を過ごすこと。
- (2) さまざまな世代の人々と触れ合うこと。
- (3) 地域や社会の活動に参加すること。
- (4) 異文化と交流し、対話すること。
- (5) 自然に親しむこと。

(自分を守り、守られる権利)

第10条 子どもには、自分を守り、守られる権利があります。そのためには、次のことが保障されます。

- (1) 本人の意思や行動が尊重され、見守られること。
- (2) プライバシーが守られること。
- (3) あらゆる差別を受けないこと。
- (4) いじめ、虐待、体罰その他あらゆるところや体への暴力から守られること。
- (5) 薬物濫用、性的搾取、誘拐その他あらゆる危害から守られること。
- (6) 自分を守るための適切な情報が得られること。
- (7) 困っていることや不安に思っていることを安心して相談できること。

(参加する権利)

第11条 子どもには、参加する権利があります。そのためには、次のことが保障されます。

- (1) 参加に必要な情報が得られること。
- (2) 参加の場で自分の気持ちや考えを表明することができ、尊重されること。
- (3) 年齢や発達にふさわしい活動の機会が得られ、意思決定に参加すること。
- (4) 仲間をつくり、集まり、自治的な活動を行うことができ、適切な支援を受けられること。



町の花 つばき



町の木 やまざくら



健康の町宣言

健康は、心ゆたかで活力に満ち充実した生活を営むための、最も重要な基盤をなす町民共通の願いであります。

私たちは、スポーツに親しみ、心身を鍛え、健康なまちづくりにつとめ、心のふれあう健康で住みよい「ふるさと こうた」の実現をめざします。

ここに、全町民の総意総力を結集して、力強く目標達成にまい進することを宣言します。

昭和63年4月1日

幸 田 町

健康は 伸びる幸田の 底力

